

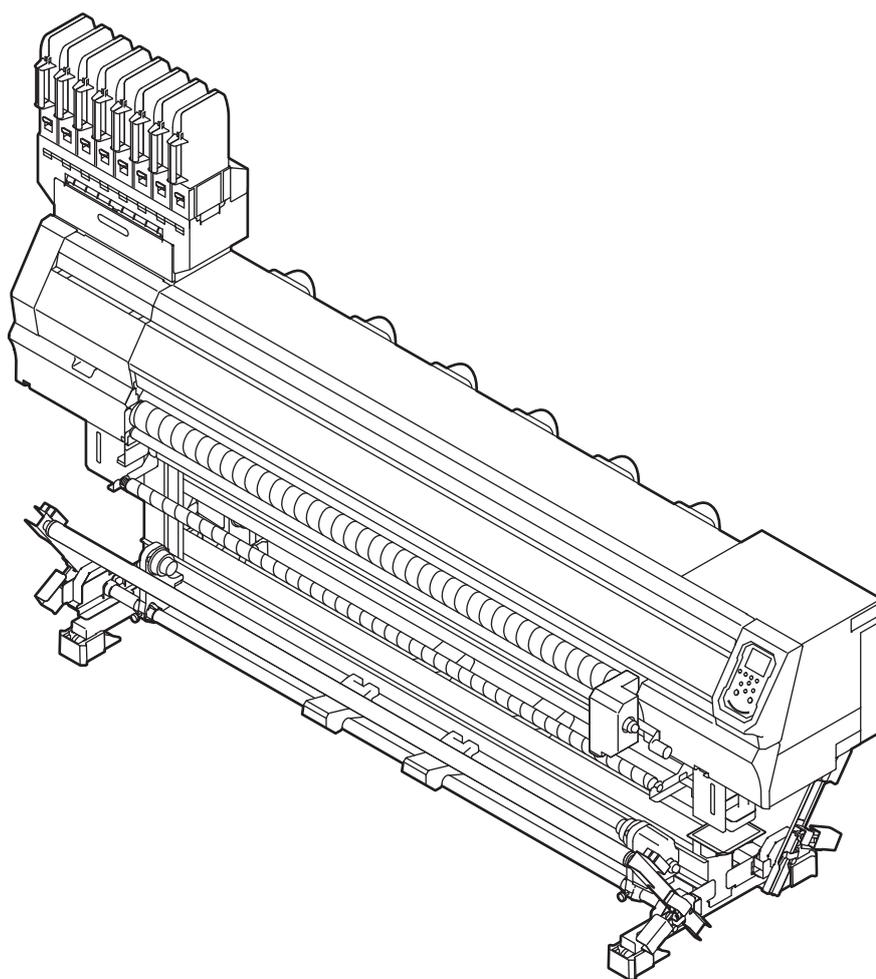
カラーインクジェットプリンタ

Tx300P-1800

Tx300P-1800 MkII

取扱説明書

Operation Manual



取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

<https://japan.mimaki.com/>

D202936-33

Original instructions

目次

はじめに	v
ご注意	v
取扱説明書について	v
電波障害自主規制	v
テレビ/ラジオの受信障害について	v
使用できるインクについて	v
安全にお使いいただくために	vi
マーク表示について	vi
安全インターロックについて	ix
警告ラベルについて	x

第1章 ご使用の前に

本機の移動	1-2
設置場所について	1-2
使用環境温度について	1-2
本機の移動	1-2
各部の名称とはたらきについて	1-3
装置前面	1-3
装置背面/側面	1-4
装置前面 下部 (Tx300P-1800 MkII のみ)	1-5
操作パネル	1-6
メディアセンサー	1-8
キャリッジ	1-8
キャッピングステーション	1-8
ピンチローラーとグリットローラー	1-8
ケーブルを接続する	1-9
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-9
LAN ケーブルを接続する	1-9
電源ケーブルを接続する	1-10
インクをセットする	1-11
インクパック取り扱い上のご注意	1-13
電源を入れる/切る	1-14
電源を入れる	1-14
電源を切る	1-14
メディアについて	1-15
使用可能メディアサイズ	1-15
布メディア、紙メディア (転写紙) の切り替えについて (Tx300P-1800 MkII のみ)	1-15
メディア取り扱い上の注意	1-16
使用制限のあるメディアについて	1-17
ディスプレイ表示について	1-18

第2章 基本的な使い方

作業の流れ	2-2
プリント準備の流れ	2-3
本体の準備	2-4

プラテンの切り替えについて (Tx300P-1800 MkII のみ)	2-4
布メディア用に切り替える	2-4
紙プラテン (転写紙用) を取り付ける	2-5
スペーサの設置 (布メディア)	2-7
主電源を入れる	2-8
ヘッドの高さ調整	2-8
繰出 / 巻取装置の準備	2-9
端面ガイドについて	2-10
繰出 / 巻取テンションバーの準備 (布メディアプリント)	2-11
引っ張りローラーの準備 (布メディアプリント)	2-14
メディアのセット	2-16
ロールメディア (布メディア) をセットする	2-16
ロールメディア (転写紙) をセットする (Tx300P-1800 MkII のみ)	2-22
リーフメディア (布メディア) をセットする	2-25
リーフメディア (転写紙) をセットする (Tx300P-1800 MkII のみ)	2-26
メディア情報の設定	2-27
プリントの調整	2-29
原点の変更	2-29
テストプリント	2-29
ヘッドクリーニング	2-30
フィード補正の設定	2-31
ドットの位置ずれ補正	2-31
仕上がりをよくするための調整	2-33
調整の流れ	2-33
データのプリント	2-34
プリントを開始する	2-34
プリントを中止する	2-34
受信したデータを消去する (データクリア)	2-34
プリント完了後の動作	2-34
メディアの取り外し	2-35
ロールメディアを取り外す	2-35

第3章 セットアップ

設定メニューについて	3-2
設定メニュー一覧表	3-3
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-4
フィード補正の設定	3-5
ドットの位置がずれたら	3-6
ロジカルシークの設定	3-7
重ね塗りの設定	3-7
乾燥時間の設定	3-8
マージン (左 / 右) の設定	3-8
吸着ファンの設定	3-8
フィード速度の設定	3-9
MAPS4 の設定	3-9
オートクリーニングの設定	3-10
定期ワイピングの設定	3-11
外部ヒーターの設定	3-12
マシン設定メニューについて	3-13
マシン設定メニュー一覧表	3-14
オートパワーオフの設定	3-15
繰出 / 巻取ユニットの設定	3-15

トップフローの設定	3-16
メディア残量表示の設定	3-16
PG 着弾調整の設定	3-17
メディア検出の設定	3-17
乾燥フィードの設定	3-18
言語の設定	3-18
時刻の設定	3-18
単位 (温度 / 長さ) の設定	3-18
キープザーの設定	3-18
確認フィードの設定	3-19
プリント間の余白の設定	3-19
余白フィード方式の設定	3-19
ネットワークの設定	3-19
イベントメール機能の設定	3-20
設定した内容を初期状態に戻す	3-24
ノズルチェックメニューについて	3-25
ノズルチェックメニュー一覧表	3-25
印刷中ノズルチェックの流れ	3-26
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作	3-26
印刷中ノズルチェックの設定	3-27
自動ノズルリカバリの設定	3-27
判定条件の設定	3-27
情報メニューについて	3-28
情報メニュー一覧表	3-28
情報を表示させる	3-29

第4章 お手入れ

日常のお手入れ	4-2
お手入れを行うタイミング	4-2
お手入れ上のご注意	4-3
メンテナンス液について	4-3
外装のお手入れ	4-3
メディアセンサーの清掃	4-3
折り返しバー (巻取側) の清掃	4-4
引っ張りローラーの清掃	4-4
インク受けスペースの清掃	4-4
プラテンの清掃	4-4
布押さえ・メディア押さえの清掃	4-6
グリットローラーのお手入れ	4-6
メンテナンスメニューについて	4-8
メンテナンスメニュー一覧表	4-9
キャッピングステーションのメンテナンス	4-10
ワイパーとキャップの清掃	4-10
キャップ吸収材の清掃	4-12
ヘッドノズルの洗浄	4-12
インク排出路の洗浄	4-14
長期間使用しない場合	4-15
ヘッド周辺のメンテナンス	4-17
ヘッド周辺を清掃する	4-17
ヘッドノズル面の縁を清掃する	4-17
ノズルリカバリ機能	4-19
設定値をリセットする	4-20

リカバリできない条件を確認する	4-20
テストプリント時にノズルリカバリを有効にするか設定する	4-21
オートメンテナンス機能	4-21
リフレッシュ間隔を設定する	4-21
チューブ洗浄間隔を設定する	4-22
クリーニング間隔とタイプを設定する	4-22
ノズル洗浄を中断する	4-22
インク充填	4-22
消耗品の交換	4-23
ワイパーを交換する	4-23
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	4-24
廃インクタンクを交換する	4-24
キャップ吸収材を交換する	4-25
ファンフィルターを交換する	4-26
ピンチローラーを交換する	4-27
スパウトゴムを交換する	4-28
MBIS オスコネクタ吸収材を交換する	4-29

第5章 困ったときは

故障かなと思ったら	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる	5-2
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インク IC 異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-4
ワーニングメッセージ	5-4
エラーメッセージ	5-7

第6章 付録

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-4
インクカートリッジのセット順	6-5
お問い合わせシート	6-6

はじめに

この度は、カラー インクジェットプリンター Tx300P-1800 / Tx300P-1800 MkII をご購入あげいただき、誠にありがとうございます。

「Tx300P-1800」 / 「Tx300P-1800 MkII」は、1.8m 幅の布または転写紙 (Tx300P-MkII のみ) メディアにプリントする、高画質に対応したカラーインクジェットプリンターです。

本書をよくお読みにになり、お客様のニーズに合わせた作図にお役立てください。

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本機の使用または使用不能から生ずるいかなる損害 (逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない) に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本機を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしいものとします。

本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

取扱説明書について

- 「カラーインクジェットプリンター Tx300P-1800」および「Tx300P-1800 MkII」の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書は「Tx300P-1800」 / 「Tx300P-1800 MkII」共通の取扱説明書です。
- 本書のイラストはおもに「Tx300P-1800」を使用しています。
- 本書をお読みにになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失 / 破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

電波障害自主規制

「カラーインクジェットプリンター Tx300P-1800」および「Tx300P-1800 MkII」(以後本機と称します)は、クラス A 情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ / テレビに対しては保証しておりません。

本機がラジオ / テレビ受信の障害原因と認められたら、本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることでお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、昇華染料インク・分散染料インク・捺染顔料インク・酸性染料インク・反応染料インク・昇華転写インク (Tx300P-1800 MkII のみ) になります。

- 重要!** • 使用できるインクについて、詳しくは P.6-4 「インク仕様」および P.6-5 「インクカートリッジのセット順」をご参照ください。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本機を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

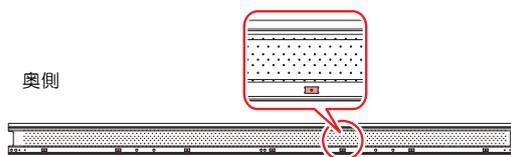
内 容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

使用上の警告と注意

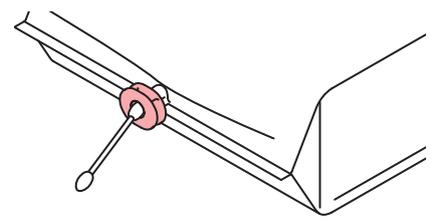
警告

- 
 - 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
 - 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
 - 湿気の多い場所での使用は避けてください。また、本機に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
 - 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
 - 本機やインクバックの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
 - 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。
 - 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。
 - タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
 - 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
 - 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
 - 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
 - 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。
 - 表示された電源周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。
 - 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。
 - 万一、金属、水、液体などの異物が本機内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
 - 本機を移動する場合は、最寄りのサービス店にご相談ください。
- 
 - 本機の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
 - 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。
- 
 - 本機に子供を近づけないでください。

使用上のご注意

 注意	
電源供給について	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーカーは常時 ON にしておいてください。 ・側面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。
電源ケーブルについて	
	<ul style="list-style-type: none"> ・極性付きのコンセントに接続してください。 ・必ず本機の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。 ・電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。 ・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。 ・電源を接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認し、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。 <p>同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断することがあります。</p>
メンテナンス上の注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・手袋は消耗品です。付属の手袋が無くなりましたら市販品をご使用ください。
本体の取り扱い上の注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。 ・使用の際には十分な換気を行ってください。 ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。 ・メディアを交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。 ・本機内部の掃除をサービス実施店に相談してください。本機内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、本機内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。
操作・取り扱い上の注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンセット・カッター・ドライバー等、磁界に反応する物・道具をプラテン近くで使用する場合、プラテンに吸着される可能性があります。
ペースメーカーを使用している方へ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・紙プラテンに近づかないでください。(マグネットを使用しております。)
 <p>奥側</p>	
<p>手前(この図では下側)に7カ所、固定用のマグネットがあります。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・具合が悪くなったら、直ちにプリンタ(プラテン)から離れて適切な処置を行ってください。 	

 注意	
インクパックの取り扱いについて	
	<ul style="list-style-type: none"> ・インクは火気のないところで換気しながらお使いください。 ・万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で15分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。インクが皮膚に付着した場合は、大量の水および石鹸または皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落としてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、(財)日本中毒情報センター 中毒110番に連絡してください。 大阪: 072-727-2499 つくば: 029-852-9999 ・蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。 ・インクが皮膚に付着した場合は、大量の水および石鹸または皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落としてください。 ・インクパックは子供の手の届かないところに保管してください。 ・インクスロットを長時間空いたままにしないでください。スロット部分が乾燥し、装置内でインクが固まるなど、インク供給ができなくなる場合があります。 <p>インクスロットにインクパックがセットされていないと、プリンターのディスプレイにインクパックのセットを促すエラーメッセージが表示されます。前に使用していたインクと同色のインクパックをセットしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使いかけのインクパックを台座から取り外したときは、綿棒などを使用してインクパックのコネクタ部内側に付着しているインクを拭き取ってください。コネクタ部内側のインクが乾燥すると、再使用するときにインク漏れの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・エコケースを台座から取り外すときは、保護メガネ等を着用してください。インクが飛んで目に入る可能性があります。



ご注意とお願い

警告

インクパックの取り扱い

- 弊社推奨インクにより安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、弊社推奨インクをご使用ください。
- インクパック内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいささかの責任を負いかねます。
- インクパックを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温環境下に放置してから使用してください。
- インクパックは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておく、正常にプリントできない場合があります。
- インクパックは、冷暗所で保存してください。
- インクパックや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクパックを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。インクパックからインクが漏れる場合があります。
- インクパックは、開封してから3カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。
- 不要になったインクパック・廃インクは、販売店またはサービス実施店へお渡しください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。

メディアの取り扱い

- 推奨メディアをご使用ください。安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- メディアの伸縮にご注意ください。包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。メディアづまりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

メディアとホコリについて

- メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。
- 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

定期交換部品について

- 本機は、定期的いくつかの部品を交換する必要があります。弊社サービスまたはお買い上げの販売店とアフターサービスの契約を行い、末永く安全に本機をご使用になることをお勧めします。

本機の廃棄について

- 本機を廃棄するときは、お買い上げの販売店が弊社サービスにご相談ください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。

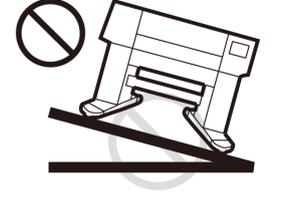
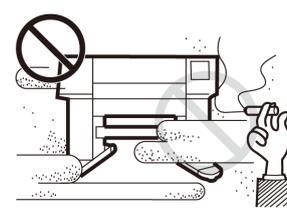
警告

メンテナンス上の注意

- 本機は、ほこりの少ない部屋で使用することをお勧めします。
- プリントをしていないときは、フロントカバーを閉じておいてください。開けたままにしておくと、ヘッドやノズルにほこりが付着し、プリント中にインク滴が突然メディアに落ちる場合があります。このような場合は、ヘッドの清掃をしてください。
- インクステーションやヘッドを清掃するときは、必ず付属の手袋と保護メガネを装着してください。
- 本機の状態を良好に保つため、ワイパーとキャップの清掃をこまめに行い、ほこりや紙粉を取り除いてください。

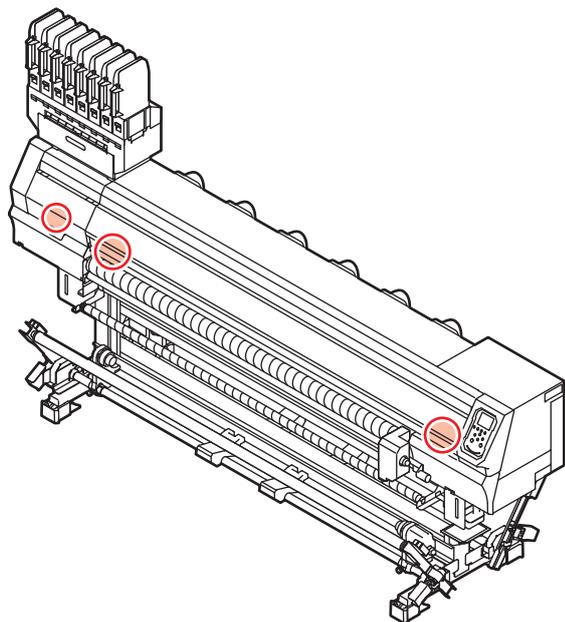
設置上のご注意

注意

直射日光が当たる場所	水平でない場所
	
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所
	
温度や湿度の変化が激しい場所	火を使う場所
 <ul style="list-style-type: none"> • 次の環境下でお使いください。 • 使用環境： 20 ~ 30 °C (68 ~ 86 °F) 35 ~ 65 % (Rh) 	

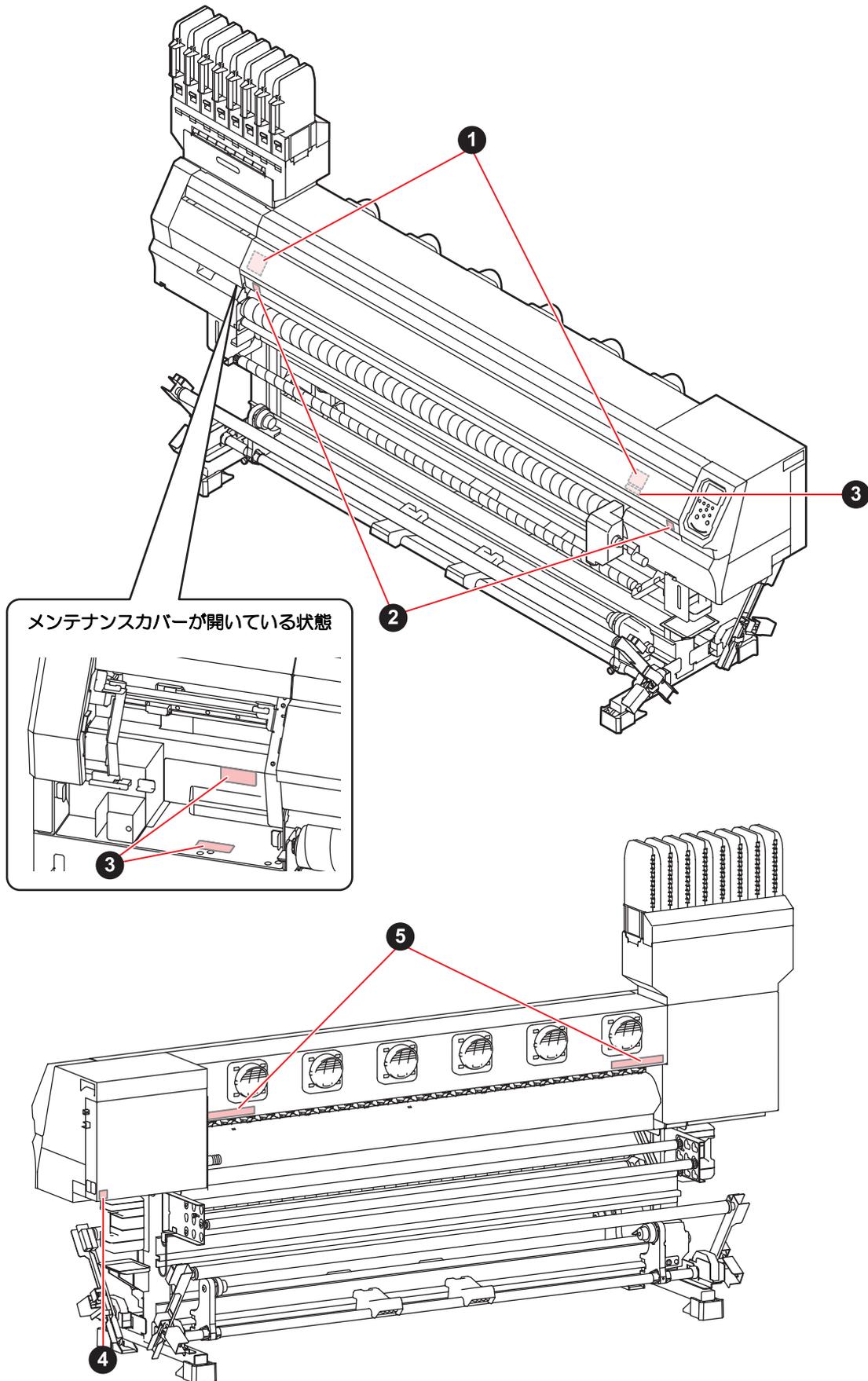
安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。(下図の赤丸部分)



警告ラベルについて

本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル
1	M910931	 <p>CAUTION ATTENTION</p> <p>COVER HAZARD May result in severe injury. When open, and close the cover, hold a cover until the end.</p> <p>COUVERCLE-DANGER Peut entraîner de graves blessures. Lors de l'ouverture ou de la fermeture du couvercle, tenir le couvercle jusqu'à la fin.</p> <p>カバー急落下あり 指を挟まれると、ケガや骨折の恐れあり。 カバーの開閉は、最後まで手を添えて行ってください。</p> <p>M910931</p>
2	M907833	
3	M903330	
4	M907935	
5	M905811	 <p>警告 警告 WARNING WAARSCHUWING AVERTISSEMENT</p> <p>手指和身体请勿靠近运转部位，以免造成危险 危険な稼働部 指や体を近づけないように</p> <p>HAZARDOUS MOVING PARTS- Keep fingers and other body parts away.</p> <p>GEFÄHRLICHE BEWEGLICHE TEILE Finger und andere Körperteile fernhalten.</p> <p>PIECES MOBILES DANGEREUSES Doigts et autres parties du corps sont hors de portée.</p>

第1章 ご使用前に



この章では ...

本機の各部の名称や設置方法など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明します。

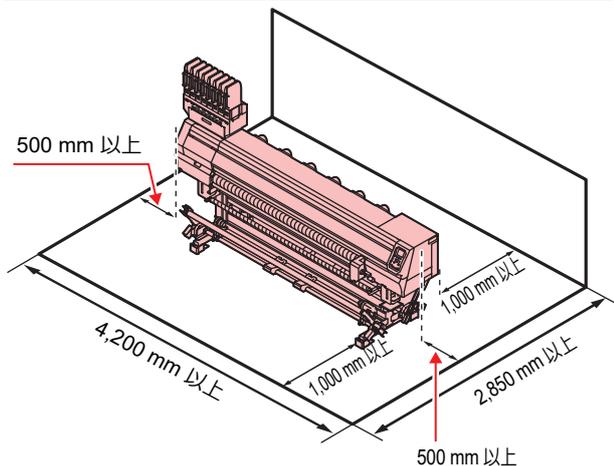
本機の移動	1-2	電源ケーブルを接続する	1-10
設置場所について	1-2	インクをセットする	1-11
使用環境温度について	1-2	インクパック取り扱い上のご注意	1-13
本機の移動	1-2	電源を入れる / 切る	1-14
各部の名称とはたらきについて	1-3	電源を入れる	1-14
装置前面	1-3	電源を切る	1-14
装置背面 / 側面	1-4	メディアについて	1-15
装置前面 下部 (Tx300P-1800 MkII のみ)	1-5	使用可能メディアサイズ	1-15
操作パネル	1-6	布メディア、紙メディア (転写紙) の切り替え	
メディアセンサー	1-8	について (Tx300P-1800 MkII のみ)	1-15
キャリッジ	1-8	メディア取り扱い上の注意	1-16
キャッピングステーション	1-8	使用制限のあるメディアについて	1-17
ピンチローラーとグリットローラー	1-8	ディスプレイ表示について	1-18
ケーブルを接続する	1-9		
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する	1-9		
LAN ケーブルを接続する	1-9		

本機の移動

設置場所について

本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
Tx300P-1800	3,200 mm	965 mm	1,857 mm	255 kg
Tx300P-1800 MkII				260 kg



使用環境温度について

本機は安定したプリントを行うために、20 ~ 30 °C の環境でご使用ください。

本機の移動

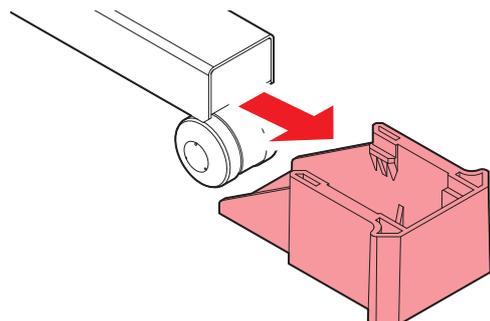
本機をやむを得ず、段差のない同一フロア内で移動する場合は、下記のように行ってください。

- 重要!**
- 本機の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。お客様が本機の移設を行うと、故障や破損の原因になります。本機の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

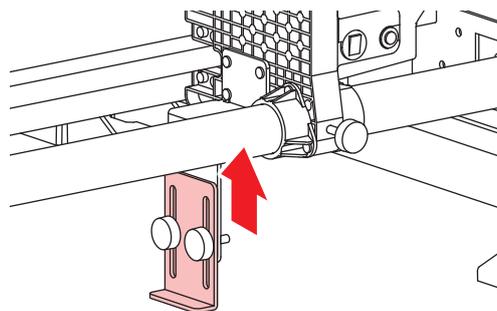


- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずキャスターをロックしてください。

1 キャスターブロックを取り除く

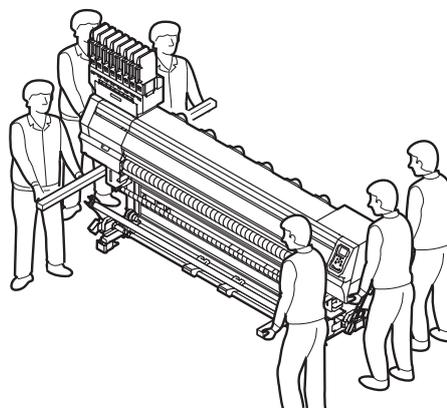


2 巻取脚と繰出脚を上げる

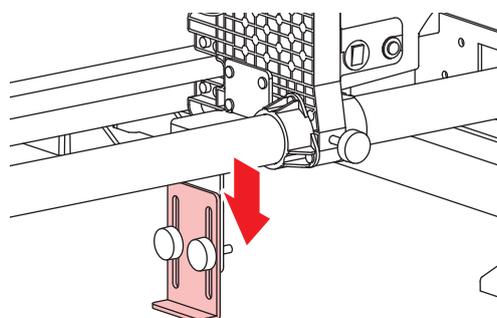


3 図のようにして、移動する

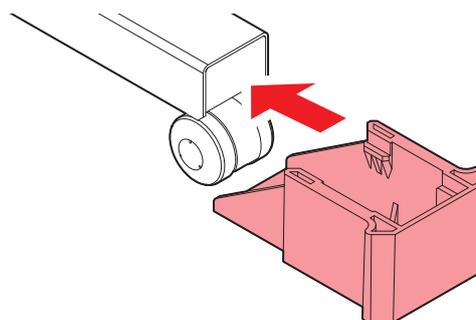
- 本機を移動するときは、必ず6人以上で行ってください。
- カバーを押して移動すると、カバーが割れる可能性があります。



4 巻取脚と繰出脚を下げる



5 キャスターブロックを取り付ける



各部の名称とはたらきについて

装置前面

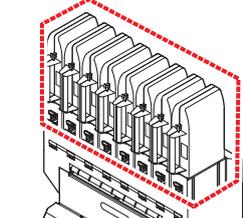
*下記の図は Tx300P-1800 MkII です。Tx300P-1800 とは若干異なる場合がございます。

メンテナンスカバー (上)

メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

インクカートリッジ

各色のインクが入っています。



フロントカバー

メディアのセット、メディア詰まりの処置ステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。(開いた状態です)

引っ張りローラー

メディアを送るためのローラーです。

プラテン

インク吐出時にメディアを下から支える平板・台です。(Tx300P-1800 MkII のみ)

キャリッジ

印字を行うヘッドがあり、左右にスキャンします。

操作パネル

本機に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。

洗浄液カートリッジ挿入口

洗浄カートリッジをセットします。

廃インクタンク

廃インクを溜めるタンクです。

脚

本体を支える部分です。移動するためのキャスタが付いています。

巻取装置

プリント終了後のロールメディアを自動で巻き取ります。

クランプレバー (前)

ピンチローラーを上下して、メディアを保持/解放します。

ロール置き台

ロールメディアセット時にメディアを置くための仮置き台です。

巻取テンションバー

巻き取るメディアのテンションを調節します。

巻取折り返しバー

巻き取るメディアのテンションを安定させます。

布巻ローラー

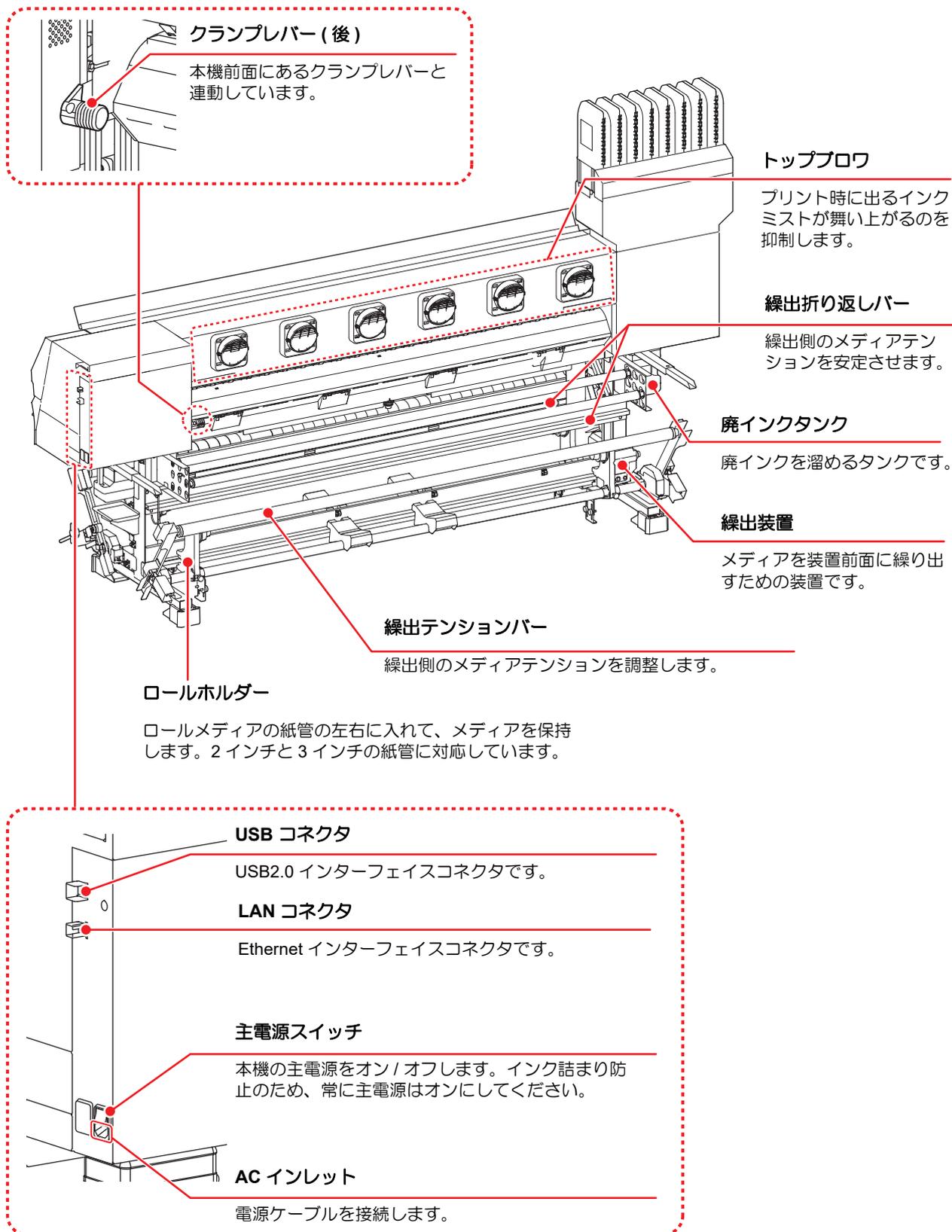
引っ張りローラーに付着したインクを取り除いて布メディアの汚れを防ぎます。

メンテナンスカバー (下)

メンテナンス時にカバーを開けます。電源スイッチがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

装置背面 / 側面

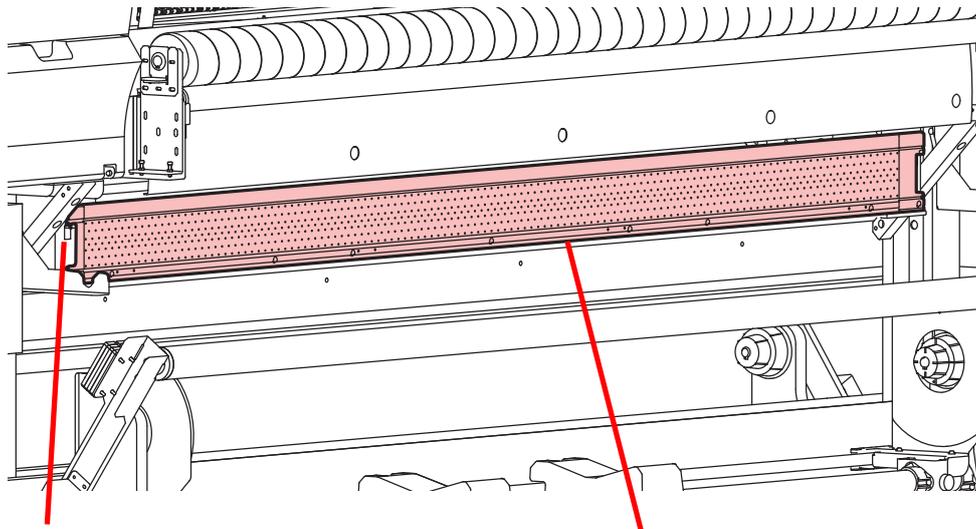
*下記の図は Tx300P-1800 MkII です。Tx300P-1800 とは若干異なる場合がございます。



装置前面 下部 (Tx300P-1800 MkII のみ)

プラテンホルダー

Tx300P-1800 MkII は本体下部に、外したプラテンを収納するためのプラテンホルダーがあります。

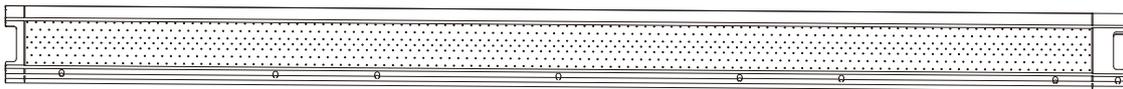


プラテンホルダー

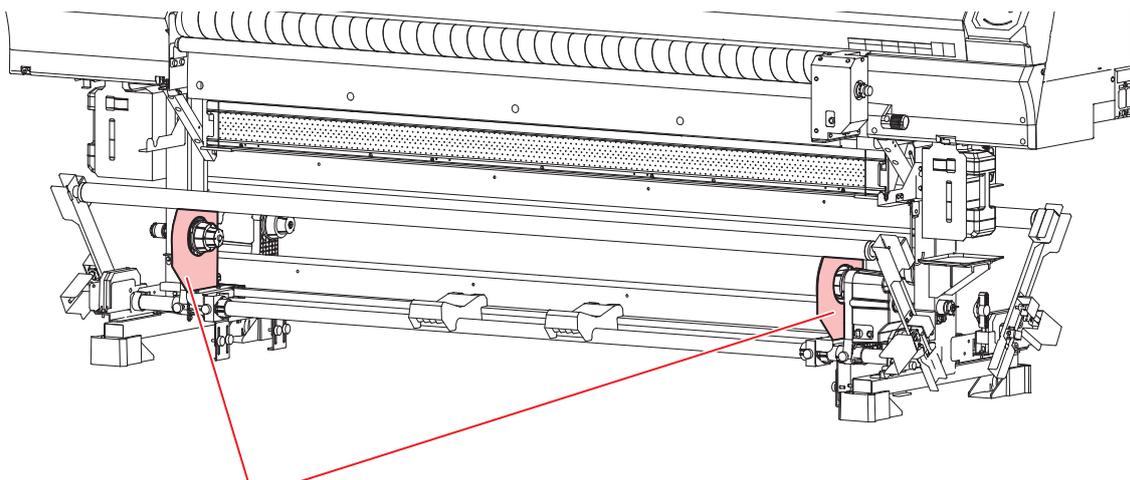
紙プラテン (転写紙用) 収納位置

紙プラテン (転写紙用) / 取り外し可

紙メディア (転写紙) をプリントするときに使用します。



端面ガイド



端面ガイド

巻き取り時、ロールメディアの端面の横ズレを防ぎます。

操作パネル

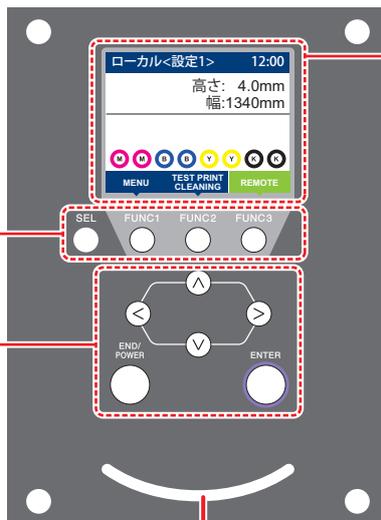
操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

SEL キー

ファンクションボタン ([FUNC1] ~ [FUNC3]) の機能を切り替えます。

FUNC1 / FUNC2 / FUNC3 キー

各種機能の設定やテストプリントをするときに押します。ファンクションボタンの機能は、[SEL] を押すたびに切り替わります。



ディスプレイ

次の各項目が表示されます。

- 本機の状態
- セットしているメディアの幅
- インクの状態^{*1}
- [FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能^{*2}

ジョグキー

ローカルでのヘッドやメディアの移動、各種設定の項目選択に使用します。

END/POWER キー

直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを1つ前の階層に戻す場合に使用します。また、電源のオン/オフをするときに押します。(電源を切るときは、長押ししてください。)

ENTER キー

1段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

状態表示ランプ

本機の状態 (プリント中、エラー発生中等) をランプでお知らせします。

ランプの状態	装置の状態
消灯	ローカルになっていて、プリントデータの受信やエラー等が発生していない状態です。
水色点灯	リモートに切り替えた状態です。
水色点滅	プリント中の状態です。 テストプリントなど、本機に内蔵しているパターン各種をプリントしている状態です。
青色点灯	本機にプリントデータが残っている状態です。
赤色点滅	エラーが発生しています。
赤色点灯	エラー (SYSTEM HALT) が発生しています。
黄色点灯	ファームウェアの更新を行っている状態です。



- 電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが青に点灯し、オフになると消灯します。主電源スイッチ (P.1-4) をオンにしておく、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(オートメンテナンス機能)

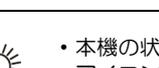
*1: インクの状態について

インク残量やエラーなど、インクの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	内容
	インク残量を9段階で表示します。右に行くに従って、インク残量が少なくなっています。 インクフル 約1/8消費 約1/4消費 約3/8消費 約1/2消費 約5/8消費 約3/4消費 約7/8消費 ニアエンド
	インクエンド (4色インクセット使用時のみ) やインクニアエンドになると表示されます。インクの残りがわずかになっていますので、新しいインクを用意してください。
	インクの消費有効期限が切れる则表示されます。新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
	インクエンド、もしくはインクエラー (インク残量0、カートリッジ未装着など) になると表示されます。プリントすることができません。

*2 : [FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能

[FUNC1] ~ [FUNC3] に割り当てられている機能の内容を説明します。

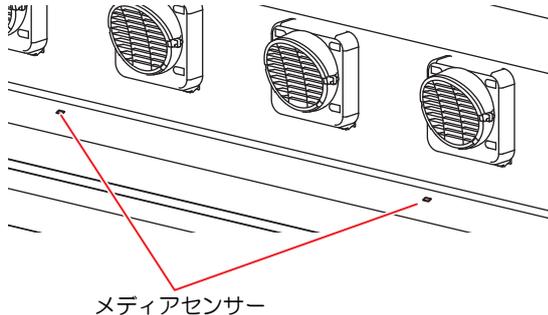
アイコン	内容
	各機能を設定する "MENU" が表示されます。
	テストプリント・クリーニング等のメンテナンス機能が表示されます。
	ローカルで、リモートに移行し、プリントを開始します。
	フィード補正、ドット位置補正等の調整機能が表示されます。
	データクリアを実行します。
	リモートにてプリントを中断し、ローカルへ移行します。
	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、次のページへ移動します。
	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、前のページへ移動します。
	警告メッセージが表示された場合など、確認の完了を行う場合に使用します。
	機能を OFF や無効にする場合に使用します。
	何らかの設定や機能が割り当てられています。各機能の説明に従い、操作してください。
	クリーニングの対象ヘッド選択など、複数の項目を選択する場合に有効 / 無効を切替えます。
	メディアリセットを行います。



- 本機の状態によって、アイコンの色は変化します。
 アイコンの色が緑色のとき：本機がリモートの状態になっている
 アイコンの色が紺色のとき：本機がローカルの状態になっているとき
 アイコンの色が黄色のとき：ワーニングが発生しているとき
 アイコンの色が赤色のとき：エラーが発生しているとき

メディアセンサー

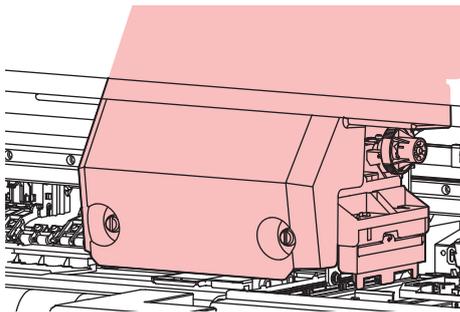
メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。プラテン上(背面側)にメディアセンサーが2箇所あります。



- 重要!** • メディアをセットするときは、プラテン後部側にあるメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドやセットするメディアの幅を手動で設定する (☞ P.2-27) ために使う“LED ポインタ”が内蔵されています。また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを調整するレバーが付いています。(☞ P.2-8)

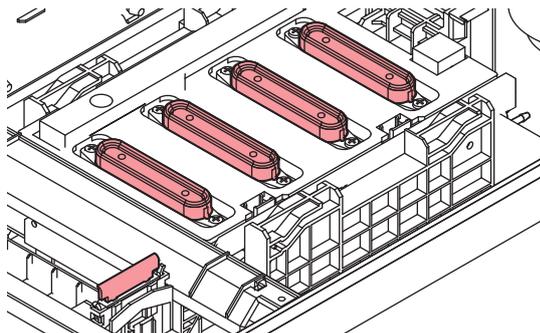


キャッピングステーション

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパーなどで構成されています。インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。ワイパーは、ヘッドのクリーニングに使用します。ワイパーは、消耗品です。ワイパーが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパーに交換してください。



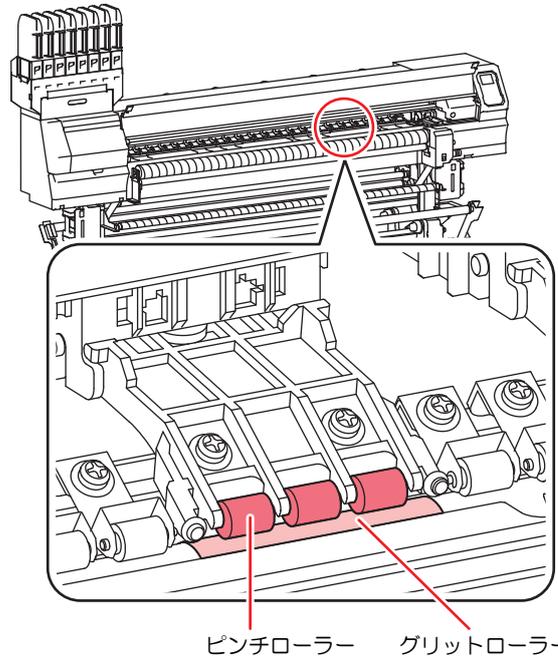
- キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属の保護メガネを着用してください。目にインクが入る危険があります。



ピンチローラーとグリットローラー

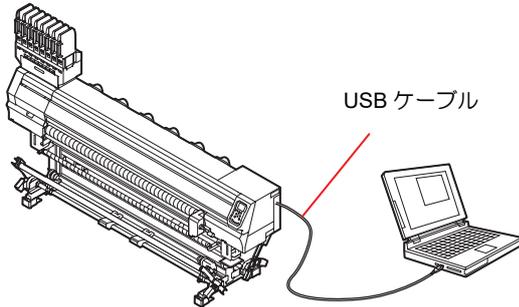
本機は、「ピンチローラー」と「グリットローラー」でメディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出します。

- 重要!** • 本機を使用しない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下けたまま長時間放置しておくと、ピンチローラーが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。



ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する



コンピューターと本機をUSB2.0インターフェイスケーブルで接続します。



- ・ご使用のRIPがUSB2.0インターフェイスに対応している必要があります。
- ・USB2.0インターフェイスがコンピューターに付いていない場合は、お近くのRIPメーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

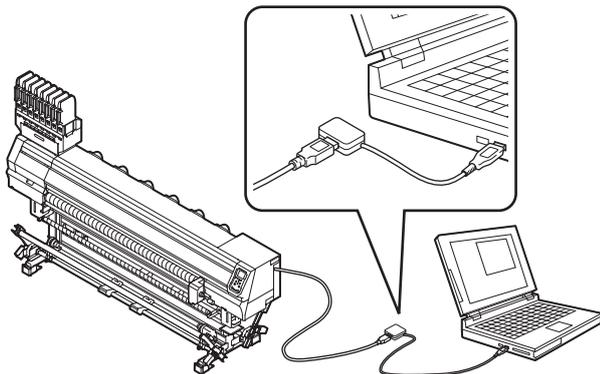
USB 2.0 接続についての注意事項

- 重要!** ・ご使用のRIPが、USB 2.0に対応している必要があります。

● 1台のコンピューターに複数のプリンターを接続する場合

1台のコンピューターにTx300PまたはTx300P-1800 MkIIを複数台接続する場合、プリンターを正常に認識できない場合があります。

複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートに接続してプリンターを認識できるか確認してください。USBポートを変えてもプリンターを認識しない場合は、市販のUSB2.0リピーターケーブルを使用してください。



● USB ハイスピードモードの周辺機器について

Tx300PまたはTx300P-1800 MkIIとUSBハイスピードモードで動作する周辺機器(USBメモリ、USB-HDDなど)を併用した場合、USB機器が認識できない場合があります。

外付けのUSBのハードディスクドライブなどを接続したコンピューターにプリンターを接続した場合、プリンターのデータ出力速度が遅くなる場合があります。

ます。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USBメモリの抜きかた

Tx300PまたはTx300P-1800 MkIIを接続してあるコンピューターにUSBメモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。

[ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



LANケーブルを接続する

LANケーブルを接続するときは、以下の注意事項を厳守してください。

- 重要!** ・カチッと音が出るまで確実に差し込んでください。
- ・データ転送中は、ケーブルの抜き差しをしないでください。

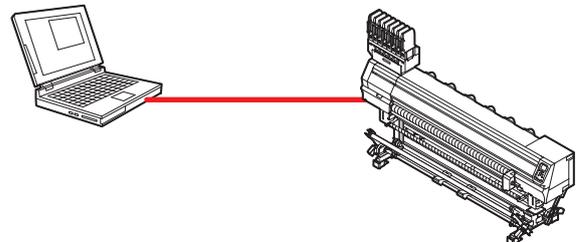
ネットワーク経由でプリントを行う場合

ネットワーク経由でプリントを行う場合、下記の環境でネットワークを構築する必要があります。不適切な環境で構築を行うと、プリントが停止する原因となります。

- ・カテゴリ6以上のLANケーブルを使用する。
- ・1000BASE-T対応のPC、スイッチングハブを使用する。

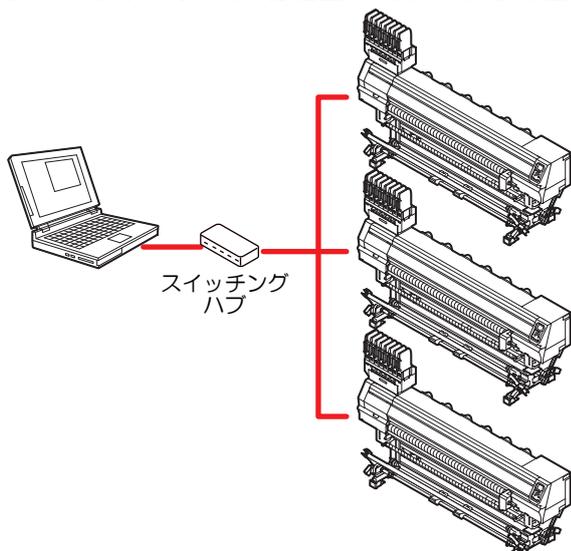
- 重要!** ・プリントデータを送信するPCとプリンターは同じネットワークとなるようにしてください。
- ・ルータを経由した接続はできません。

● プリンターと直接接続する場合



1

● スイッチングハブを経由して接続する場合



プリンターに接続した PC、機器が 1000BASE-T 以外の場合、プリントできません。接続後、以下を確認してください。

(1) プリンターの画面表示を確認する。

- ローカル画面、メディア検出画面から [ENTER] キーを数回押し、情報画面を表示する。
- LAN ステータスの項目に「1000Mbps」と表示されていることを確認する。

重要!

- [100Mbps], [10Mbps], [接続なし] と表示している場合、LAN を使用してプリントを行うことができません。
- [100Mbps], [10Mbps] の場合、イベントメール (※3章「イベントメール機能の設定」) は使用できません。



(2) LAN コネクタの緑ランプを確認する

- 本体起動後、以下のように LAN コネクタのランプが点灯します。

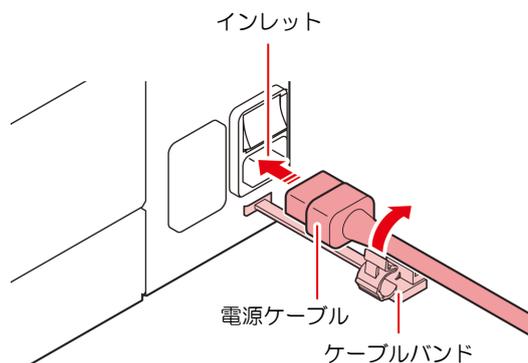
色	状態	状態
緑	点灯	1000BASE-T で接続
	消灯	1000BASE-T 以外で接続
黄	点灯	リンクアップ
	点滅	データ受信中
	消灯	リンクダウン

重要!

- 黄色のみが点灯もしくは点滅している場合、1000Mbps になっていません。PC、機器、ケーブルの仕様を確認してください。

電源ケーブルを接続する

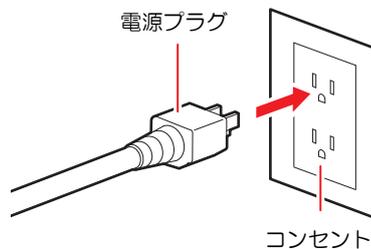
1 電源ケーブルを本機のインレットに差し込む



2 ケーブルバンドを固定する

- 本機に備え付けのケーブルバンドでケーブルを固定します。

3 電源プラグをコンセントに差し込む



- 付属品の電源ケーブル以外は使用しないでください。

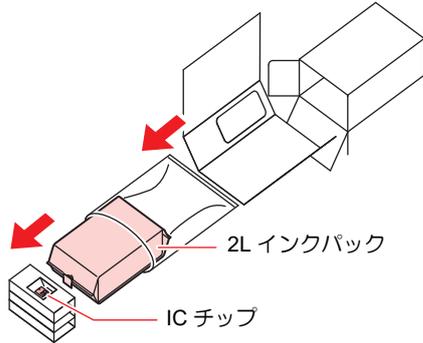
重要!

- 必ず本機の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。
- 電源ケーブルのプラグは、アース処理したコンセントに接続してください。感電・火災の原因となります。

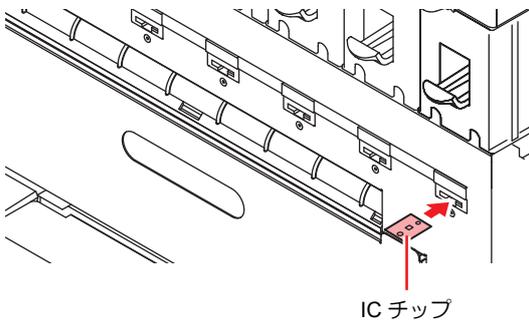
インクをセットする

1 2L インクパックを用意する

- 小さい段ボールからインクパックとICチップを取り出します。

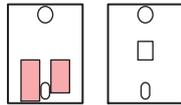


2 ICチップを取り付ける



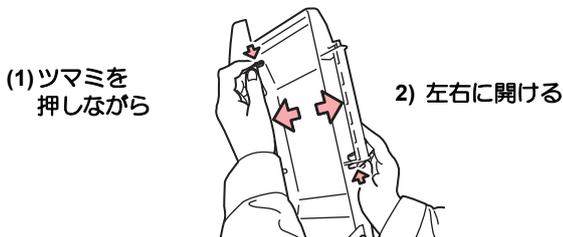
- ICチップの向きに注意してセットしてください。ICチップが正しくセットされていないと、正常にインクの供給が行われません。

金属がついている方を左側にして差し込む。
セットするときは、金属部分に触れないようにしてください。
(静電気によるICチップ破壊の恐れがあります。)

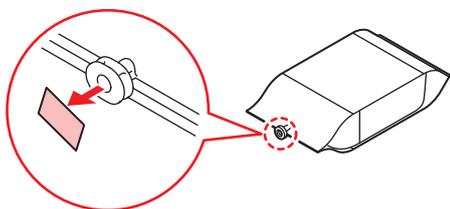


3 2L インクパックを2L エコケースに入れる

(1) 図のようにして、2L エコケースを開ける



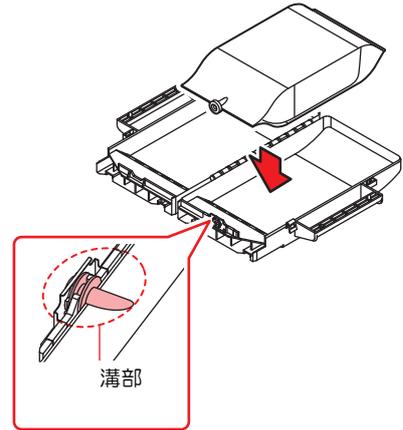
- (2) 2L インクパックのコンネクタ部に着いているシールを剥がす



- シール残りがあると、2L インクパックを台座から取り外した際、インクが大量に漏れる可能性があります。かならずシール残りがないように注意してください。



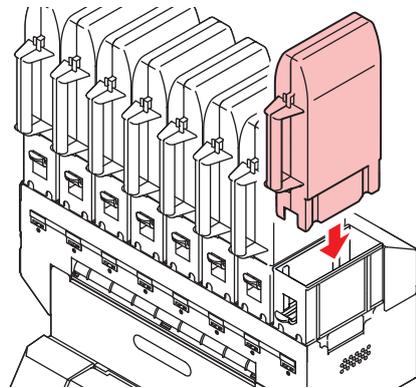
- (3) コネクタ部を下にして2L インクパックを入れ、2L エコケースを閉じる



- 2L インクパックを入れるときは、2L エコケース内にあるラベルに従って、形を整えてください。形を整えずにインクパックを入れると、インクを使い切れない場合があります。
- 2L エコケースを閉じる前に、2L エコケースの溝部にインクパックのコンネクタが合っていることをご確認ください。コンネクタが溝部に合っていない状態になると、インク供給ができなくなることがあります。
- 2L エコケースのスパウトゴムが劣化した場合は新品に交換してください。(P.4-28)

4 2L エコケースを台座に取り付ける

- 2L エコケースから接続しているプリンターにインクが供給されます。
- 1~2分すると、接続しているプリンターのEMPTYランプが消灯します。



- 2L エコケースは、奥までしっかりと押し込んでください。十分に押し込まれていないと、インクが供給されない場合があります。

1

2L インクパックを交換する

ディスプレイに[インクエンド]や[インクニアエンド]などが表示されたときは、次のようにしてください。



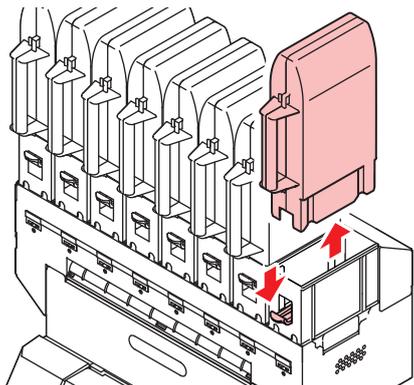
- 2L インクパックを交換するときは、保護メガネを着用してください。誤って、インクが目に入る可能性があります。



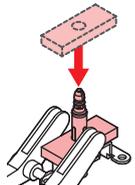
- 使用後、インクパックに 10cc 程度のインクが残りますが、実使用量が 2L になるよう充填されています。

● [インクエンド] が表示されたとき

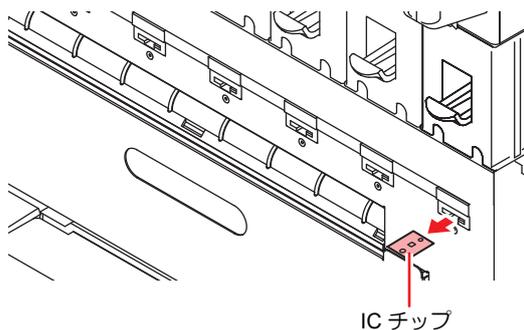
1 台座についているレバーを押し下げ、2L エコケースを取り外す



- 2L インクパック交換時、定期的にオスコネクタ吸収剤 (付属品) を交換することで、台座内の汚れを防止することができます。
- 2L インクパックの交換 5 ~ 10 回に 1 回の割合で、吸収剤を交換してください。(P.4-29)
- 吸収剤交換時は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。



2 IC チップを取り外す



3 2L エコケースを開け、2L インクパックを交換する

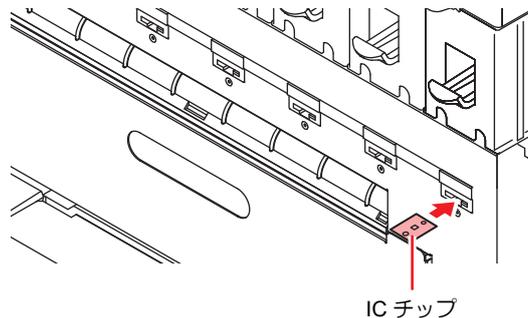
- 手順 2 で取り外した IC チップは、使い終わった 2L インクパックと一緒にしておいてください。(新しい 2L インクパックの IC チップを混同しないようにするため)

4

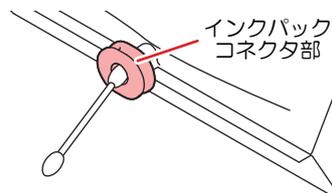
交換する 2L インクパックに付属している IC チップを取り付ける



- IC チップの金属部分には触れないようにご注意ください。静電気が発生し、IC チップが破壊する恐れがあります。



- 2L インクパックを使いかけの状態を取り外すときは、次のようにしてください。インクの残量を正確に管理できなくなります。
- (1) 2L エコケースから使いかけの 2L インクパックを取り外す
- (2) 綿棒などを使い、2L インクパックのコネクタ部の内側に付着したインクを拭き取る



- (3) IC チップを取り外し、2L インクパックと一緒に保管する
- (4) 再度使用するときは、2L インクパックをセットし、一緒に保管しておいた IC チップをセットする

● [インクニアエンド] が表示されたとき

インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクパックの交換をすることをお勧めします。

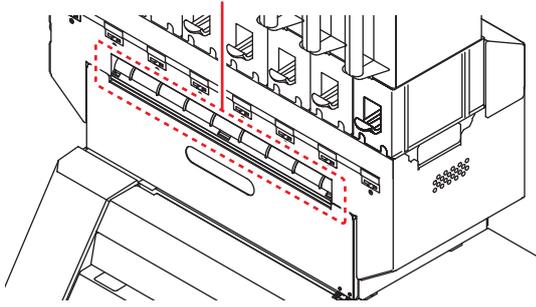


- [インクニアエンド] 表示中は、オートクリーニングは動作しません。(P.3-10)

インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの下にあるランプで、セット中のインクカートリッジの状態を確認することができます。

カートリッジランプ



ランプの状態	説明
青色に点灯	異常なし(インク供給中)
消灯	異常なし
黄色に点灯 または点滅	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクニアンド ・インク期限切れ(1ヶ月)
赤色に点滅	インク期限切れ(2ヶ月)
赤色に点灯	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクエンド ・インク IC チップが挿入されていない ・その他のインクエラー (P.5-6)

インク使用期限について

インクカートリッジにインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えて使用すると、インクの吐出不良や色の変化が生じるおそれがあります。

消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

例) 消費有効期限の記載が4月の場合

- 5月: 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 6月: 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 7月: プリントすることができません。



- ・ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。

名称について

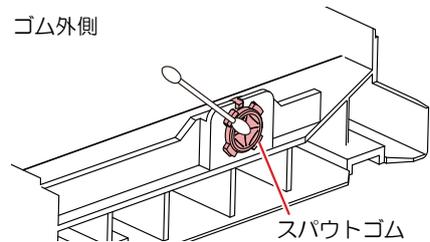
本書では、2Lインクパック/2Lエコケース/インクICチップの3つを合わせて「インクカートリッジ」という名称で説明しています。

インクパック取り扱い上のご注意

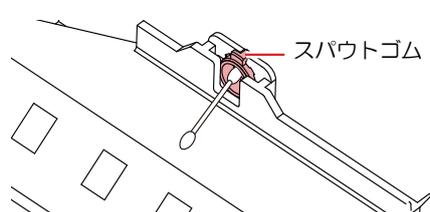


- ・本機には専用のインクパックをお使いください。本機は、専用のインクパックを認識して動作します。インクパック等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
 - ・インクパックを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
 - ・インクパックは開封してから3カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものはプリント品質が低下します。
 - ・インクパックは冷暗所で保存してください。
 - ・インクパックは、子供の手の届かない場所に保管してください。
 - ・空になったインクパックは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
 - ・新規設置およびスパウトゴム新品交換時の注意点
 - ・スパウトゴム表面をメンテナンス液で十分に濡らしてから挿し込んでください。スパウトゴムを濡らさずにエコケースに挿し込むと、ゴムが破損する恐れがあります。
- 重要!** この時、メンテナンス液はインク種にあったものを使用してください。

ゴム外側



ゴム内側

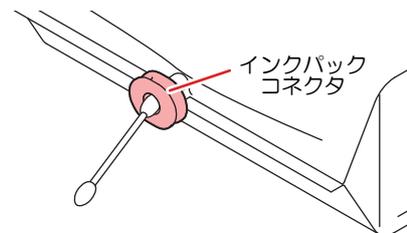


・使いかけのインクパックを使用する際の注意点

- ・インクパックのコネクタ内側に付着しているインクを、綿棒で拭き取ってください。コネクタの内側にインクが残ったままインクパックを挿し込むと、インクパックを再び使用するときインク漏れの原因となります。

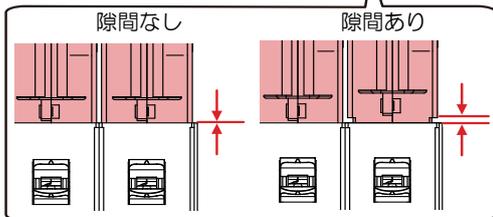
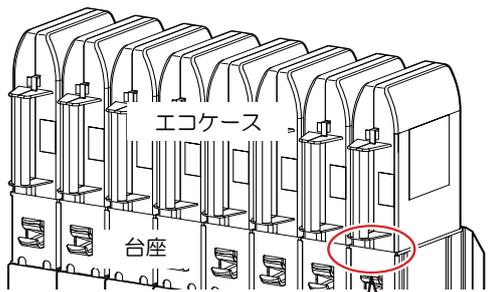


- ・綿棒は深く挿し込みすぎないでください。インクパックからインクが漏れ出し、止まらなくなる可能性があります。

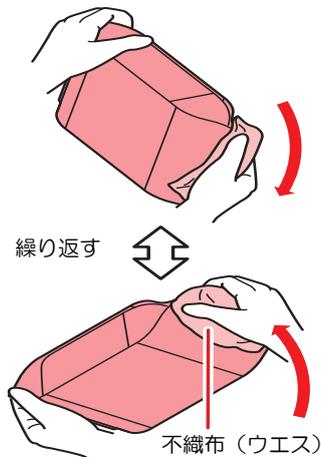




- 本体にエコケースをセットするときの注意点
 - エコケースを根元まで十分に押し込んでください。台座とエコケースの隙間を確認し、隙間がある場合は、エコケースを押し込み直してください。



- エコケース内インクパックの攪拌方法について
パックを外して攪拌する場合 (推奨方法)
 - インクパックのコネクタと、スパウトゴム内部のインクを拭いてから再セットしてください。
 - 攪拌はインクパックのコネクタを不織布 (ウエス等) で覆ってから行ってください。
- **エコケースごと攪拌する場合**
 - スパウトゴムを不織布 (ウエス等) で覆ってから攪拌してください。



- インクパックを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、インクパックからインクがもれることがあります。
- インクパックのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- インクパックは分解しないでください。



電源を入れる / 切る

電源を入れる

本機には、2つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ：

本機の側面にあります。常時「オン」にしておいてください。

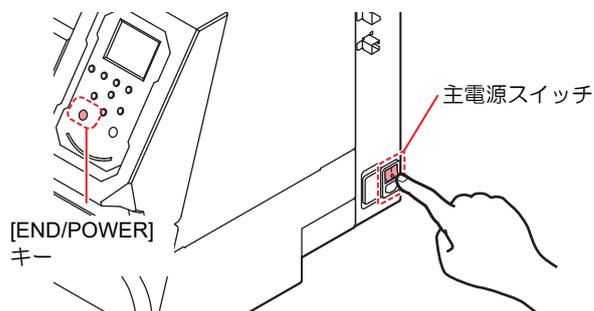
[END/POWER] キー：

通常、電源のオン/オフをするときはこのキーを使用します。

[END/POWER] キーがオフでも、主電源スイッチがオンになっていれば、定期的に電源が自動的に入り、ノズル詰まり防止機能が動作します。

1 主電源スイッチを入れる

- 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。



- 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示し、初期動作を実行します。

2 [END/POWER] キーを押して、電源を入れる

- ローカルになります。

3 接続しているコンピューターの電源をオンにする

- 重要!**
 - フロントカバー/メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。
 - 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

電源を切る

プリンターの使用が終了したら、装置前面にある電源スイッチを押して電源をオフにします。

電源を切るときは、次のことを確認してください。

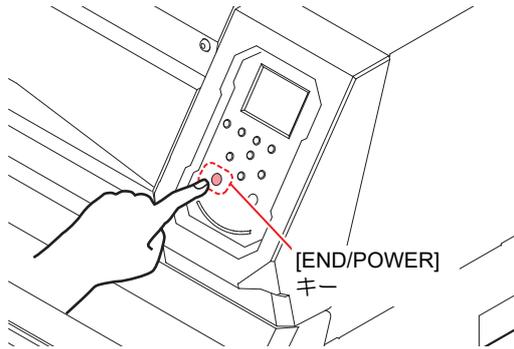
- コンピューターからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。
(P.5-7 エラーメッセージ)

1 接続してあるコンピューターの電源をオフにする

2

END/POWER キーを長押しして、電源を切る

- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本機をご使用になるときは、[END/POWER] キーを押してからお使いください。



電源を切るときのご注意

- **主電源スイッチは切らないでください。**
主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）が働きます。
主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。
- **フロントカバー/メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。**
カバーが開いていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かなくなります。
- **ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。**
ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。
このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。
- **プリント中は電源を切らないでください。**
ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。
- **[END/POWER] キーで電源を切ってから、主電源スイッチを切ってください。**
装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアについて

機種ごとの使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

機種名	Tx300P-1800	
推奨メディアの種類	前処理済みポリエステル素材	
最大幅	1920 mm	
最小幅	210 mm	
最大プリント範囲	1920 mm	
メディア サイズ の 制限	厚さ	1.0 mm 以下
	ロール外径	Φ250 mm 以下
	ロール重量	40 kg 以下
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ
	プリント面	内巻き / 外巻き不問
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着

機種名	Tx300P-1800 MkII		
推奨メディアの種類	前処理済みポリエステル素材	転写紙 Sb411+TP400 イ ンク (4+4 色) / Sb411+Sb420 イ ンク (4+4 色) 使 用時のみ	
最大幅	1920 mm	1950 mm	
最小幅	210 mm	210 mm	
最大プリント範囲	1920 mm	1940 mm	
メディア サイズ の 制限	厚さ	1.0 mm 以下	
	ロール外径	Φ250 mm 以下	
	ロール重量	40 kg 以下	
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	プリント面	内巻き / 外巻き不問	ロール外側面
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着	

布メディア、紙メディア（転写紙）の切り替えについて (Tx300P-1800 MkII のみ)

Tx300P-1800 MkII は布メディアと紙メディア（転写紙）の両メディアのプリントに対応しています。
メディアを切り替える場合は、プラテンの切り替えとプリント設定の変更が必要になります。本体の準備、設定の変更については本書に従って対応してください。
また、警告、注意事項は必ず守るようお願いいたします。

1

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

● 布メディア



- ・布の前後処理は弊社推奨レシピをお使いください。それ以外の処理で発生したトラブルについては、責任を負いかねます。
- ・前処理済みの布メディアをセットしたままにしないでください。前処理剤の薬剤により、グリットローラーの錆が進行する原因となります。

重要!

- ・安定した高画質でプリントするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- ・布をセットする場合、必ず布の厚さに合わせてヘッドの高さ調整をしてください。プリント布やヘッドを破損する恐れがあります。
- ・布の厚さに対して左右端のガミング処理（布端ほつれ防止処理）やテンタ跡が厚くなっている場合は、布の左右端の厚さに合わせてヘッド高さや布押さえステンレス板の高さを調整してください。
- ・布の左右端が厚くなっている布を使用すると、巻き取り時にロール左右端が盛り上がるために巻きスレを起こしやすくなります。巻きスレをすると布が斜行しやすくなり、ヘッドノズル面と接触などのトラブルの原因となります。
- ・インク付着によるぬれ伸縮率の高い布地や、弾力性の高い布地は、使用しないでください。ヘッドノズル面との接触や、プリントがずれるなどのトラブルを発生する原因となります。
- ・カールのきつい布は、カールを取り除いてから使用してください。カールがきついと、プリント品質に影響を及ぼしたり、ヘッドノズル面と接触し吐出不良の原因となります。
- ・使用する布を保管する場合は、袋に入れて保管してください。布に付着したホコリ、紙くず、繊維くずを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。
- ・静電気を起こしやすい布メディアを使ってプリントする場合は、添付の除電布をお使いください。また、加湿器などを使って、使用環境の湿度を上げてください。

● 紙メディア（転写紙）

重要!

- ・推奨メディアをご使用ください。
安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- ・メディアの伸縮にご注意ください。
包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- ・カールしたメディアは使用しないでください。
紙詰まりの原因となります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- ・メディアのフチのホコリにご注意ください。
ロールによっては、包装に含まれるホコリがロール端面に溜まっていることがあります。そのままお使いになると、ノズル抜けやインクのポタ落ちなどによるプリント品質劣化の原因となりますので、ロール端面についたホコリを取り除いてからセットしてください。

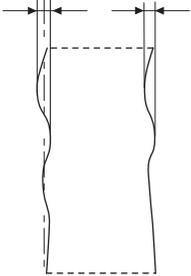
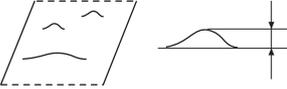
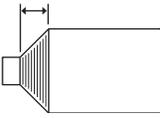
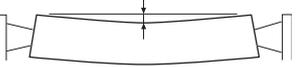
使用制限のあるメディアについて

下記のようなメディアは、プリンター側での補正が困難な素材です。
 使用する場合は、任意のテストデータによるプリントを行い、使用可能かどうかを判断してください。

- 伸縮性の大きい素材 (ストレッチ材、縦方向に伸縮するニット等)
- 印字によって濡れると、伸び縮みの度合いが大きい素材
- 幅のバラツキが大きい素材
- 平坦面に広げた時、部分的にシワ、タルミが発生している素材、全体に曲がっている素材
- ロール状態でのメディア幅端面の巻きズレが大きい素材
- 使用している紙管の強度が不足し、繰出し装置に取り付けた時、たわんでいるもの

重要! 上記以外のメディアを使用する場合も、必ず任意のテストデータによるプリントを行ってください。プリント結果を確認してから、使用が可能か判断してください。

プリントできる布の条件

項目	条件	備考
幅バラツキ	片側側面で $\pm 5\text{mm}$ 以下	
広げた時の湾曲	一方向曲がり不可	
平坦面に広げたときのシワ (弛み) 高さ	2mm 以下	
ロールエッジのズレ	$\pm 15\text{mm}$ 、 反物 (幅 500mm 以下) は $\pm 2\text{mm}$	
ロール内径	2 ~ 3 インチ	
紙管強度	セット時のロール曲がり 5mm 以下	
紙管との固定	テープ 3 点以上または弱接着	
ロール外径	$\phi 250\text{mm}$ 以下	
ロール重量	40kg 以下	
プリント面	外巻き / 内巻き不問	
巻きシワ	不可	

ディスプレイ表示について

本機には4つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。

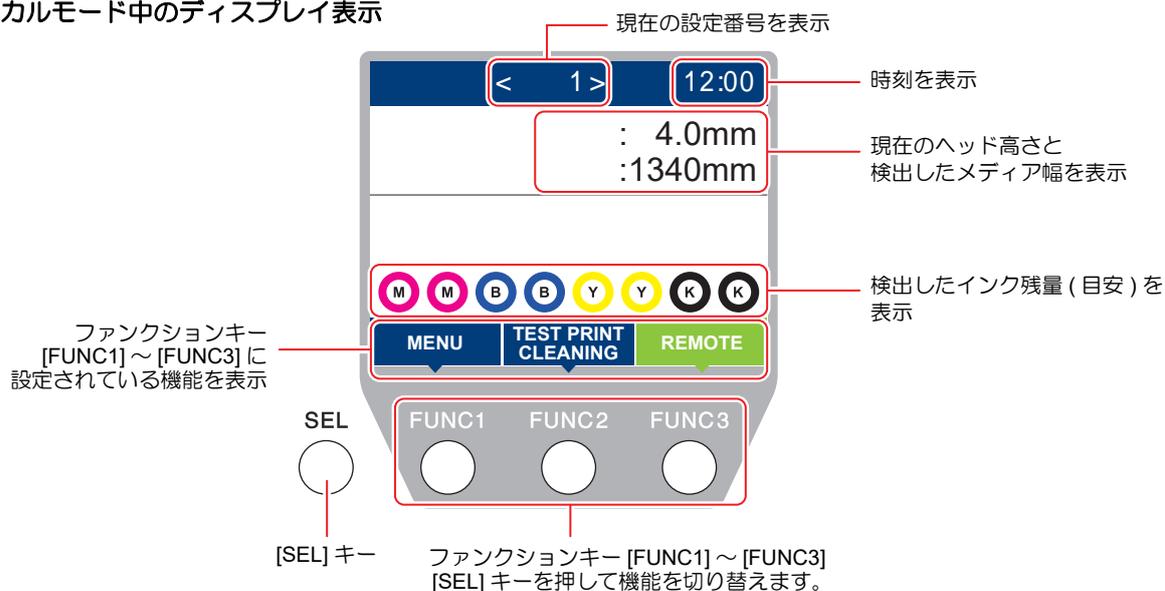
ローカルモード

ローカルモードは、プリント準備状態のモードです。

全てのキーが有効です。

コンピューターから、データを受信できます。ただし、プリントは行いません。

ローカルモード中のディスプレイ表示



ローカルでは以下の操作が可能です。

- ジョグキーを押して、プリント原点やプリント範囲を設定します。
- [ENTER] キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名ファームウェアバージョンなどを確認します。

メニューモード

ローカル時に、[FUNC1] キーを押すとメニューモードになり、各機能を設定できます。

リモートモード

受信したデータをプリントします。

第2章 基本的な使い方



この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ	2-2	リーフメディア(転写紙)をセットする (Tx300P-1800 MkII のみ)	2-26
プリント準備の流れ	2-3	メディア情報の設定	2-27
本体の準備	2-4	プリントの調整	2-29
プラテンの切り替えについて (Tx300P-1800 MkII のみ)	2-4	原点の変更	2-29
布メディア用に切り替える	2-4	テストプリント	2-29
紙プラテン(転写紙用)を取り付ける	2-5	ヘッドクリーニング	2-30
スパーサの設置(布メディア)	2-7	フィード補正の設定	2-31
主電源を入れる	2-8	ドットの位置ずれ補正	2-31
ヘッドの高さ調整	2-8	仕上りをよくするための調整	2-33
繰出/巻取装置の準備	2-9	調整の流れ	2-33
端面ガイドについて	2-10	データのプリント	2-34
繰出/巻取テンションバーの準備 (布メディアプリント)	2-11	プリントを開始する	2-34
引っ張りローラーの準備 (布メディアプリント)	2-14	プリントを中止する	2-34
メディアのセット	2-16	受信したデータを消去する (データクリア)	2-34
ロールメディア(布メディア)をセット する	2-16	プリント完了後の動作	2-34
ロールメディア(転写紙)をセットする (Tx300P-1800 MkII のみ)	2-22	メディアの取り外し	2-35
リーフメディア(布メディア)をセット する	2-25	ロールメディアを取り外す	2-35

作業の流れ

1 本体の準備

プリントをする前に本体の準備をします。Tx300P-1800 MkII は布メディア、紙メディア（転写紙）に合わせてプラテン等の交換が必要となります。

2 メディアのセット

プリントするメディアを本体にセットします。

3 プrintの調整

プリント前に本体、メディアの調整をします。

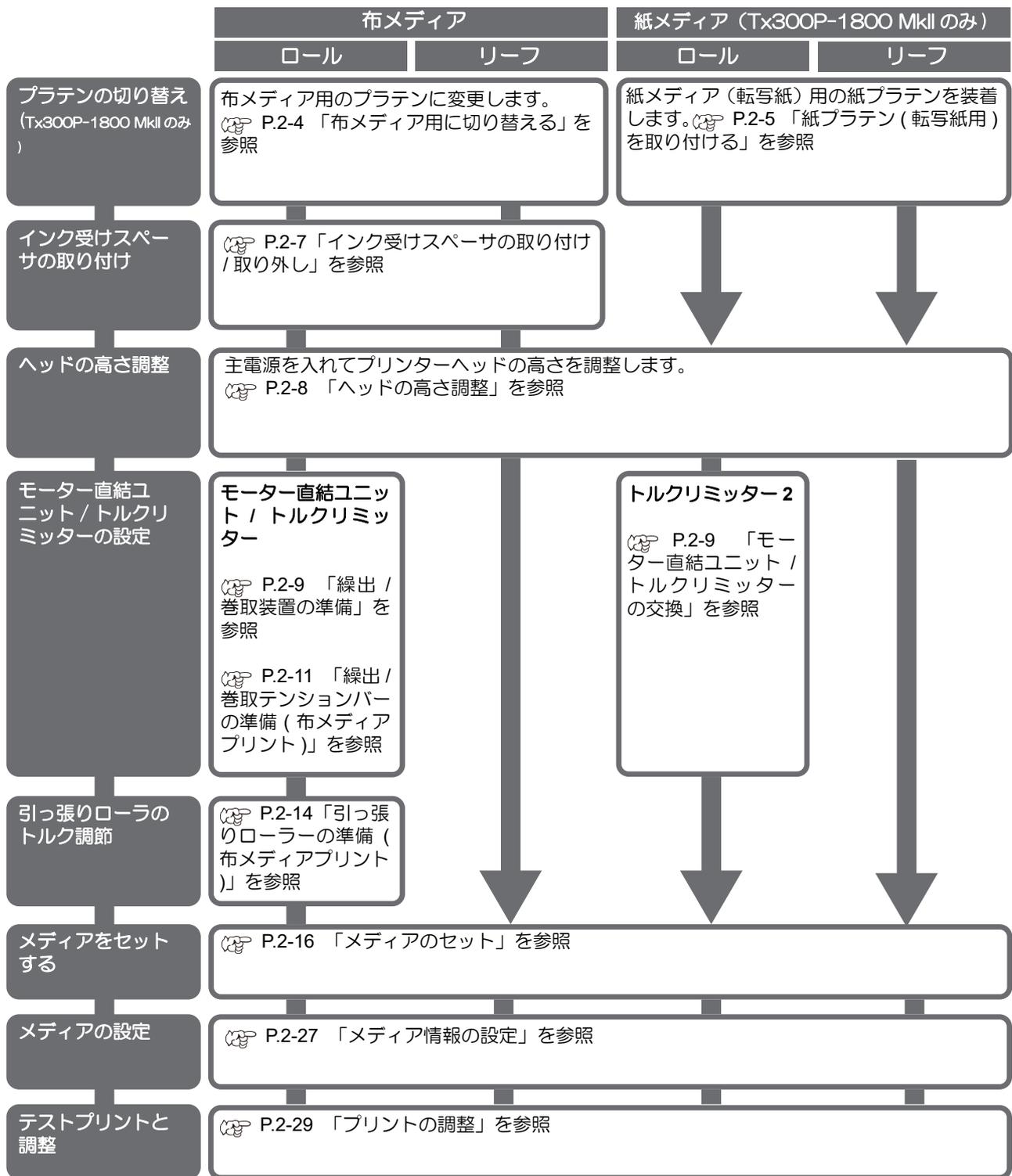
4 データのプリント

すべての準備ができれば、プリントを行います。

5 メディアの取り外し

プリント終了後、プリントされたメディアの取り外しをします。

プリント準備の流れ



本体の準備

メディアの種類やセット方法に合わせて、本体の準備を行います。

プラテンの切り替えについて (Tx300P-1800 MkII のみ)

Tx300P-1800 MkII は布メディアと紙メディア(転写紙)に対応しています。各メディアで使用する場合は専用のプラテンに切り替える必要があります。

Tx300P-1800 MkII 用の紙プラテン

紙プラテン(転写紙用) / 取り外し可



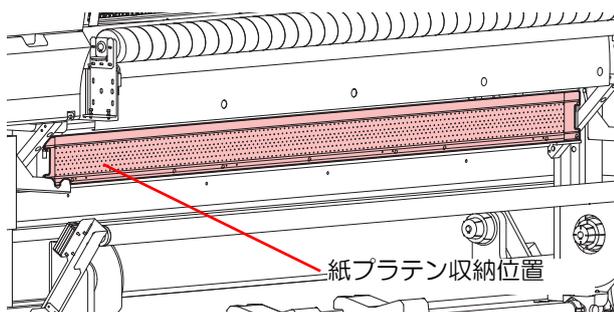
紙プラテンの収納

本体前面の下部にプラテンホルダーがあります。
(☞ P.1-5)

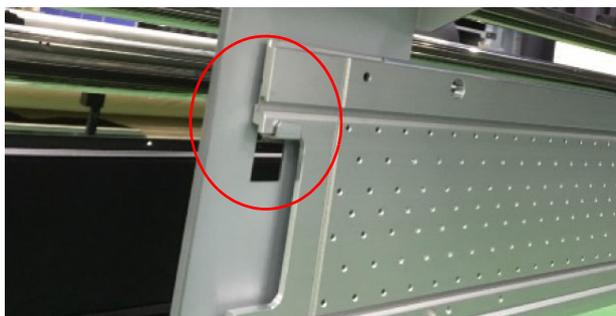
使用しない紙プラテンを収納します。

● プラテンホルダー

紙プラテンを収納します。



紙プラテンを収納する場合は、プラテンホルダーのフックに引っ掛けます。



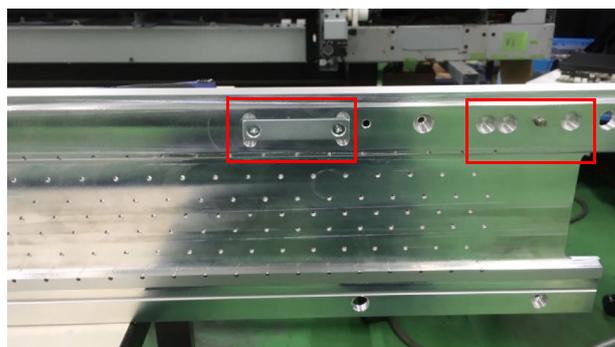
- ・収納した紙プラテンがフックや台座にきちんと設置されているか確認してください。設置状態がよくない場合、プラテンが落下する恐れがあります。

紙プラテンの持ち方



- ・紙プラテンは金属の薄い板でできています。手などを切らないよう十分に気を付けてください。
- ・持ち運ぶ場合は周りの人や物にぶつからないよう注意してください。

ピン、磁石がある面を下にして両手で持ちます。



紙プラテンの中央付近を両手で持ってください。



布メディア用に切り替える

紙プラテン(転写紙用)がセットされている場合は、下記の手順で布メディア用へ切り替えてください。



- ・プラテンの切り替え作業時は必ず主電源を切ってから行ってください。



- ・メディアがセットされている場合は一度メディアを外してから切り替え作業を行ってください。(☞「P.2-42「メディアの取り外し」」)



- ・プリント後、プラテンが汚れている場合は清掃を行ってから取り外してください。(☞ P.4-4「プラテンの清掃」)

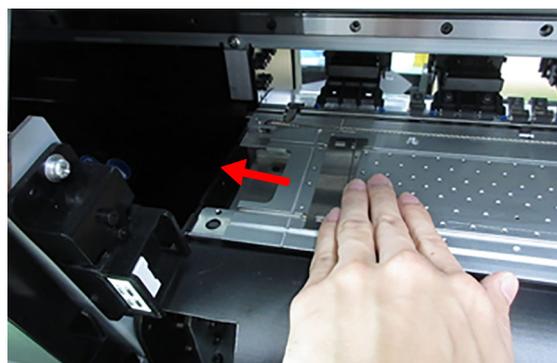
1

フロントカバーを開ける

2

メディア押さえ(x2)を取り外す

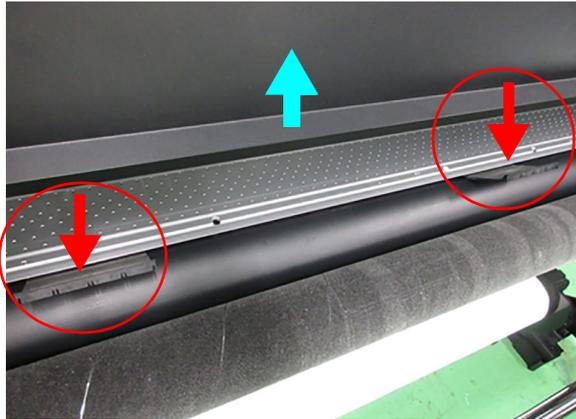
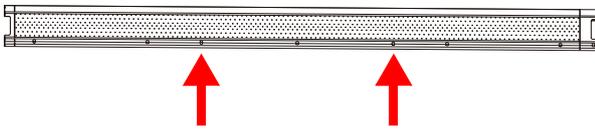
- ・メンテナンススペース側に寄せて取り外します。



3 紙プラテンを持ち上げる

- 紙プラテンは磁石で強く固定されているため、下記の方法で持ち上げてください。
- (1) 本体とプラテンの間で、赤い矢印の箇所に付属のインク受けスペーサーを差し込みます。
- (2) インク受けスペーサーでプラテンを押し上げてから持ち上げます。

紙プラテン



- マグネットで固定されているので跳ね上げに注意してください。
- インク受けスペーサーを差し込むときは無理に力を加えないでください。部品が破損するおそれがあります。

4 持ち上げた紙プラテンを手前に引いてリアプラテンから外す

- 取り外した紙プラテンは下部のプラテンホルダーに収納します。

重要!

- 取り外したパーツは再度紙プラテンを使うときに必要となります。大切の保管してください。

5 布押さえを取り付ける

- インクガードFとリアプラテンにはめます。布押さえは左右あります。



紙プラテン(転写紙用)を取り付ける



- プラテンの切り替え作業時は必ず主電源を切ってから行ってください。
- プラテンが汚れている場合は清掃を行ってから取り外してください。(☞ P.4-4「プラテンの清掃」)
- インクが衣服や手などにつかないよう注意してください。

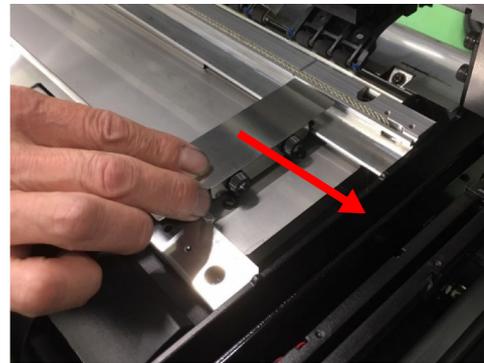


- メディアがセットされている場合は一度メディアを外してから切り替え作業を行ってください。(☞ 「P.2-42「メディアの取り外し」」)

1 フロントカバーを開ける

2 布押さえを取り外す。

- ステーション側(キャリッジがある場所)から取り出します。
- インク受けスペーサーが設置されている場合は、取り外してください。(☞ P.2-7「インク受けスペーサーの取り付け/取り外し」)



3 紙プラテンをプラテンホルダーから取り出す

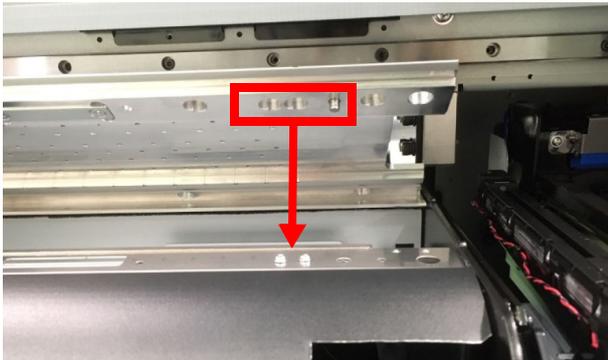
4 プラテンの先をリアプラテンの右端にそろえて突き当てる



- 突き当てるときに、紙片や糸くずが挟まらないよう注意してください。
- 紙片や糸くずがある場合は取り除いてから作業してください。

5 紙プラテンの手前側をプラテンフレームに置く

- 紙プラテンの端にあるピンをプラテンフレームの溝に確実に合わせてはめます。



- 紙プラテンが確実に設置され、浮いていないことを確認してください。

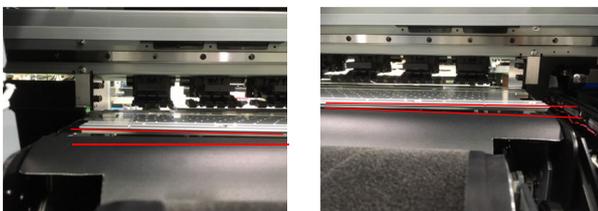


- 紙プラテンの磁石が強力ですので、取り付け時に指などを挟まないよう注意してください。

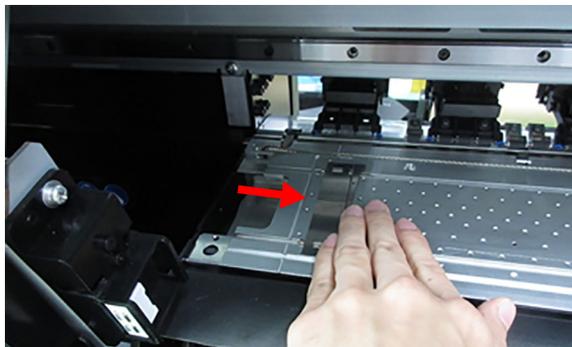
OK : 紙プラテンとプラテンフレームの間に隙間がない



Not Good : 紙プラテンとプラテンフレームの間に隙間あり



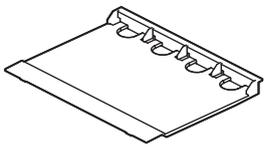
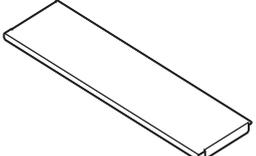
6 メディア押さえ(左右)をメンテナンスカバー側から取り付ける



スペーサの設置 (布メディア)

使用するメディアやプリント方法に合わせて、ご使用になるスペーサの種類を設定してください。

● 各種スペーサについて

インク受けスペーサ	調整スペーサ (Tx300P-1800のみ)
	

● 布にプリントする場合(オーバープリントをしない場合)

インク受けスペーサをご使用ください。

● 布にプリントする場合(オーバープリントをする場合)

インク受けスペーサをご使用ください。

● ドット位置補正する場合 (Tx300P-1800)

調整スペーサをご使用ください。(☞ P.2-31)



- Tx300P-1800 MkIIのドット位置補正では紙プラテンを使用します。(☞ P.2-5「紙プラテン(転写紙用)を取り付ける」)

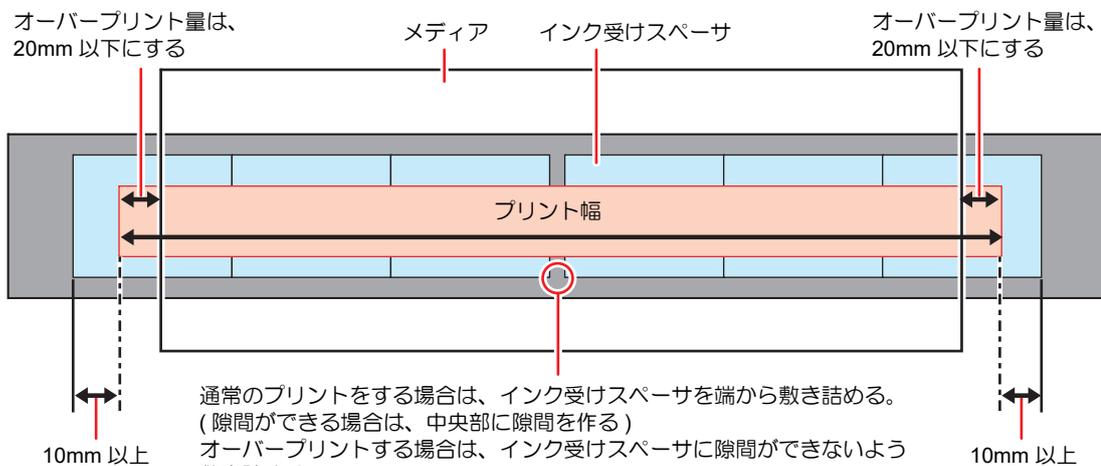
オーバープリントをする場合

オーバープリントをする場合は、次の作業を行ってから布メディアをセットしてください。
マシン設定の「メディア検出の設定」で検出方法を「MANUAL」にし(☞ P.3-17)、☞ P.2-27「メディア検出」を参照してメディア幅を設定してください。



インク受けスペーサ取り付けの目安

- インク受けスペーサの幅が、プリントする画像の幅よりも狭くならないようにしてください。
- 画像の左右それぞれの端から 10mm 以上の余裕があるように、スペーサの枚数を調節してください。
- オーバープリントをする場合は、インク受けスペーサをメディア幅よりも長く敷き詰めてください。

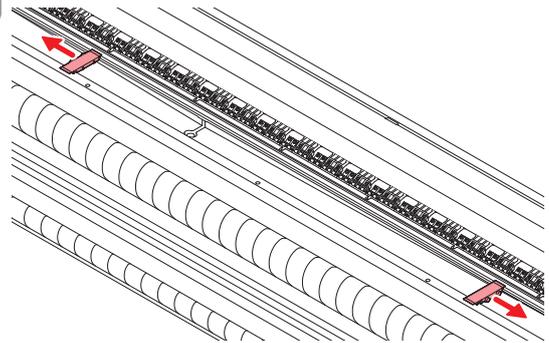


- オーバープリントを行った場合、メディアをセットした後のメディア検出時に、メディア幅入力画面が表示されます。このときは、セットしたメディア幅を入力して [ENTER] キーを押してください。

インク受けスペーサの取り付け / 取り外し

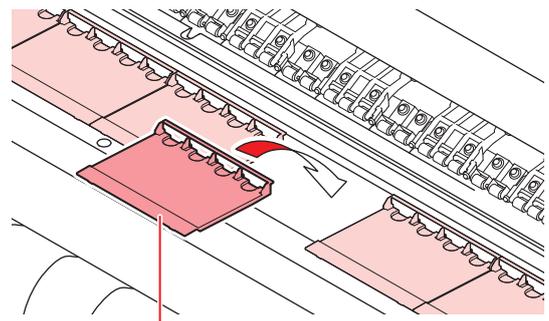
プリントを行うときは、インクミストによるメディア汚れを防止するため、必ずインク受けスペーサをセットしてください。

1 布押さえを左右に寄せる



2 インク受けスペーサを取り付ける

- インク受けスペーサのサイズは、幅 100mm です。
- プリントする画像の幅に合わせて、取り付けるインク受けスペーサの枚数を調節してください。



インク受けスペーサ

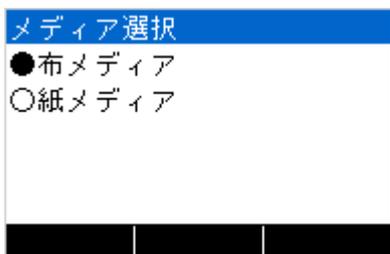
主電源を入れる

スーパまでの準備ができたなら主電源を入れます。電源の入れ方については (P.1-14「電源を入れる」) を参照してください。

メディア選択 (Tx300P-1800 MkII のみ)

主電源を入れるとメディア選択の画面がディスプレイに表示されます。

プリントするメディアに合わせて選択してください。



ヘッドの高さ調整

ヘッド高さ (メディアからヘッドノズル面までの高さ) を設定します。

プリント時やメンテナンス機能などでヘッドがプラテン上へ移動する動作が行われる際に、設定されているヘッド高さ位置に移動します。

ヘッド高さの上限は、メディア厚により変化します。

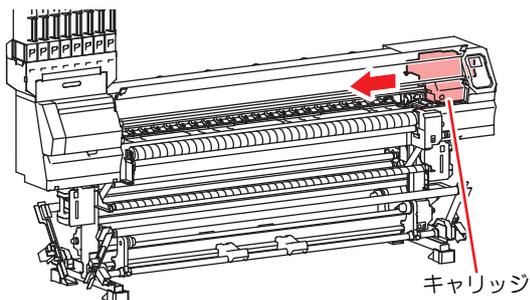
設定値 : [2.0 mm ~ 7.0 mm] (0.1 mm単位)

- 1** ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す

・マシン設定メニューが表示されます。

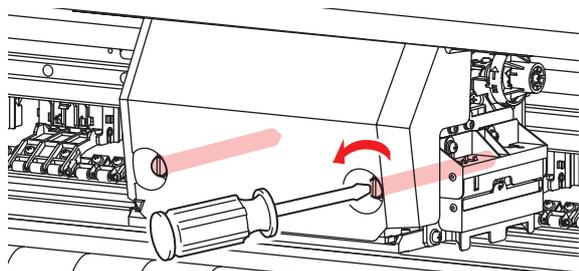
- 2** **▲** **▼** を押して “ヘッド高さ” を選び、**ENTER** キーを押す

・キャリッジがプラテン上に移動します。



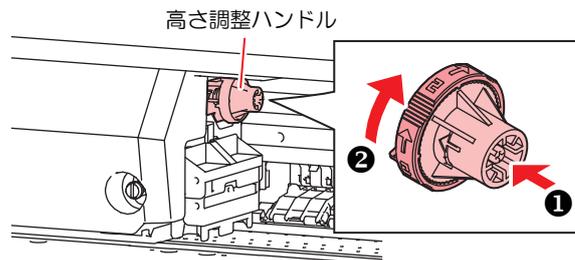
- 3** 正面にある高さ調整ネジを緩める、**ENTER** キーを押す

・マイナスドライバー等を使って、1回転程度回して緩めます。



- 4** 高さ調整ハンドルをメディアに応じて調整する

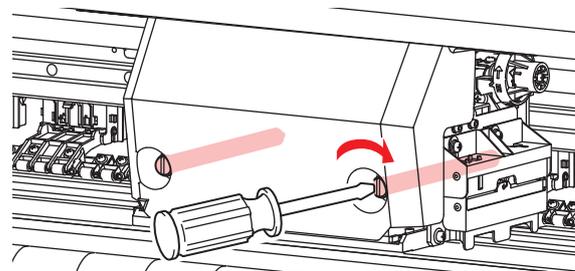
- ・ **①** を押しながら **②** を回して調整します。
- ・ ディスプレイ表示を見ながら、適正な値に調整してください。



- 重要!** ・ 布に印刷する場合は、高さにご注意ください。3 mm以下に設定する場合は、ジャムセンサーが当たらないことを確認してからご使用ください。

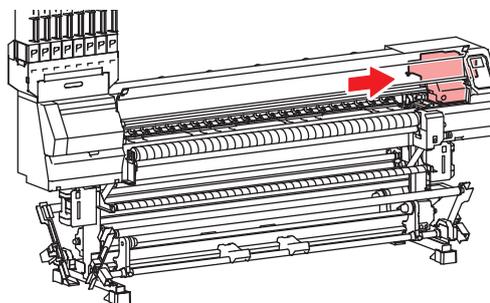
- 5** キャリッジを固定する

- ・ ネジは緩まないように確実に締めてください。



- 6** **ENTER** キーを押す

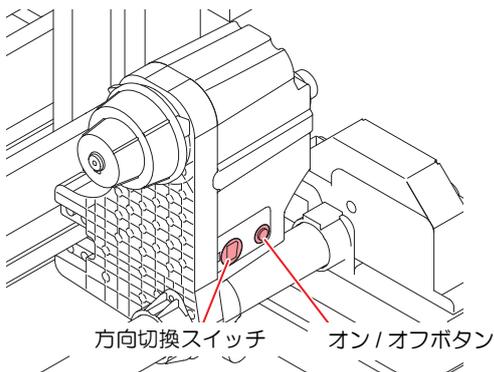
- ・ 自動的にキャリッジがステーションに戻ります。



- 7** 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

繰出 / 巻取装置の準備

繰出 / 巻取装置のスイッチを使って、メディアの巻き取り方向の選択などができます。



繰出装置	方向切換スイッチ	上 (REVERSE)	<ul style="list-style-type: none"> テンションバーで内巻きのメディアを繰り出す場合 小巻き取りで外巻きのメディアにテンションをかける場合
		下 (FORWARD)	<ul style="list-style-type: none"> テンションバーで外巻きのメディアを繰り出す場合 小巻き取りで内巻きのメディアにテンションをかける場合
	オン/オフボタン		繰出動作のオン/オフを切り替える (ボタンを押して繰出装置を動作させると、再度ボタンを押すまで繰出動作を継続します。*1)

*1. オン/オフボタンを押している間だけ、繰出動作をするように設定できます。詳しくは、マシン設定の「繰出 / 巻取ユニットの設定」(P.3-15)を参照してください。また、繰出装置のオン/オフボタンは、装置背面のクランプバーの近くにもあります。メディアセット時に使いやすい方のボタンをお使いください。

巻取装置	方向切換スイッチ	上 (REVERSE)	プリント面を内側にして巻き取る
		下 (FORWARD)	プリント面を外側にして巻き取る
	オン/オフボタン		巻取動作のオン/オフを切り替える (ボタンを押して巻取装置を動作させると、再度ボタンを押すまで巻取動作を継続します。*1)

*1. オン/オフボタンを押している間だけ、巻取動作をするように設定できます。詳しくは、マシン設定の「繰出 / 巻取ユニットの設定」(P.3-15)を参照してください。

モーター直結ユニット / トルクリミッターの交換

巻取 / 繰出装置は、お買い上げ時、モーター直結ユニットが装着されています。繰出 / 巻取テンションバーを使用しない場合には、モーター直結ユニットをトルクリミッターに交換してください。このときは、トルクリミッターを調節して、繰出 / 巻取の強さを変更できます。(工場出荷時は、トルクリミッターを“中”で設定してあります。)薄いメディアを使用してテンションが強すぎる時は、調節を弱めてください。

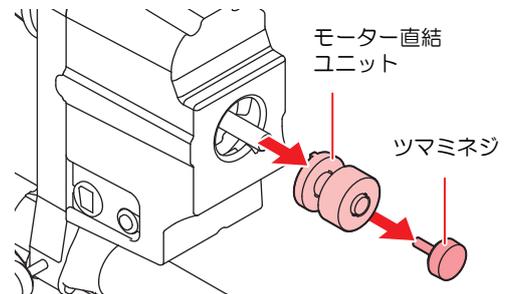
重要! ・紙メディア(転写紙)の場合はトルクリミッター2を使用します。(Tx300P-1800 MkIIのみ)

● トルクリミッターの取り付け

テンションバーを使わずにメディアを巻き取る場合、モーター直結ユニットの代わりにトルクリミッターに交換する必要があります。

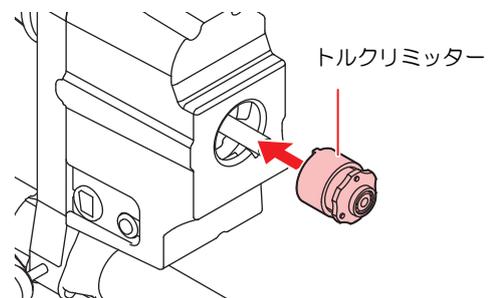
1 モーター直結ユニットを取り外す

- ・ツマミネジを外し、モーター直結ユニットを取り外します。



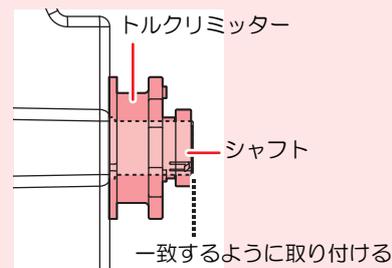
2 トルクリミッターを取り付ける

(1) トルクリミッターを差し込む

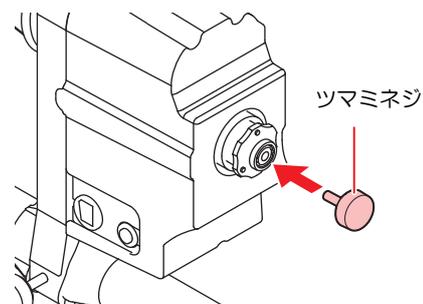


(2) 図のように、繰出 / 巻取装置のシャフトの先端とトルクリミッターの面が一致するように取り付ける

重要! ・図のように、巻取装置のシャフトの先端とトルクリミッターの面が一致するように取り付けてください。シャフトの先端とトルクリミッターの面が一致しない状態でお使いになると、メディアをうまく巻き取れなくなります。

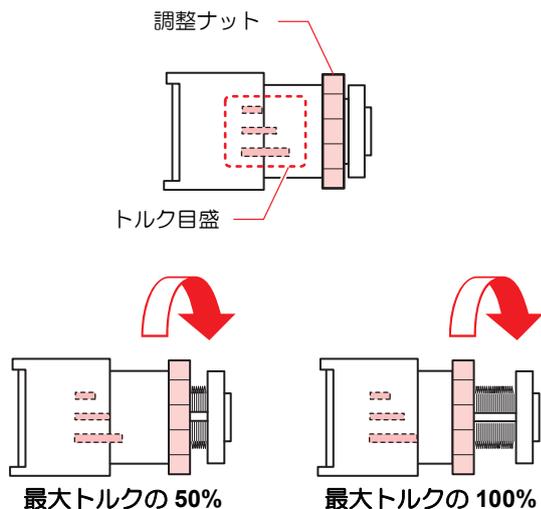


(3) ツマミネジでトルクリミッターを固定する

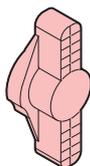


● トルクリミッターの調整

- 時計回り : テンションが強くなる (重量のある厚いメディア)
- 反時計回り : テンションが弱くなる (軽いメディア)



- 重要!**
- トルクリミッターの調節が弱いとメディアを確実に巻き取ることができません。
 - トルクリミッターの調節が強いとメディアによってはたるんでしまい、画質に影響する場合があります。
 - トルクリミッターの調整をするときは、付属のトルク調整ハンドルをお使いください。



- テンションを強めに設定した場合、メディアの種類によっては、巻き取られたロールメディアの端面が、横方向へズレだすことがあります。そのような場合は、端面ガイドをご使用ください。



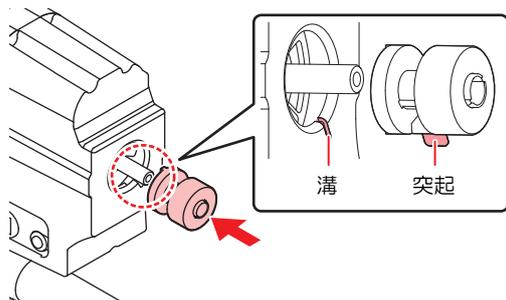
- プリンターでメディアを巻き取る場合、次の2つの方法があります。
 - 巻取装置のみでメディアを巻き取る
 - テンションバーを使ってメディアを巻き取る
 - テンションバーは、繰出側と巻取側の両方にあります。繰出テンションバーと巻取テンションバーは個別に使用 / 不使用を選択できます。(P.3-15)

● モーター直結ユニットの取り付け

トルクリミッターからモーター直結ユニットに付け替える場合も、トルクリミッターの交換手順を参考にしてください。



- モーター直結ユニットを取り付けるときは、モーター直結ユニットの突起と繰出 / 巻取装置の溝を合わせるようにして取り付けてください。



端面ガイドについて

巻き取ったロールメディアの端面が、横方向へズレだすことがあります。そのような場合は、端面ガイドを使用することで、横方向へのズレを防ぎます。

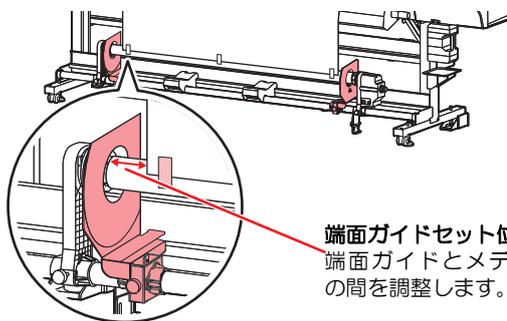


- 端面ガイドを使用する場合、ロールメディア直径に制限があります。
- φ200mm ~ 120mm 以下で使用してください。(端面ガイドの取り付け位置によって変わります)

1 端面ガイドの位置を調整して固定します。

- 端面ガイドのセット位置は、プリント前のロールメディアの直径によって異なります。下記の表を参考に調整してください。

ロールメディア直径	端面ガイドセット位置
~Φ 120mm	1mm
~Φ 170mm	3mm
~Φ 200mm	5mm



繰出 / 巻取テンションバーの準備 (布メディアプリント)

布メディアには、糸の太さや折りが違う物など、様々な種類があります。また、同じメディアでも前処理行程の違いなどから、伸縮性の特性が変化します。このような様々なメディアを、そのメディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、テンションバーウェイトや重量調整バネを使って繰出 / 巻取テンションバーの重量や折り返しバーのセット位置を調整する必要があります。

● カウンターウェイトと重量調整バネについて

カウンターウェイトの取り付け場所と重量調整バネの取り付けによって、テンションバーの重さを調節することができます。

現象			対策
セット時のメディア表面	プリント時	プリント結果	
プリント面がピンと張った状態になっている。	安定したプリントを行う。	メディアの弛みやシワがほとんど見られない。	メディアに対して適正なテンションになっています。テンションバーの重量調整は必要ありません。
メディアの表面に弛みが発生し、プリント面が下がっている。	プリント時にメディアがバタつく。	プリント面が下がっているため、適正なヘッド高さでプリントできず、プリント品質が低下する。	メディアにかかるテンションが弱すぎます。テンションバーを重くしてください。
メディアを引っ張りすぎているため、ピンチローラーとピンチローラーの間など、部分的にシワが発生している。	テンションバーがたわみ、メディアにシワが入ったり、斜行する。	メディアに入ったシワとヘッドがぶつかり、メディア詰まりやヘッド破損の原因になる。	メディアにかかるテンションが強すぎます。テンションバーを軽くしてください。

重要!

カウンターウェイトについて

- お買い上げ時、本機にカウンターウェイトは取り付けられていません。
- 1箇所に取り付けられるウェイトの最大重量は、700gです。
メディアの張り具合を確認し、適切なウェイトを取り付けてください。
- カウンターウェイトの取り付け位置によって、テンションバーの重さを変えることができます。
同じ量のウェイトを上側または下側に付けたとき、上側に付けた方がテンションバーは軽くなります。
(上下同時にウェイトを取り付けることはできません。)
- カウンターウェイトは、繰出側(左右2箇所)と巻取側(左右2箇所)の計4箇所取り付けられます。ウェイトを取り付けるときは、4箇所が同じ重さとなるように取り付けてください。重さが同じになっていないと、テンションバーがたわみ、プリント品質が低下することがあります。
- 使用しないカウンターウェイトは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。

重量調整バネについて

- お買い上げ時は、緑色のバネが取り付けられています。バネの種類を変えるまたは、バネを取り外すことにより、テンションバーの重さを変えることができます。
- 重量調整バネは、繰出側(左右2箇所)と巻取側(左右2箇所)の計4箇所調整できます。重量調整バネの強度は4箇所とも同様にセットしてください。強度が異なると、テンションバーがたわみ、プリント品質が低下することがあります。
- 重量調整バネの交換や取り外しをする際は、手袋をはめて行ってください。バネを取り付けてある軸にはグリスを塗ってあります。また、軸に塗ってあるグリスは拭き取らないでください。

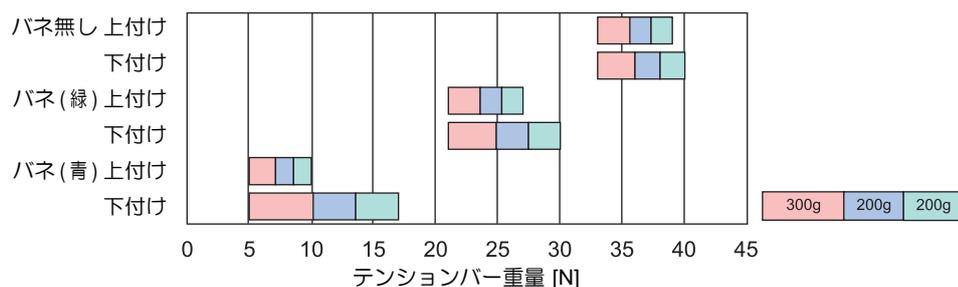
テンションバーの調整方法

- (1) 重量調整バネを変更してテンションバーの重さを調整する
- (2) テンションバーが軽すぎる場合は、カウンターウェイトを追加し、重すぎる場合はウェイトを外してください。
 - ウェイトを増減するときは、少しずつ重さを変えることをお勧めします。
 - 使用しない重量調整バネは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。



- 下にカウンターウェイトと重量調整バネの相関図を示します。参考にしてください。

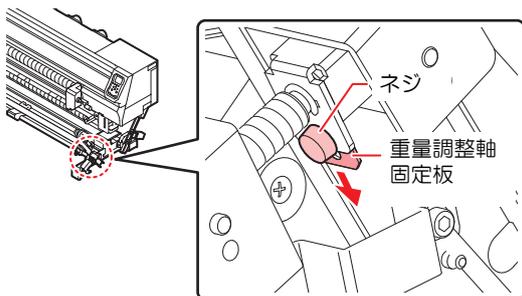
ウェイト取付重量 (片側)



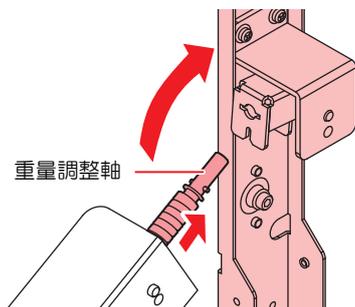
- カウンターウェイト重量調整バネの取り付けは、P.2-31「フィード補正の設定」でメディアの送り補正量を調整してから行ってください。

重量調整バネを取り付ける

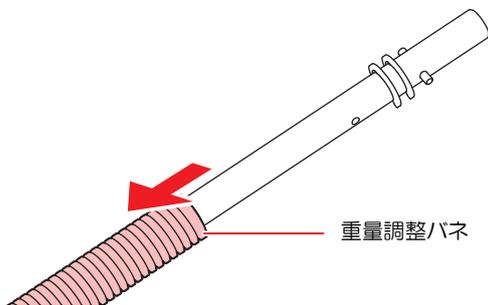
1 ネジを緩め、重量調整軸固定板を取り外す



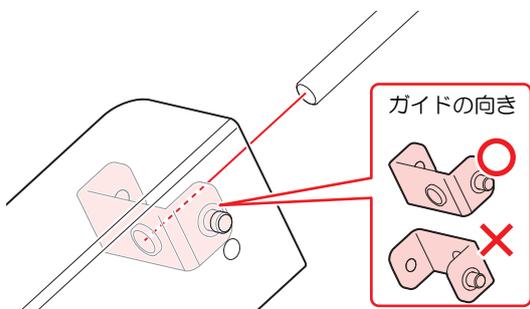
2 重量調整軸を抜き取る
• 重量調整軸に付いている穴を横に向けてからテンションバーを上げてください。



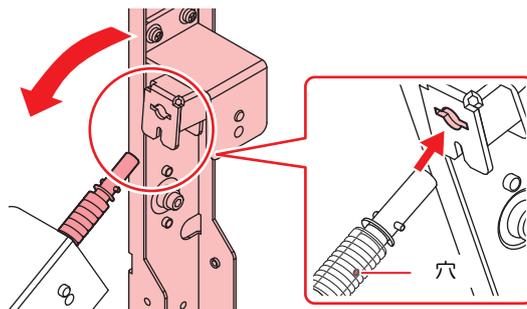
3 現在付いている重量調整バネを取り外す
• または、別のバネに付け替えてください。



4 重量調整軸を取り付ける
• 重量調整軸を取り付けるガイドの向きに注意して取り付けてください。



5 重量調整軸に付いている穴を横に向けて差し込み、重量調整軸固定板を奥まで差し込む

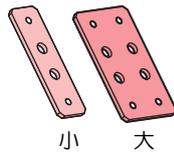


6 ネジを締める

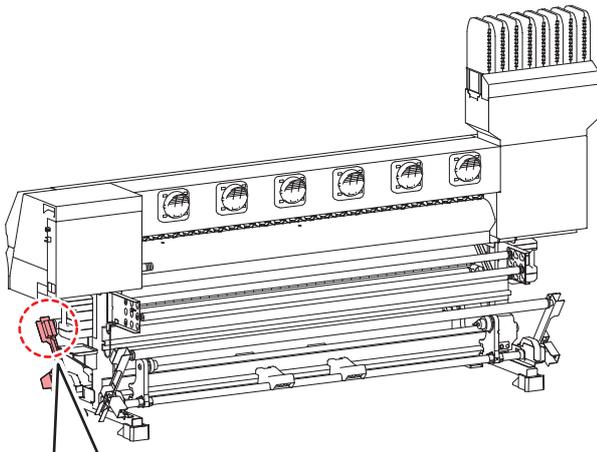
テンションバーの重量調整用カウンターウェイトの取り付け (1)



- 大 / 小 2 種類のカウンターウェイト (大 (100g x 4 枚) / 小 (50g x 20 枚)) が添付されている場合は、以下のようにしてカウンターウェイトを取り付けます。
- メディアの張り具合を確認し、適切なウェイトを取り付けてください。

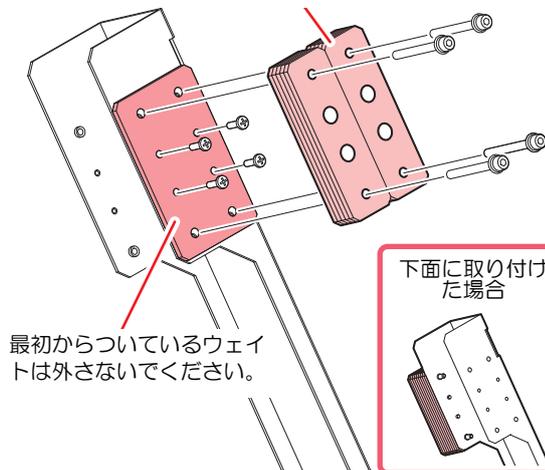


メディアの性質によって、カウンターウェイトを取り付けてください。
 カウンターウェイトは、左右それぞれに最大 12 枚 (大 : 2 枚、小 : 10 枚) まで取り付けることができます。



カウンターウェイト

ウェイトはテンションバーの上面または下面のいずれかに取り付けることができます。



最初からついているウェイトは外さないでください。

下面に取り付けた場合

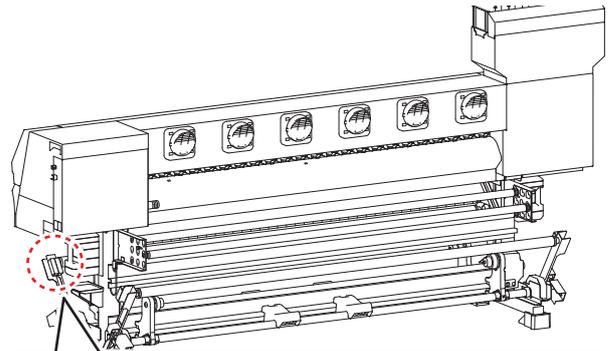
テンションバーの重量調整用カウンターウェイトの取り付け (2)



- 右図のカウンターウェイト (50g x 28 枚) が添付されている場合は、以下のようにしてカウンターウェイトを取り付けます。
- メディアの張り具合を確認し、適切なウェイトを取り付けてください。

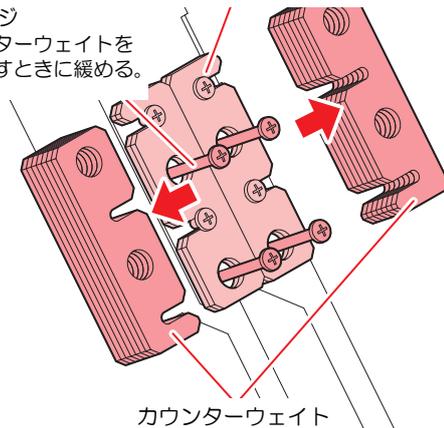


メディアの性質によって、カウンターウェイトを取り付けてください。
 カウンターウェイトは、左右それぞれに最大 14 枚まで取り付けることができます。



最初からついているウェイトは外さないでください。
 また、ウェイトを止めているネジを外さないでください。

取付ネジ
 カウンターウェイトを取り外すときに緩める。



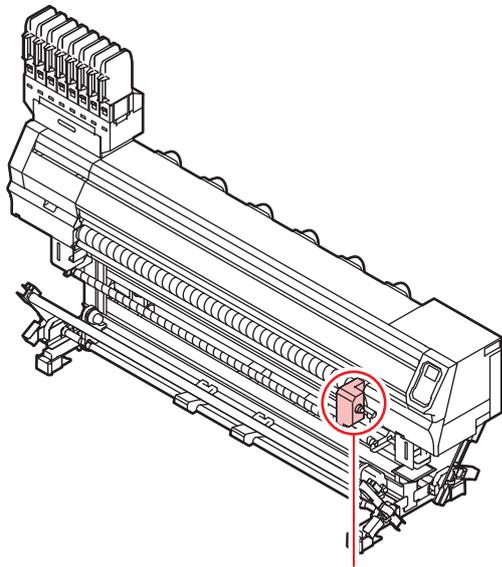
カウンターウェイト



- 一番下のカウンターウェイトを取り付け / 取り外したいときは、取付ネジを十分に緩めてください。ネジが十分に緩んでいないと、最初から付いているウェイトのネジにカウンターウェイトが引っかかり、外れないことがあります。

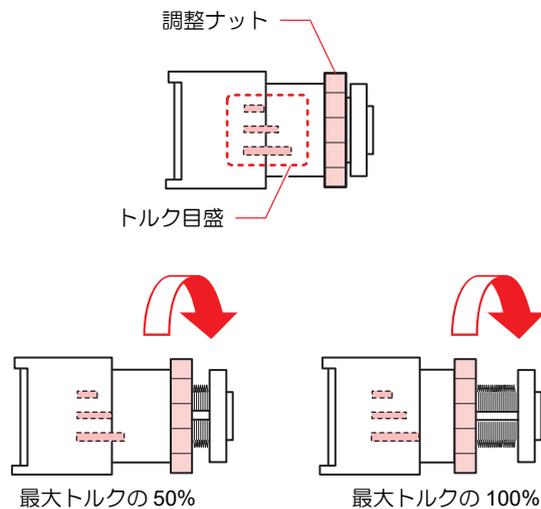
引っ張りローラーの準備 (布メディアプリント)

引っ張りローラーには、トルクリミッターが付いています。トルクリミッターを調整して、ローラーが回転する強さを変更できます。(工場出荷時は、トルクリミッターを最も強く設定してあります。)
カウンターウェイトの調整でメディアの送りを調整できなかった場合、トルクリミッターの調節をしてください。



トルクリミッター

- ・時計回り : テンションが強くなる(厚いメディア)
- ・反時計回り : テンションが弱くなる(軽いメディア)



- 重要!**
- ・トルクリミッターの調節が弱すぎるとメディアがバタツキやすくなったりプリント品質が低下します。
 - ・トルクリミッターの調節が強すぎるとメディアによってはシワが発生し、プリント品質が低下します。
 - ・メディアを張った状態で引っ張りローラーが空回りする場合はトルクリミッターの調節が強すぎます。トルクリミッターを弱くするか、テンションバーの重量を増やしてください。

布巻ローラーを取り付ける

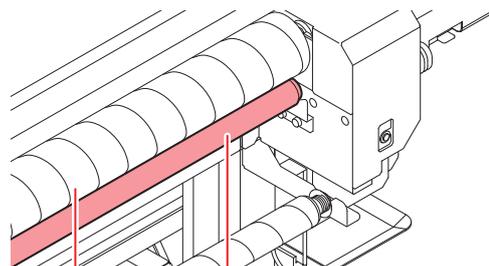
目の粗い布などにプリントしたとき、布の裏側に残ったインクが引っ張りローラーに付着し、布メディアを汚してしまう場合があります。

布巻ローラーを取り付けておけば、引っ張りローラーに付着したインクを取り除いて布メディアの汚れを防ぐことができます。

- 重要!**
- ・出荷時には布巻ローラーに布は巻かれていません。以下のサイズの吸水性の良い布をご用意ください。
 - ・素材: 綿天竺、綿ブロードなど
 - ・サイズ: 195cm x 70cm

1 布巻ローラーを取り外す

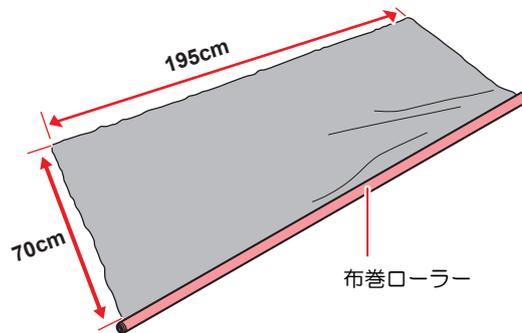
- ・布巻ローラーは引っ張りローラーの下にあります。



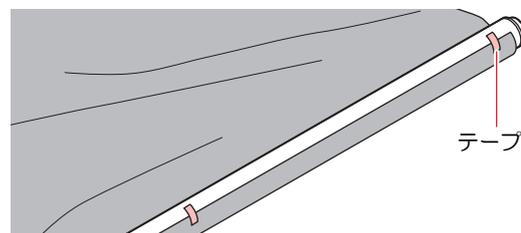
引っ張りローラー 布巻ローラー

2 布巻ローラーに布を巻き付ける

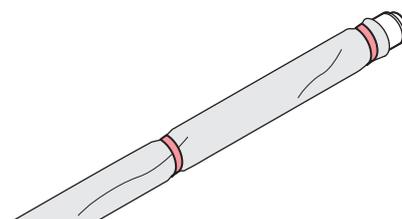
- ・下図のように、布とローラーを合わせる



(1) 布とローラーを粘着テープで固定する

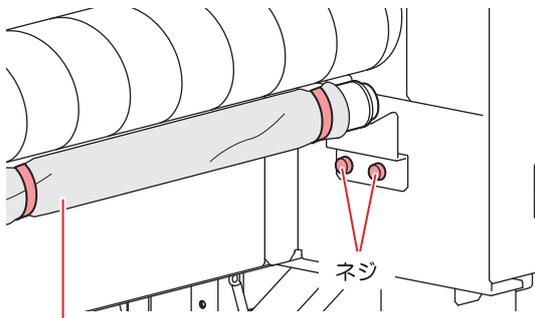


(2) 布をローラーに巻き付け、粘着テープで固定する



3 布を巻いた布巻ローラーを取り付ける

- 引っ張りローラーの下にある溝に布巻ローラーを取り付けます。
- 布巻ローラー両端の軸受け部の位置を調節してください。
軸受け部のネジを緩め、布巻ローラーが引っ張りローラーに接触するようにします。



布引ローラー

4 引っ張りローラーを手で回転させ、スムーズに回転することを確認する

- 引っ張りローラーがスムーズに回転しないときは、布巻ローラーの取付位置を確認してください。

メディアのセット

本機では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。
 使用できるメディアについては、[P.1-15](#)「使用可能メディアサイズ」を参照してください。



- ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- ロールメディアをセットする場合は、2人以上でセットしてください。ロールメディアの重みで腰を痛める可能性があります。
- ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に行ってください。メディアをセットしたあとに調整すると、メディア詰まりやプリント品質の低下、ヘッドの破損の原因となります。
- Tx300P-1800 MkII ではメディアの種類によって本体部品 (プラテン) の切り替えが必要となります。[P.2-4](#)

重要!

- 本機ではメディアを右寄せまたは中央にセットできます。メディアをセットする際は、本体背面に2カ所あるメディアセンサーのどちらか一方を必ず覆うようにセットしてください。
- メディアを中央にセットする場合、巻き取り延長ケーブルを使用してください。
- 使用目的に応じヘッド高さを調整してください。

ロールメディア(布メディア)をセットする

ロールメディア(布)をプリンターにセットする方法はテンションバーを使用する場合と使用しない場合があります。
 メディアをセット中にメディア検出が行われます。[P.2-27](#)

重要!

- プラテンは布メディア用を使用してください。
- メディアを中央にセットする場合、巻き取り延長ケーブルを使用してください。
- 使用目的に応じヘッド高さを調整してください。

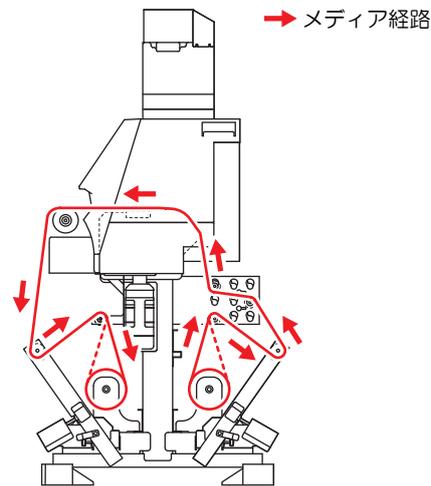
テンションバーを使用する

ここでは繰出/巻取の両方でテンションバーを使用するメディアのセット方法を説明します。

テンションバーを使用して布メディアをセットするときの経路は下図のようになります。
 メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。

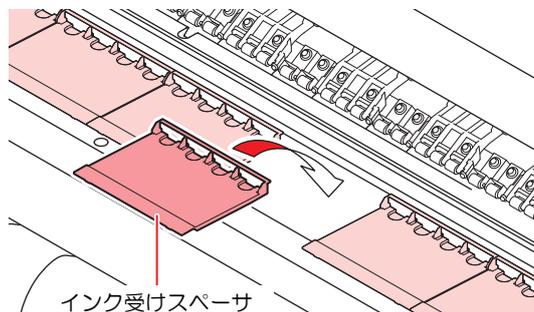
重要!

- 「テンションバー使用選択」で正しく設定されていることをご確認ください。
- 布メディアをセットする前に、グリットローラー付近が汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、清掃してください。
- テンションバーを使ってメディアをセットする前に、繰出/巻取装置にモーター直結ユニットが付いていることを確認してください。トルクリミッターが付いている場合は、[P.2-9](#)を参照してモーター直結ユニットに交換してください。



1 インク受けスパーサを取り付ける

- [P.2-7](#)「インク受けスパーサの取り付け/取り外し」を参照して取り付けしてください。



2 フロントカバーを閉じ、クランプレバーが下がっていることを確認する

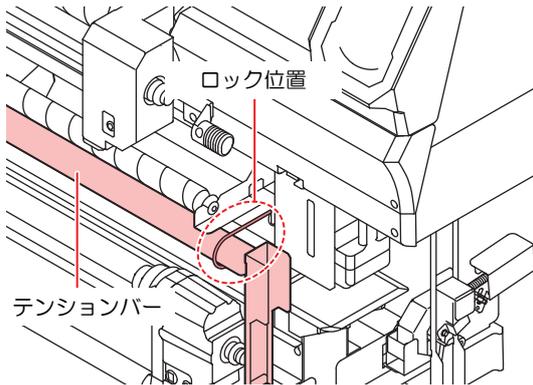
- “テンションバー使用選択”画面が表示されます。

3 メディアのセット方法に合わせて、テンションバーの使い方を選択する

- この場合は、“繰出 & 巻取”を選択します。
 (DL=モーター直結ユニット、TL=トルクリミッター、—=ユニットOFF)
- **[▲][▼]**を押して“繰出 & 巻取”を選択し、**[ENTER]**キーを押してください。

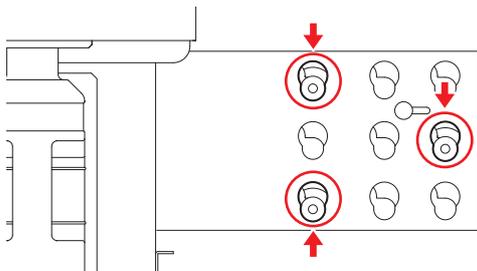
テンションバー使用選択	
<input checked="" type="radio"/> 繰出 & 巻取	DC/DC
<input type="radio"/> 繰出のみ	DC
<input type="radio"/> 巻取のみ	DC
<input type="radio"/> OFF	

4 繰出テンションバーと巻取テンションバーをロック位置に固定する

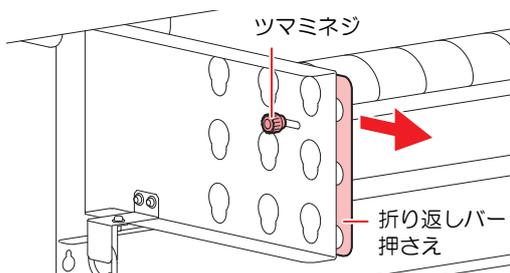


5 セットするメディアに合わせて、折り返しバーを取り付ける

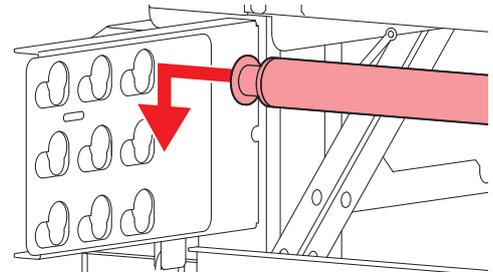
- 繰出側のテンションを安定させるため、セットするメディアに合わせて適正な位置に折り返しバーを取り付けてください。
- 下図の位置が、弊社が推奨する取り付け位置です。この位置に折り返しバーを取り付けても、メディアがたるんだり、縦シワが入るときは P.2-21 を参照して、お使いのメディアにあった張り具合にしてください。



- 折り返しバー取付板 (左右) の外側に付いているツマミネジを緩める
 - 折り返しバー押さえが自由に動くようになります。
- 緩めたツマミネジを持ちながら、折り返しバー押さえを手前に移動させる
 - ストッパーに当たるまで移動させてください。



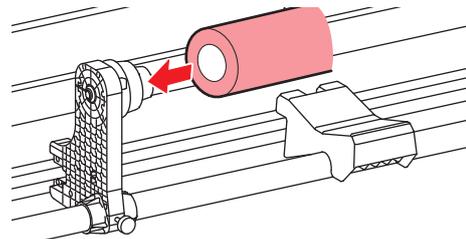
- 折り返しバーを差し込み、下げる
 - だるま型になっている穴の下の方に折り返しバーをセットしてください。
 - 折り返しバーのセット位置を確認してください。間違えた位置に差し込むと、折り返しバーの固定ができなくなります。



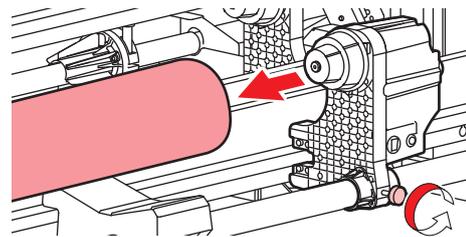
- 折り返しバー押さえを本体側へ移動し、固定する
 - 左右両方の折り返しバー取付板に対して、同様の作業をしてください。

6 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込む

- 紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

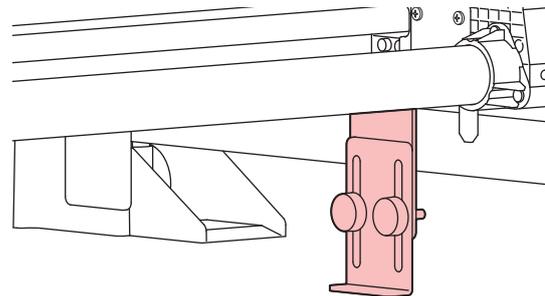


7 右側の繰出装置のネジを緩め、紙管に差し込む

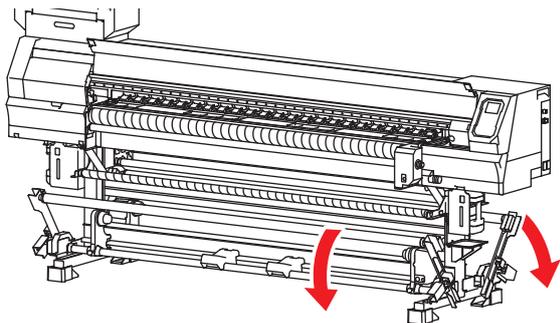


8 繰出脚を床に固定する

- セットしたメディアの重みによって繰出装置を固定しているシャフトがたわまないようにするため、必ず繰出脚を床に固定してください。

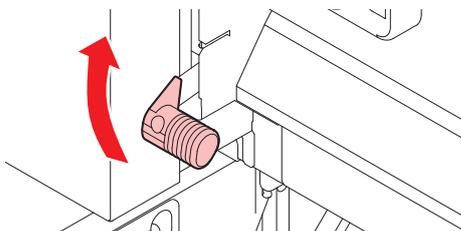


9 繰出テンションバーと巻取テンションバーを下げる

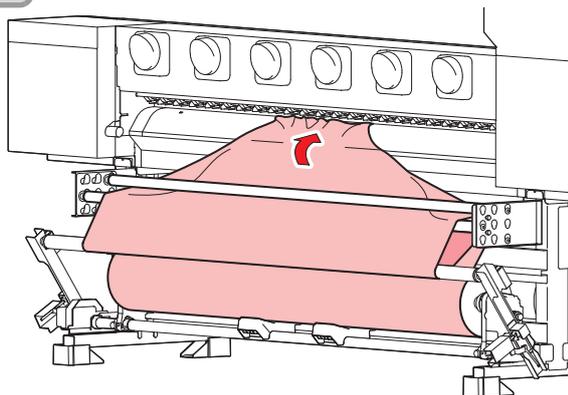


10 装置背面のクランプレバーを上げる

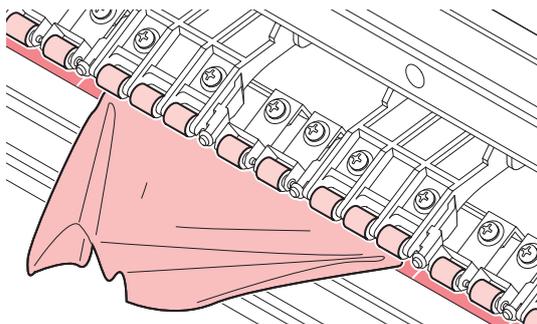
・クランプレバーを下げておくと、繰出装置がロックされ、手順 11 以降でメディアを引き出せなくなります。



11 本機にロールメディアを差し込む



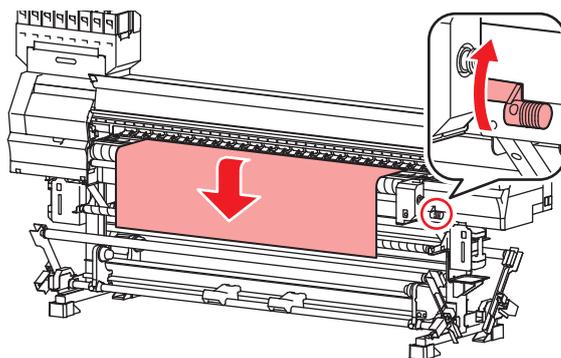
- (1) プラテンの先端まで届くくらい、メディアを引き出す
- (2) 繰出テンションバーと折り返しバーを使って、メディアに適切なテンションがかかるようにメディアを通す
- (3) プラテンとピンチローラーの間にメディアを差し込む
 - ・装置前面からメディアをつかめるくらい、メディアを送り出してください。



- (4) 装置背面からクランプレバーを下げる
 - ・メディアが保持されます。

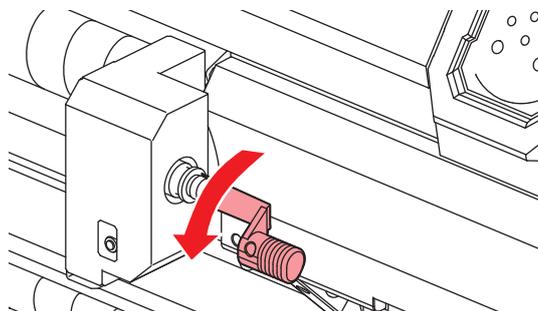
12 フロントカバーを開け、ロールメディアを引き出す

- (1) フロントカバーを開ける
- (2) 装置前面からクランプレバーを上げる
 - ・クランプレバーを上げるときは、メディアが繰出側に落ちないように、押さえておくことをお勧めします。
- (3) ロールメディアを静かに引き出す
 - ・メディアは斜め上方方向に引き出してください。水平に引き出すと、グリットローラーに引っかかり、メディアに傷が付く恐れがあります。
 - ・引っ張りローラーにかかるくらいまで、メディアを引き出してください。



13 メディアのシワを取り、クランプレバーを下げる

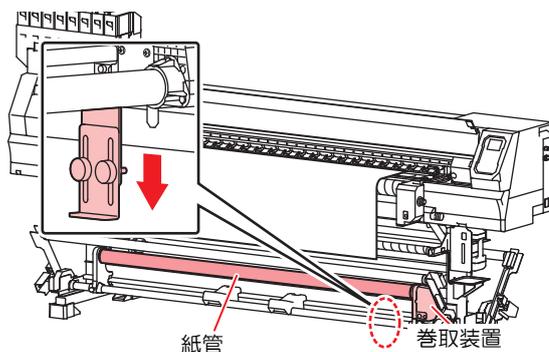
・メディアの数カ所を軽く引っ張ってシワを取り、メディアの端が一直線になっているか（前後）確認してから、クランプレバーを下げてください。



14 フロントカバーを閉じる

15 巻取装置に空の紙管をセットし、巻取脚を床に固定する

・紙管セット後、巻取脚を床に固定させます。

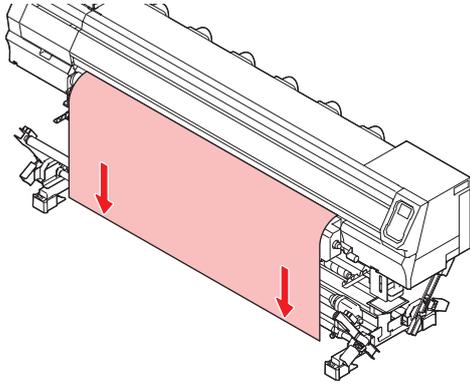


16 繰出側にメディアがセットされていることを確認し、**ENTER** キーを押す

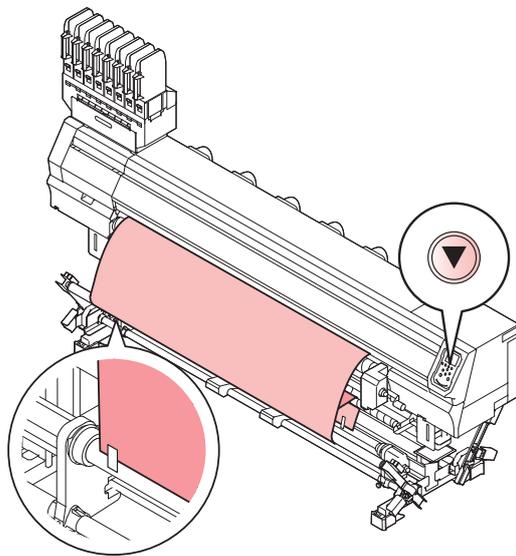
- 繰出テンションバーが動作し、繰出側のメディア検出と調整を行います。
- メディアを検出できなかった場合は、クランプレバーを上げ、手順9からの操作をやり直してください。

17 巻取装置にメディアを固定する

- (1) **▼** を押してメディアが床に届くくらいまで、メディアをフィードする

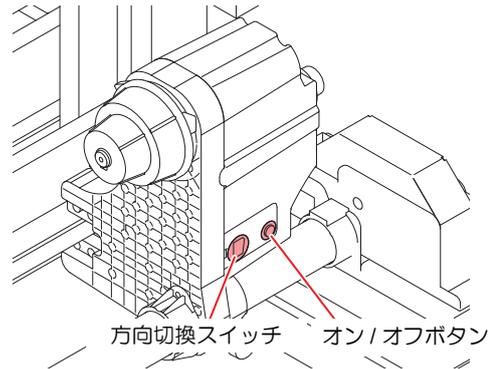


- (2) 巻取テンションバーを経由して、折り返しバーの後ろ側からメディアを通す
- (3) 粘着テープでメディアの中央を固定する
- (4) 同様にしてメディアの左右を固定する
- ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにタルミ、シワが無いことを確認し、テープを貼ってください。



- 重要!**
- 幅の広いメディアをセットする場合は、メディアの5箇所以上をテープなどで固定してください。固定箇所が多いほどメディアの張りが均等になります。
 - セットした布と紙管の位置がズれている場合は、ロールホルダのネジを緩め、紙管が適切な位置になるよう調整してください。
 - 繰出側のロールが見えるところまで目線を下げ、布の右端・左端が繰出側ロールの左右端位置とずれていないかチェックしてください。

18 メディア巻取装置のスイッチを使って、紙管にメディアを軽く1周ほど巻きつける

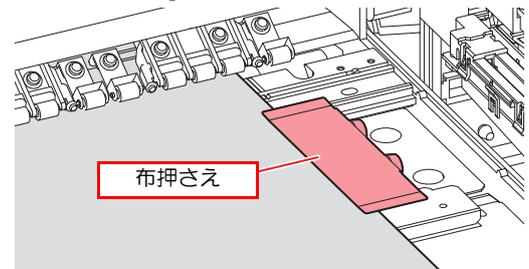


- (1) 左側の方向切換スイッチで巻き取る方向をセットし、右側のオン/オフボタンをオンにしてメディアを巻きつける
- (2) メディアが張ったら、右側のオン/オフボタンをオフにして巻きつけを止める
- メディアは1周以上紙管に巻き付けてください。
 - あらかじめ引き出しておいたメディアの量では紙管に1周以上巻き付けられない場合は、再度 **▼** を押してメディアをフィードし、巻取装置で巻き付けてください。

- 重要!**
- 紙管に巻き取るだけのメディアが無い場合は、必ず **▼** を押してメディアをフィードしてから巻取装置で巻き取ってください。無理に巻き取ると、故障の原因になることがあります。

19 フロントカバーを開け、布押さえでメディアを軽くはさむ

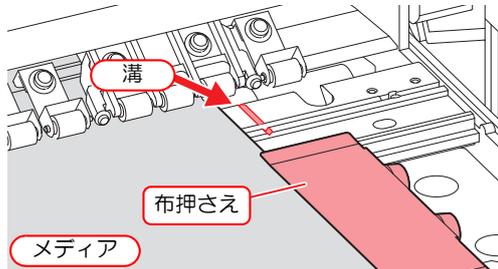
- プラテン上にあるV字の溝よりも右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、布押さえの高さ調整 (P.2-20) を行ってください。



- 重要!** 布押さえは必ず使用してください。布押さえを使用することにより、次のような効果があります。
- 使用する布が、カール、反り返り、毛羽立ち等で、布端が浮いてくることを防ぐ
 - プリント中の裏抜けインクミストを防ぐ



- メディアをセットするときは、プラテン上の溝にメディア右端を合わせるようにしてセットしてください。メディアを溝より右側にセットすると、メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因となります。
- メディアが規定位置より左右に寄っていると、メディア検出後、エラーメッセージ“メディアイチミギスギマス”を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。



20 フロントカバーを閉じ、**ENTER** を押す

- 巻取テンションバーが動作し、巻取側のメディアの検出と調整を行います。
- 巻取側のメディア検出が終わると、続けてメディアの巻径の検出を行います。
- マシン設定の「メディア検出」の中の巻径検出の設定が“MANUAL”になっている場合 (P.3-17)、巻径検出は自動で行いません。(P.2-27)「巻径検出」を参照して巻径を入力してください。
- メディアを検出できなかった場合は、手順2からの操作をやり直してください。

21 巻径の検出が終わったら、**ENTER** を押す

- メディア幅を検出します。
- マシン設定の「メディア検出」の設定が“MANUAL”になっている場合 (P.3-17)、メディア幅の検出は自動で行いません。(P.2-27)「メディア検出」を参照してメディア幅を入力してください。
- マシン設定の「メディア残量表示」の設定が“ON”の場合 (P.2-28)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面が表示されます。

重要!

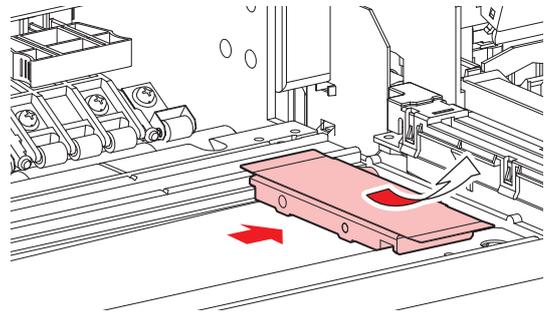
- メディアをセットしたら、任意のデータをプリントして、メディアテンションが適正にかかっているか確認してください。プリントした画像に白または黒スジが入る場合は、セットしたメディアに適したテンションになっていません。折り返しバーの位置や、繰出/巻取テンションバーの重量調整を変更し、適正な位置になるまで確認してください。

布押さえの調節方法

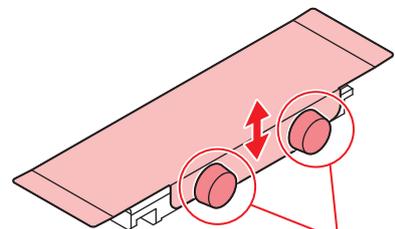
布の厚みに合わせて、ステンレス板の高さを調節してください。

1 布押さえを取り外す

- 布押さえをプラテンの端までスライドさせ、取り外します。



2 ツマミネジを緩め、布の厚みにあわせてステンレス板の高さを調節する



つまミネジ

重要!

- 厚手の布を布押さえで押さえる場合、ヘッドの高さも布の厚さに応じて高くセットしてください。ヘッド高さが低いままになっていると、ヘッドの破損の原因になります。

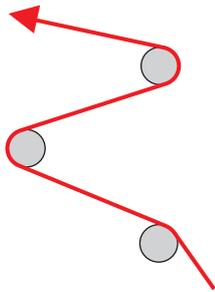
折り返しバーの調節方法

メディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、折り返しバーの取り付け位置や本数を調整してください。

- 重要!** ・厚手の布を布押さえて押さえる場合、ヘッドの高さも布の厚さに応じて高くセットしてください。ヘッド高さが低いままになっていると、ヘッドの破損の原因になります。

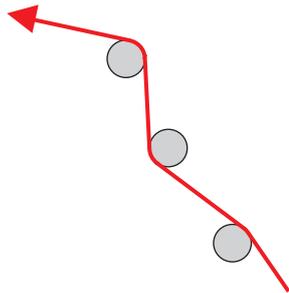
● メディアの張りが弱い場合

巻き付け角度を大きくしてください。
メディアにかかるテンションが強くなります。



● メディアの張りが強い場合

巻き付け角度を小さくしてください。
メディアにかかるテンションが弱くなります。



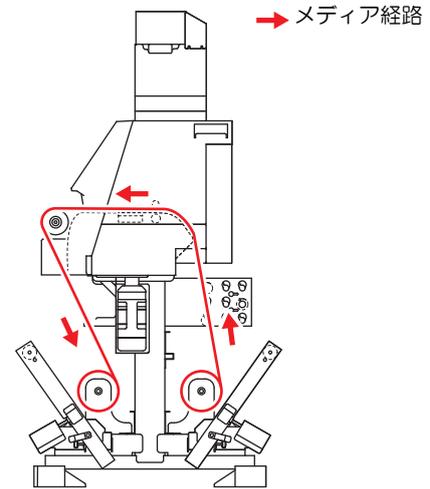
テンションバーを使わずにロールメディアをセットする

ここではテンションバーを使用しないでメディアをセットする方法を説明します。
メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。

- 重要!** ・テンションバーを使用しないでロールメディアをセットする場合は、繰出/巻取装置に付いているモーター直結ユニットを付属のトルクリミッターに交換してください。(P.2-9)
- ・テンションバーを使用しないで連続プリントする場合は、10m程度に限ります。連続プリントをする長さが10mを超える場合は、テンションバーを使用してメディアをセットしてください。

テンションバーを使わずに布メディアをセットするときの経路は下図のようになります。

メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。



- 重要!** ・布メディアをセットする前に、グリットローラー付近が汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、清掃してください。
- ・テンションバーを使わずにロールメディアをセットするときは、折り返しバーとトルクリミッターでメディアの張りを調節します。(P.2-21)

1 フロントカバーを閉じ、クランプレバーが下がっていることを確認する

・“テンションバー使用選択”画面が表示されます。

2 メディアのセット方法に合わせて、テンションバーの使い方を選択する

- ・この場合は、“OFF”を選択します。
(DL=モーター直結ユニット、TL=トルクリミッター、--=ユニットOFF)
- ・[▲]/[▼]を押して“OFF”を選択し、[ENTER]キーを押してください。

テンションバー使用選択	
<input type="radio"/> 繰出&巻取	TL/TL
<input type="radio"/> 繰出のみ	TL
<input type="radio"/> 巻取のみ	TL
<input checked="" type="radio"/> OFF	

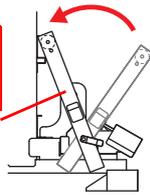
- 重要!** ・あらかじめ、マシン設定の「繰出/巻取ユニットの設定」で“繰出テンションバー”と“巻取テンションバー”を両方とも“OFF”(P.3-15)にしておけば、“テンションバー使用選択”画面は表示されません。
(メディア選択画面が表示されます。)

3 繰出側のメディアをセットする

- P.2-16「テンションバーを使用する」手順 4～8 までの操作をしてください。
- 繰り出し側のテンションバーを一時的に動かす必要があります。

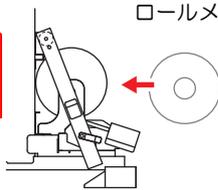
1) テンションバーを本体奥側にホールドします。

繰り出し側テンションバー

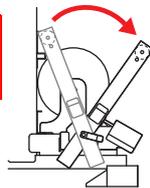


2) ロールメディアを取り付けます。

ロールメディア



3) テンションバーを元の位置へ戻します。



4 メディアを巻取側へ送り、巻取装置に空の紙管をセットする

- P.2-16「テンションバーを使用する」手順 10～15 までの操作をしてください。

5 メディアを紙管に固定し、布押さえをセットする

- P.2-16「テンションバーを使用する」手順 17～19 までの操作をしてください。

6 ◀ を押して、“ロール”を選択する

- メディア幅を検出します。
- マシン設定の「メディア検出」の設定が“MANUAL”になっている場合 (P.3-17)、メディア幅の検出は自動で行いません。(P.2-27)「メディア検出」を参照してメディア幅を入力してください。
- マシン設定の「メディア残量表示」の設定が“ON”の場合 (P.2-28)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面が表示されます。

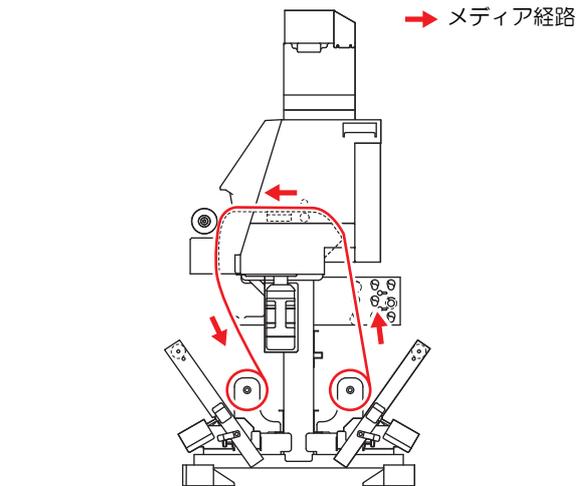
ロールメディア (転写紙) をセットする (Tx300P-1800 MkII のみ)

紙メディア(転写紙)の対応はTx300P-1800 MkIIのみです。ロールメディア (紙メディア) のセットではテンションバーを使用しません。メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。

重要!

- 繰出 / 巻取装置に付いているモーター直結ユニットを付属のトルクリミッターに交換してください。(P.2-9「モーター直結ユニット / トルクリミッターの交換」)
- テンションバーを使用しないで連続プリントする場合は、10m 程度に限ります。連続プリントをする長さが 10m を超える場合は、テンションバーを使用してメディアをセットしてください。

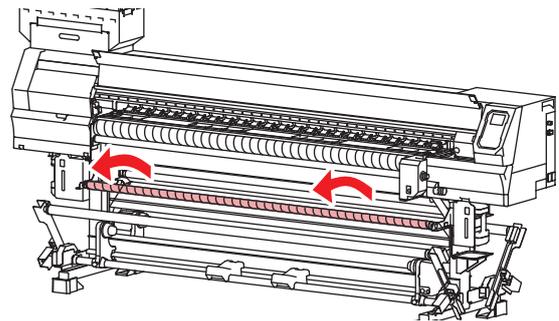
紙メディア (転写紙) をセットするときの経路は下図のようになります。メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。



- 引っ張りローラーが設置されている場合は、ローラーと本体の間にメディアを通してください。
- 折り返しバーはメディアと干渉しない穴にセットしてください。

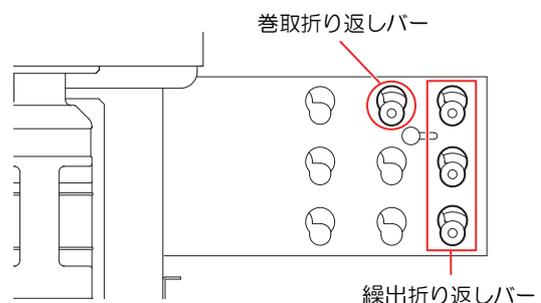
1 巻取折り返しバーを取り外す

- メディアとの干渉を避けるため、巻取折り返しバーを取り外します。



2 巻取折り返しバーを繰出折り返しバーのホルダーに取り付ける

- 取り外した巻取折り返しバーを背面の繰出折り返しバーのホルダーに取り付けます。
- 下図の位置に、巻取折り返しバーと繰出折り返しバーを取り付けてください。



3 フロントカバーを閉じ、クランプレバーが下がっていることを確認する

- “テンションバー使用選択”画面が表示されます。

4 メディアのセット方法に合わせて、テンションバーの使い方を選択する

- この場合は、“OFF” を選択します。
(DL= モーター直結ユニット、TL= トルクリミッター、
—= ユニット OFF)
- [▲][▼] を押して“OFF” を選択し、[ENTER] キーを押してください。

テンションバー使用選択

○ 繰出&巻取	TL/TL
○ 繰出のみ	TL
○ 巻取のみ	TL
◎ OFF	

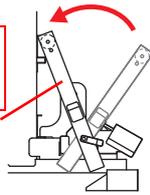
- 重要!** • あらかじめ、マシン設定の「繰出/巻取ユニットの設定」で“繰出テンションバー”と“巻取テンションバー”を両方とも“OFF”(P.3-15) にしておけば、“テンションバー使用選択”画面は表示されません。
(メディア選択画面が表示されます。)

5 繰出側のメディアをセットする

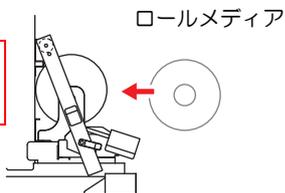
- P.2-16「テンションバーを使用する」手順 6～8 までの操作をしてください。
- 繰り出し側のテンションバーを動かす必要があります。

- 1) テンションバーを本体奥側にホールドします。

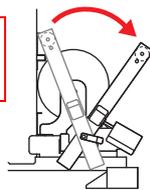
繰り出し側テンションバー



- 2) ロールメディアを取り付けます。

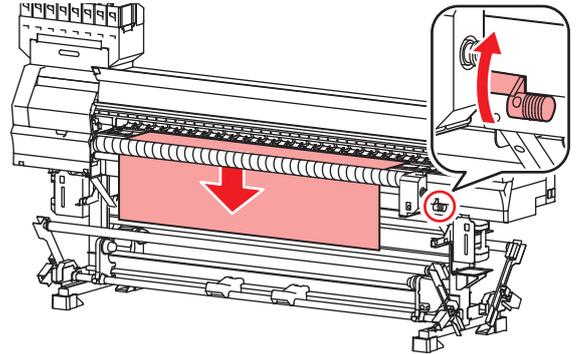


- 3) テンションバーを元の位置へ戻します。



6 ロールメディアを引き出す

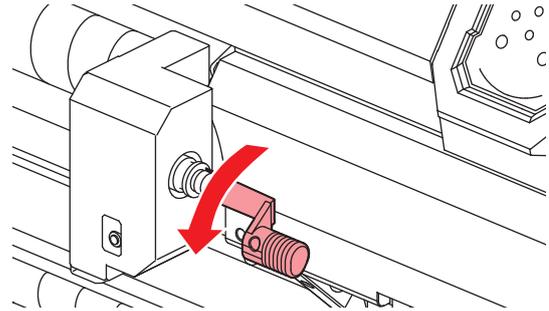
- (1) フロントカバーを開ける
- (2) 装置前面からクランプバーを上げる
- (3) ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックのかかる位置で止める



- 引っ張りローラーが設置されている場合は、ローラーと本体の間にメディアを通してください。
- ロールメディアを中央にセットした場合、ロックはかかりません。

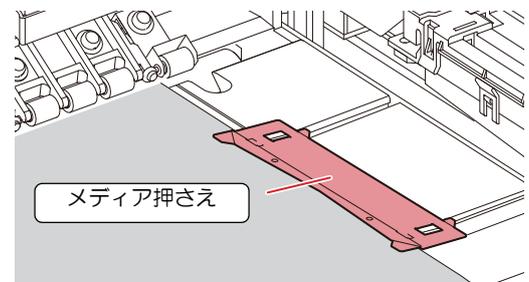
7 ロールメディアを均等にし、クランプバーを下げる

- メディアの敷き所を軽く引っ張り、ロールメディアの引き出し量がほぼ均等になっているのを確認してから、クランプバーを下げてください。



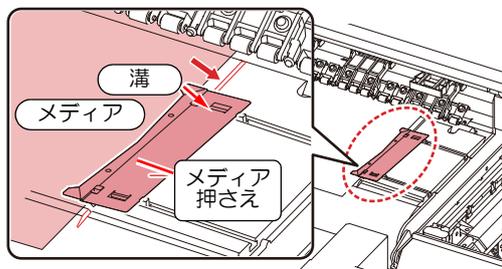
8 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。
この場合、マシン設定の「メディア検出の設定」の設定を“MANUAL”にして (P.3-17「メディア検出の設定」)、P.2-27「メディア検出」を参照してメディア幅を設定してください。





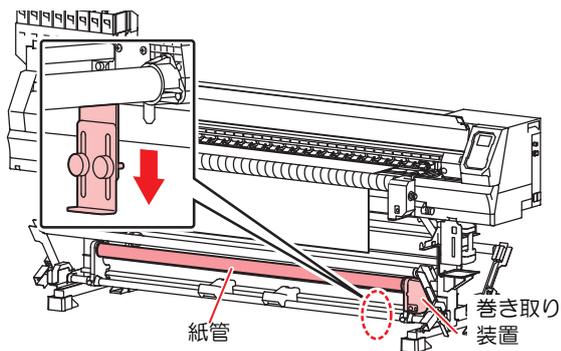
- メディアをセットするときは、プラテン上の溝にメディア右端を合わせるようにしてセットしてください。メディアを溝よりも右側にセットすると、メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因となります。
- 本機はメディアの左右にセットしたメディア押さえによって、メディアの幅を検出しています。メディア押さえは確実にセットしてください。
- メディアが規定位置より左右に寄っていると、メディア検出後、エラーメッセージ“メディアイチミギスギマス”を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。



9 フロントカバーを閉じる

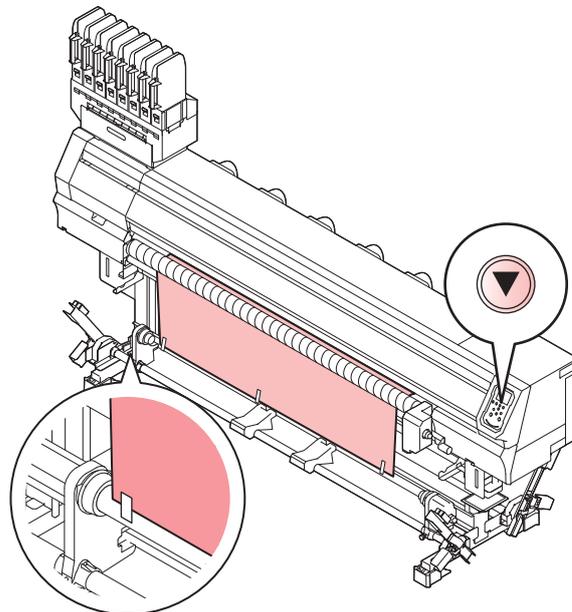
10 巻取装置に空の紙管をセットする

- 紙管セット後、巻き取り脚を接地させます。



11 巻取装置にメディアを固定する

- [▼] を押して、巻取装置の紙管に届くまでメディアをフィードする
- 粘着テープでメディアの中央を固定する
- 同様にしてメディアの左右を固定する
 - ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにタルミ、シワが無いことを確認し、テープを貼ってください。



12 ◀ を押して、“ロール”を選択する

- メディア幅を検出します。
- マシン設定の「メディア検出」の設定が“MANUAL”になっている場合 (P.3-17)、メディア幅の検出は自動で行いません。(P.2-27)「メディア検出」を参照してメディア幅を入力してください。
- マシン設定の「メディア残量表示」の設定が“ON”の場合 (P.2-28)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面が表示されます。

13 吸着ファンの出力設定をおこなう

- 紙メディアの時は必ず「強」に設定してください。設定の詳細は「セットアップ」→「吸着ファン」を参照してください。(P.3-8「吸着ファンの設定」)

設定 1	2/3
マージン/左	ホスト
マージン/右	ホスト
吸着ファン	強
フィード速度	ホスト
オートクリーニング	>
<<	>>

リーフメディア(布メディア)をセットする

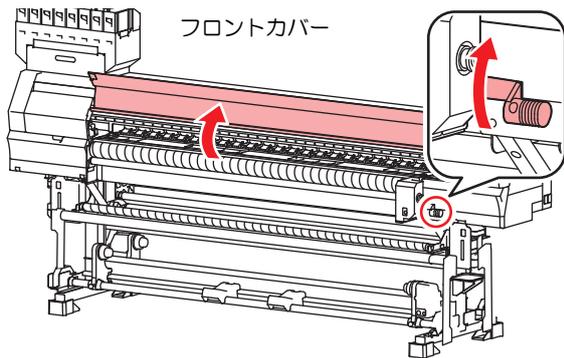
リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。



・布メディア、紙メディアではそれぞれ違うプラテンを使用します。対応したプラテンが取り付けられていることをご確認ください。(Tx300P-1800 MkII)

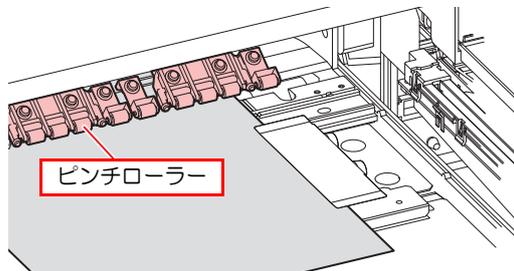
1 マシン設定の「繰出/巻取ユニットの設定」で繰出ユニットと巻取ユニットの設定を両方とも“OFF”にする (☞ P.3-15)

2 フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる



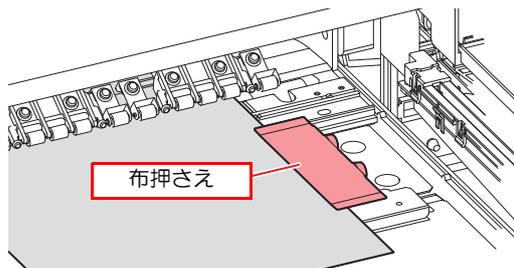
3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込み、クランプレバーを下げる

・メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。



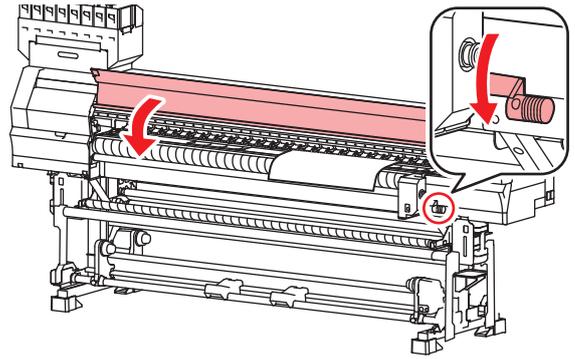
4 布押さえでメディアを軽くはさむ

・プラテン上にあるV字の溝よりも右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
・厚みのあるメディアを使用する場合は、布押さえをメディアから外してプリントしてください。この場合、マシン設定の「メディア検出の設定」の設定を“MANUAL”にし(☞ P.3-17)、☞ P.2-27「メディア検出」を参照してメディア幅を設定してください。



5 フロントカバーを閉じる

・メディアはまっすぐにセットしてください。



重要!

・リーフメディアは、腰のあるメディア以外は使用しないでください。

リーフメディア使用時は巻取装置が無効となるため、腰のないメディアをセットするとプリント面が平らにならず、メディア詰まりの原因となります。

・メディアは引っ張りローラーにかかるくらいまでの長さのものをセットしてください。これより短いと、引っ張りローラーと布引ローラーの間に巻き込まれ、メディア詰まりの原因となります。

6 を押して、“リーフ”を選択する

7 メディアの検出を始める

- (1) メディア幅を検出する
- (2) メディアがフィードし、メディア後端の検出をする
- (3) 検出が終わると、ローカルに戻る

リーフメディア (転写紙) をセットする (Tx300P-1800 MkII のみ)

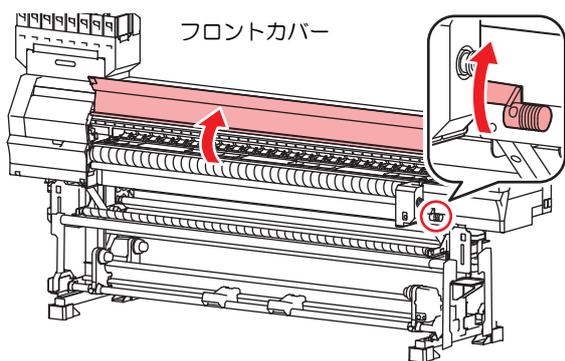
リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。



・布メディア、紙メディアではそれぞれ違うプラテンを使用します。対応したプラテンが取り付けられていることをご確認ください。(Tx300P-1800 MkII)

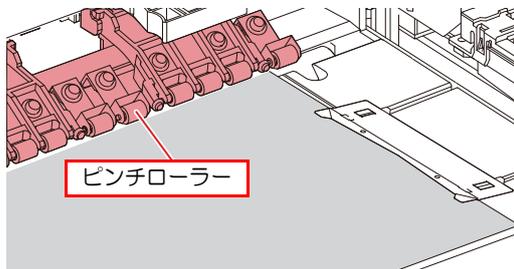
1 マシン設定の「繰出 / 巻取ユニットの設定」で繰出ユニットと巻取ユニットの設定を両方とも“OFF”にする (P.3-15)

2 フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる



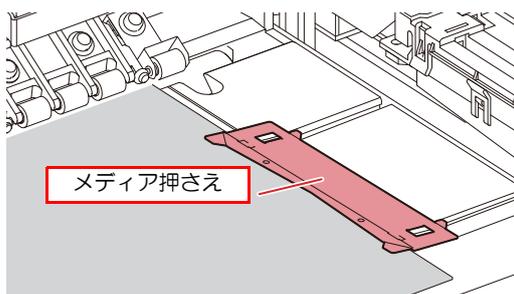
3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込み、クランプレバーを下げる

・メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。

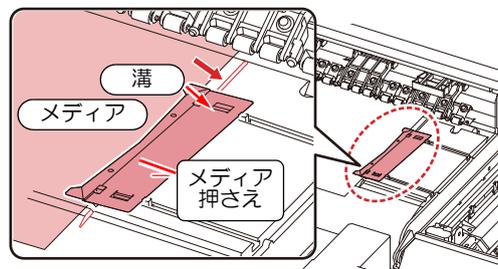


4 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

・プラテン上にあるV字の溝よりも右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
 ・厚みのあるメディアを使用する場合は、布押さえをメディアから外してプリントしてください。この場合、マシン設定の「メディア検出の設定」の設定を“MANUAL”にし (P.3-17)、P.2-27「メディア 検出」を参照してメディア幅を設定してください。

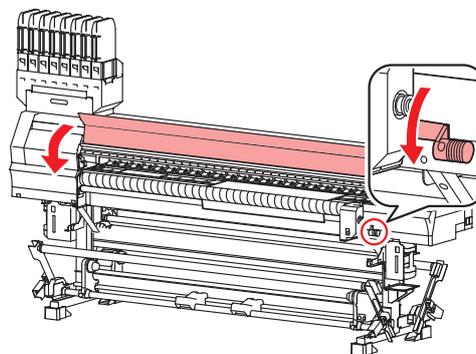


・メディアをセットするときは、プラテン上の溝にメディア右端を合わせるようにしてセットしてください。メディアを溝よりも右側にセットすると、メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因となります。
 ・本機はメディアの左右にセットしたメディア押さえによって、メディアの幅を検出しています。メディア押さえは確実にセットしてください。
 ・メディアが規定位置より左右に寄っていると、メディア検出後、エラーメッセージ“メディア イチミギスギマス”を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

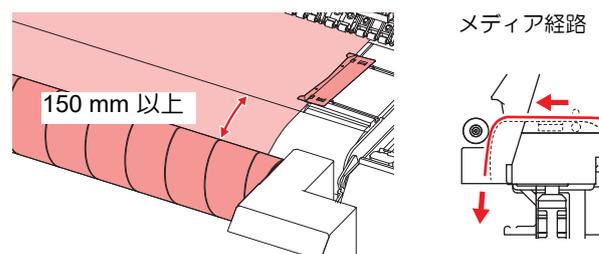


5 フロントカバーを閉じる

・メディアはまっすぐにセットしてください。



・メディアをセットするときは、プラテンから 150 mm 以上出して、引っ張りローラーと本体の間にメディアを通してください。メディアを適切な経路に通さないと、メディアが浮き上がりヘッドを破損する恐れがあります。



・リーフメディアは、腰のあるメディア以外は使用しないでください。リーフメディア使用時は巻取装置が無効となるため、腰のないメディアをセットするとプリント面が平らにならず、メディア詰まりの原因となります。

6 電源ボタンを押して、“リーフ”を選択する

7 メディアの検出を始める

- (1) メディア幅を検出する
- (2) メディアがフィードし、メディア後端の検出をする
- (3) 検出が終わると、ローカルに戻る

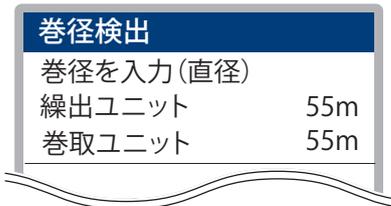
メディア情報の設定

マシン設定の「メディア検出」等の設定を“MANUAL”にしている場合 (P.3-17)、メディアのセット中に自動で検出はされません。画面が表示されましたらそれぞれ手動で入力をしてください。

巻径検出

巻径検出の設定を“MANUAL”にしている場合 (P.3-17)、次のようにして巻径を設定してください。

1 テンションバーにロールメディアをセットし、巻径入力画面を表示する



2 繰出ユニットの巻径を入力する

- (1) [▲][▼]を押して“繰出ユニット”を選択し、[ENTER]キーを押す。
- (2) [▲][▼]を押して繰出ユニットのメディア外径(直径)を入力し[ENTER]キーを押す。

3 巻取ユニットの巻径を入力する

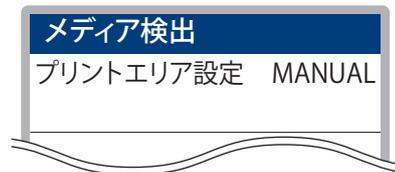
- (1) [▲][▼]を押して“巻取ユニット”を選択し、[ENTER]キーを押す。
- (2) [▲][▼]を押して巻取ユニットのメディア外径(直径)を入力し[ENTER]キーを押す。

4 [FUNC2] (OK) キーを押す

メディア検出

「メディア検出」の設定を“MANUAL”にしている場合 (P.3-17)、次のようにしてメディア幅を設定してください。

1 メディア検出画面を表示する



2 プリントエリアの設定方法を選択する

- プリントエリアの設定方法には、ジョグキーを使ってメディアの右端と左端を設定する“MANUAL”とメディア幅を入力したあと、メディアの右端位置を決定する“メディア幅入力モード”があります。
- “MANUAL”を選択した場合は、手順3へ進んでください。また、“メディア幅入力モード”を選んだ場合は、次のようにしてください。

- (1) [▲][▼]を押して、メディア幅を入力する
- (2) [ENTER]キーを押し、手順3からの操作をする

3 [◀][▶]を押して、LEDポインタの光点をメディアの右端位置に合わせる

- [◀][▶]を押してキャリッジを移動させ、内蔵されているLEDポインタの光をメディアの右端に合わせます。



4 [ENTER] キーを押す

- 次に、左端メディア位置入力画面が表示されます。手順2で“メディア幅入力モード”を選択した場合は、この画面は表示しないで設定終了します。



5 [◀][▶]を押して、LEDポインタの光点をメディアの左端位置に合わせる

- 手順3と同様にして、LEDポインタの光をメディアの左端に合わせます。

6 [ENTER] キーを押す

- 重要!** • オーバープリントをしない場合、メディア外へのプリントを行ってしまう場合があるので、メディアの範囲を超えて設定しないよう注意してください。

メディア残量表示

「メディア残量表示」の設定を“ON”にしている場合 (P.3-16)、メディア幅の検出が終了すると、メディア残量の入力画面が表示されます。

1 メディア残量入力画面を表示する



2 ▲▼ を押して、メディア残量を入力する

3 ENTER キーを押す

メディア残量プリント

「メディア残量表示」の設定を“ON”にしている場合 (P.3-16)、現在の日付とメディア残量のリストをプリントすることができます。

1 ローカルで、▲▼◀▶ を押す

- 原点設定モードになります。

2 FUNC3 キーを押す

- メディア残量プリントの確認画面が表示されます。

3 ENTER キーを押す

- メディア残量プリントを開始します。

メディア厚さ入力

「厚さ入力」設定を“ON”にしている場合 (P.3-17)、次のようにしてメディアの厚さを設定してください。

1 メディア厚さ入力画面を表示する



2 ▲▼ を押して、メディア厚さを入力する

3 ENTER キーを押す

メディアリセット

クランプレバーを上げずにプリントエリアの設定を変更したい場合やメディア検出を再度行いたい場合は、次の操作を行ってください。

1 ローカルで、SEL キーを押し、FUNC2 (MEDIA) を押す

2 ▲▼ キーを押し、メディアリセットの方法を選び、ENTER キーを押す

- メディアリセットの方法は、次の2種類から選択できます。

- 幅のみ
プリントエリア設定のみリセットする。
- 全て
メディア検出のすべての情報をリセットする。(クランプレバーを上げた場合と同じ情報をリセットする。)



- テンションバーを使用してメディア検出を行っている場合は、[幅のみ]を選択してリセットを行ってもリーフメディアの検出は行えません。リーフメディアを検出したい場合は、クランプレバーを上げてメディアをセットしてください。

3 ENTER キーを押す

プリントの調整

メディアをセット後、実際のプリント前にテストプリントを行ってプリンターの調整をします。



- 実際のプリントを行う前に必ず調整をしてください。

重要!

- 本機ではメディアを右寄せまたは中央にセットできます。メディアをセットする際は、本体背面に2カ所あるメディアセンサーのどちらか一方を必ず覆うようにセットしてください。

原点の変更

プリント原点の位置を変更することができます。変更したい位置へLEDポインタを移動させて決定します。

1

ローカルで、を押す

- 原点設定モードになります。



2

を押して、LEDポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

- でキャリッジとメディアを移動させて選びます。

3

プリント原点を決定したら、**ENTER** キーを押す

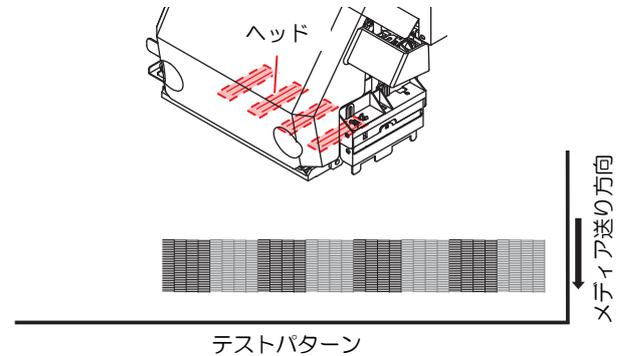
- 原点が変更されます。

テストプリント

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良(カスレや抜け)がないか確認します。

ヘッドの配列とテストパターンの関係

ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。



テストプリントに関する注意事項

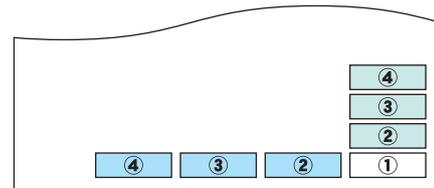
重要!

- リーフメディアを使用する場合、A3サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中で止ましかプリントされません。
- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

テストプリント

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良(カスレや抜け)がないか確認します。

また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の2種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。



↓ メディアフィード方向

-  : 配置方向が“フィード方向”のとき
-  : 配置方向が“スキャン方向”のとき

テストプリントの前に確認してください

- メディアをセットしているか  P.2-29
- 原点位置をセットしているか
- ヘッド高さを調整しているか  P.2-8
- ノズルリカバリ機能を使う場合、必要な設定をしているか  P.4-19

1 ローカルで、**FUNC2** (TEST PRINT/CLEANING) を押し、**ENTER** キーを押す

- テストプリントの配置方向選択画面が表示されます。

2 **▲▼** を押して、テストパターン (スキャン方向/フィード方向) の配置方向を選択する

- ここで変更した配置方向は、次回プリント時にも反映されます。
- 配置方向を“スキャン方向”から“フィード方向”に変更してテストプリントを実行すると、1 つめのテストプリントの位置に改行されます。

3 **ENTER** キーを押す

- ノズルリカバリの設定選択画面が表示されます。

重要!

- メンテナンスメニューの「ノズルリカバリ」でリカバリノズルを登録 (☞ P.4-19) していない、またはテストプリントの設定 (☞ P.4-21) を“ON”にしていない場合は、そのままテストプリントを開始します。手順 6 へ進んでください。

4 **▲▼** を押して、ノズルリカバリの ON/OFF を選択する

- ここで変更した配置方向は、次回プリント時にも反映されます。
- ON** : メンテナンスメニューのノズルリカバリで登録したノズルを他のノズルでリカバリしたパターンをプリント
- OFF** : リカバリしないでパターンをプリント

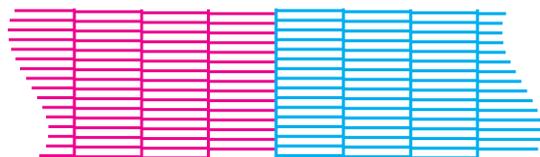
5 **ENTER** キーを押す

- テストプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

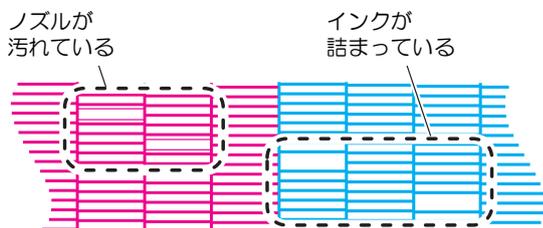
6 プリント結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。 (☞ P.2-30)

正常なパターン



異常なパターン



ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。次の3種類から選んでください。

- ノーマル** : 線の抜けがある時
- ソフト** : ヘッドワイブのみ実行したい時 (線の曲がりがある場合)
- ハード** : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

1 ローカルで、**FUNC2** (TEST PRINT/CLEANING) を押し、**ENTER** キーを押す

- クリーニングメニューが表示されます。

2 **▲▼** を押して、クリーニングタイプを選択する

- **ノーマル** : 線の抜けがある時
- **ソフト** : ヘッドワイブのみ実行したい時 (線の曲がりがある場合)
- **ハード** : ノーマル、ソフトでクリーニングを実行してもプリント不良が改善しない時

3 **ENTER** キーを押す

4 再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する

- プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。
- ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合
- ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (☞ P.4-10)
- ヘッドノズルの洗浄をする (☞ P.4-12)



フィード補正の設定

お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

- 重要!**
- ロールメディアをご使用の場合、フィード補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻り、本機背面のロールメディアにたるみが生じます。プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
 - 巻取装置を使用しているプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でフィード補正を行ってください。

確認方法

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。



- 補正パターンでは2本の帯をプリントします。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1 メディアをセットする (P.2-29)

2 ローカルで **SEL** キーを押し、**FUNC2** (ADJUST) を押す

- 調整メニューが表示されます。

3 **ENTER** キーを2回押して、補正パターンをプリントする

4 補正パターンを確認し、補正値を入力する

- 補正値の入力画面が表示されます。
- "+" に入力すると:
2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- "-" に入力すると:
2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
- 補正値を "30" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

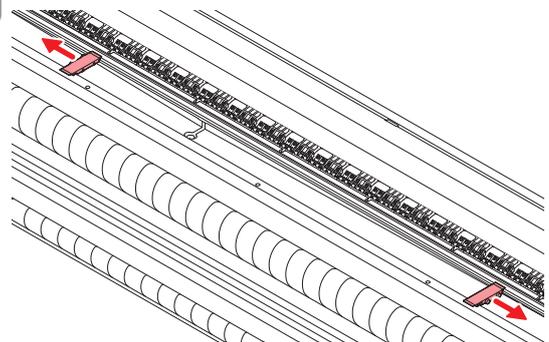
ドットの位置ずれ補正

プリント時の条件 (メディアの厚み/インクの種類など) が変わったときは、次の操作をして双方向 (Bi) プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

- 重要!**
- ドット位置補正はノズルの細かい調整を行います。確認用のパターンプリントは布メディアでは細かい情報をプリントできないので必ず紙メディアでパターンプリントを行ってください。
 - Tx300P-1800 では調整スペーサを使用します。
 - Tx300P-1800 MKII では紙プラテンを使用します。布メディアをご使用だった場合は、プラテンの切り替えが必要となります。(P.2-5)

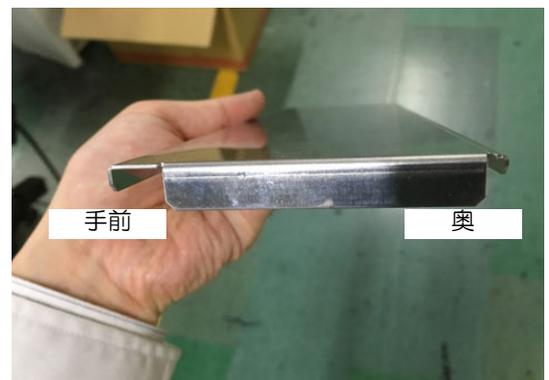
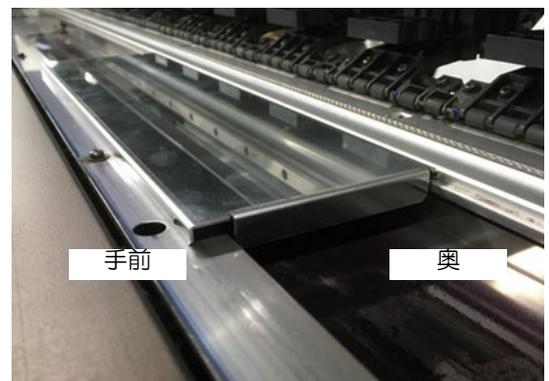
調整スペーサの取り付け (Tx300P-1800 のみ)

1 布押さえを左右に寄せる



2 調整スペーサを取り付ける

- 調整スペーサは溝が大きい方を手前にしてセットしてください。

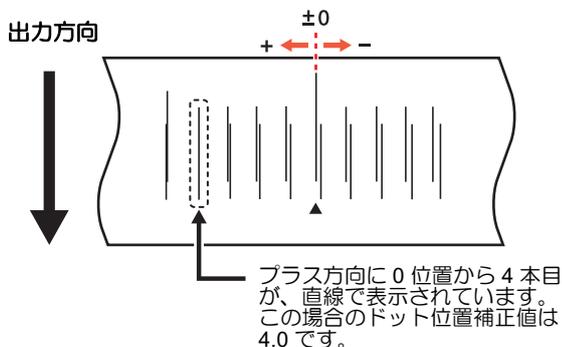


パターン確認用メディアのセット

紙のリーフメディアをご使用ください。(P.2-25「リーフメディア(布メディア)をセットする」,P.2-26「リーフメディア(転写紙)をセットする(Tx300P-1800 MkIIのみ)」)

- 重要!**
- リーフメディアは、A3サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中までしかプリントされません。

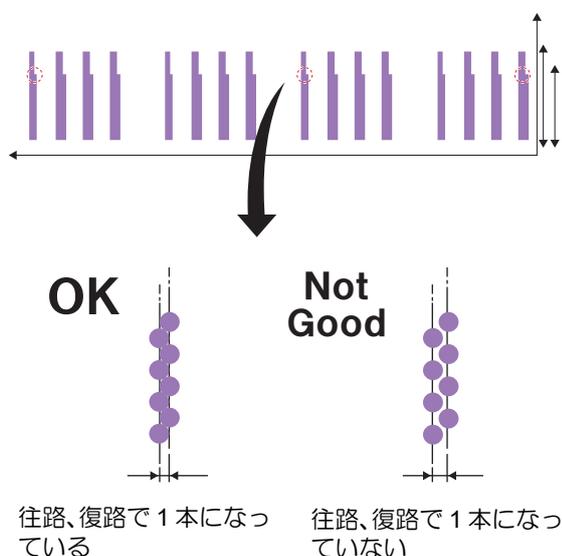
パターンプリント例



- 1** ローカルで **SEL** キーを押し、**FUNC1 (ADJUST)** を押す
 - 調整メニューが表示されます。
- 2** **▼** を押し、**ENTER** キーを押す
 - “ドット位置補正”が選択されます。
- 3** **ENTER** キーを押す
 - ドット位置補正のパターンプリントを開始します。
 - 複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン1,2,3...と呼ぶ)

パターンプリント結果の確認

パターンプリント結果を確認し、必要があれば調整をします。



- 1** **▲▼** を押し、パターン1の補正値を入力し、**ENTER** キーを押す

- 補正値：-40 ~ 40
- テストパターンを確認し、往路と復路が1本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が-40 ~ 40の間でない場合は、ヘッドの高さを調整後、「パターンプリント例」手順2から操作をし直してください。

- 2** 手順1と同様にして、パターン2~の補正値を入力し、**ENTER** キーを押す

- 3** 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

仕上がりをよくするための調整

プリントした結果に線が入る場合、下記の手順を参考に繰出 / 巻取装置の調整やメディアの送り量を再度調整してください。

重要!

- メディアの種類を変更した場合、パターンを確認し状況に応じて調整を行う必要があります。
- 巻取装置を使用しているプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態で調整を行ってください。

調整の流れ

1 フィード補正の設定値が“0”になっていることを確認する

「フィード補正の設定」(☞ P.2-31) を参照してください。

2 引っ張りローラーのトルクを最大にする

「引っ張りローラーの準備 (布メディアプリント)」(☞ P.2-14) を参照してください。

3 補正パターンをプリントする

☞ P.2-31 「フィード補正の設定」を参照してください。

4 パターンを確認して、繰出 / 巻取テンションバーのカウンターウェイトの調節をする

「繰出 / 巻取テンションバーの準備 (布メディアプリント)」(☞ P.2-11) を参照してください。

5 カウンターウェイトの調整で補正しきれない場合、トルクの調節をする

「繰出 / 巻取装置の準備」(☞ P.2-9) を参照してください。

6 カウンターウェイトとトルクの調整で補正しきれない場合、フィード補正の設定で補正值を入力する

「フィード補正の設定」(☞ P.2-31) を参照してください。

2

データのプリント

プリントを開始する



- 必ずメディアをセットしてからプリントを開始してください。
- プリントする前にコンピューターとプリンターが正しく接続されていることをご確認ください。
- プリンタードライバ、出カソフトはあらかじめご準備ください。

重要!

- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

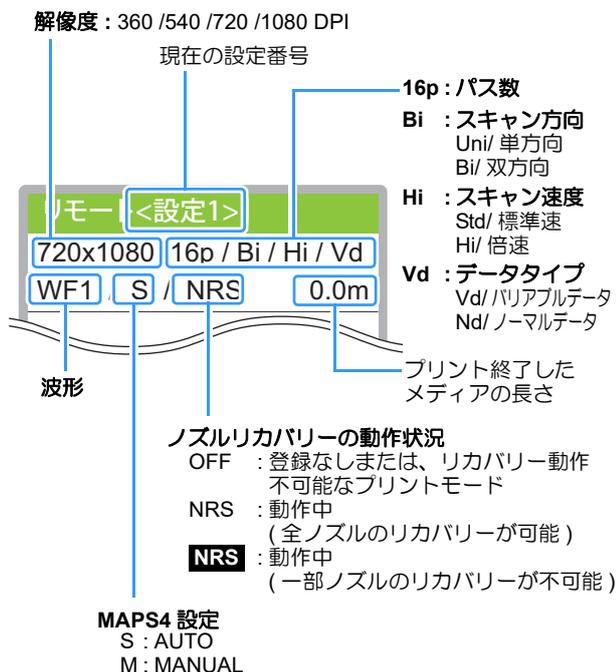
1 メディアをセットする (参照 P.2-16)

2 ローカルで、**(FUNC3)** (REMOTE) キーを押す

- リモートモードになり、コンピューターからのデータを受信できるようになります。

3 コンピューターからプリントするデータを送信する

- 状態表示ランプが点滅し、プリント条件が表示されます。
- データの送信方法については、出カソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



4 プリント開始

- 解像度によっては同じデータをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置によってプリント速度が変化する場合があります。

プリントを中止する

プリントを途中で中止する場合、次の操作をしてください。

1 プリント中に、**(FUNC3)** (LOCAL) を押す

- プリント動作を中止します。
- コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を止めます。
- 再度 **[REMOTE]** キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1 ローカルで **(SEL)** キーを押し、**(FUNC3)** (DATA CLEAR) を押す

2 **(ENTER)** キーを押す

- 受信データを消去し、ローカルに戻ります。

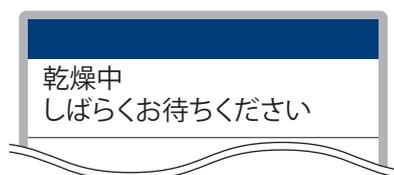
プリント完了後の動作

乾燥フィード

マシン設定の「乾燥フィード」の設定を“OFF”以外に設定している場合、プリントが完了するとプリント面を外部ヒーターによって乾燥させるため、フィード動作を行います。

- プリントの後端がヒーターを通過するまでフィード動作を行います。
- [END]** キーを押すと動作を中止します。
- 連続して次のデータを受信している場合、最後のデータ完了後のみ動作します。

乾燥フィード中の画面表示



メディアの交換

プリント終了後、メディアを取り換える場合は一度メディアを取り外してから、新しいメディアをセットしてください。

取り外し方法 (参照 P.2-35)

メディアのセット方法 (参照 P.2-16)

重要!

- 布メディアと転写紙の切り替えについてはプラテンの切り替えが必要となります。本書本体の準備を参考にしてください。(Tx300P-1800 MkII のみ)

メディアの取り外し

プリントが終わったメディアや途中でメディアを交換する場合、下記の手順にしたがってメディアを取り外してください。



- ロールメディアを取り外すときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- ロールメディアを取り外すときは、2人以上でおこなってください。ロールメディアの重みで腰を痛める可能性があります。



- 新しいメディアをセットする場合は (P.2-16) 「メディアをセットする」参照してください。

ロールメディアを取り外す

プリントが終わったメディアを取り外すには以下の手順で行います。

プリントされたメディアの取り外し

1 メディアを切り取る

- ハサミ等でプリントが終わった部分までを切り離します。



- 紙メディアの場合、切り取った断面で手などを切らないよう注意してください。

2 巻取装置のスイッチを使ってプリント物を巻き取る

- 巻取装置の使用法については、(P.2-9) 「線出 / 巻取装置の準備」を参考にしてください。



- メディアを引き続き使用される場合は以下を参照にしてセットしなおしてください。(P.2-16)
- 布メディアの場合、残ったメディアを再度使用するときは、断面の糸くずをきれいに切り取ってください。糸くずがローラに引っかかり、正しくメディアを送ることができないことがあります。

ロールメディアの取り外し

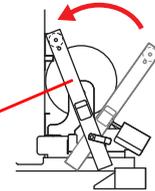
1 クランプを上げ、繰り出し側のロールメディアも巻き取る

2 繰出側のロールホルダを外す

- 紙メディアの場合、テンションバーを動かす必要があります。

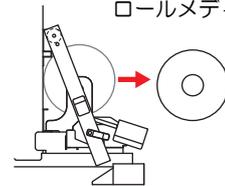
1) テンションバーを本体奥側にホールドします。

繰り出し側テンションバー

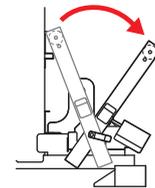


2) ロールメディアを取り外します。

ロールメディア



3) テンションバーを元の位置へ戻します。



第3章 セットアップ



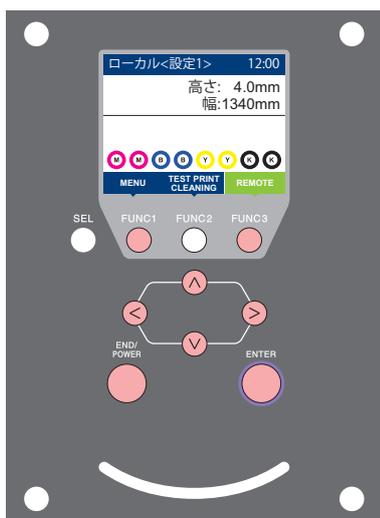
この章では ...

本機の各種設定方法について説明しています。

設定メニューについて	3-2	単位 (温度 / 長さ) の設定	3-18
設定メニュー一覧表	3-3	キープザーの設定	3-18
使い方に合わせた最適なプリント条件を 登録する	3-4	確認フィードの設定	3-19
フィード補正の設定	3-5	プリント間の余白の設定	3-19
ドットの位置がずれたら	3-6	余白フィード方式の設定	3-19
ロジカルシークの設定	3-7	ネットワークの設定	3-19
重ね塗りの設定	3-7	イベントメール機能の設定	3-20
乾燥時間の設定	3-8	設定した内容を初期状態に戻す	3-24
マージン (左 / 右) の設定	3-8	ノズルチェックメニューについて	3-25
吸着ファンの設定	3-8	ノズルチェックメニュー一覧表	3-25
フィード速度の設定	3-9	印刷中ノズルチェックの流れ	3-26
MAPS4 の設定	3-9	「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の 印刷動作	3-26
オートクリーニングの設定	3-10	印刷中ノズルチェックの設定	3-27
定期ワイピングの設定	3-11	自動ノズルリカバリの設定	3-27
外部ヒーターの設定	3-12	判定条件の設定	3-27
マシン設定メニューについて	3-13	情報メニューについて	3-28
マシン設定メニュー一覧表	3-14	情報メニュー一覧表	3-28
オートパワーオフの設定	3-15	情報を表示させる	3-29
繰出 / 巻取ユニットの設定	3-15		
トップブロワの設定	3-16		
メディア残量表示の設定	3-16		
PG 着弾調整の設定	3-17		
メディア検出の設定	3-17		
乾燥フィードの設定	3-18		
言語の設定	3-18		
時刻の設定	3-18		

設定メニューについて

設定メニューでは、普段使用するメディアに合わせてプリント条件を設定することができます。



- FUNC1** : 設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- FUNC3** : 次の画面に切り替えるときに押す
- ▲ ▼** : 設定項目を選択するときに押す
- ENTER** : 設定を確定するときなどに押す

◆ 設定メニュー一覧

設定1～4またはTemporaryを選び、**ENTER**キーを押す

FUNC1

FUNC3

FUNC1

FUNC3

FUNC1

FUNC3

FUNC1

FUNC3

設定メニュー一覧表

- 重要!**
- 次の各設定項目については、接続しているホスト PC でお使いの RIP ソフトウェアからプリント時に指定した設定値に従って動作するように設定できます。
 - 設定項目:** ロジカルシーク / 重ね塗り / 乾燥時間 / マージン (左右) / フィード速度
 - 各項目を“ホスト”に設定すれば、RIP の設定内容に従って動作します。本機での設定を優先させたいときは、“ホスト”以外に設定してください。
 - RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称		設定値	RIP から指示がない場合 ^{*1}	概要	
フィード補正 (P.3-5)		-9999 ~ 0 ~ 9999	_____	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。	
ドット位置補正 (P.3-6)		-40.0 ~ 0 ~ 40.0	_____	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。	
ロジカルシーク (P.3-7)		ホスト / ON / OFF	OFF	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。	
重ね塗り (P.3-7)		ホスト / 1 ~ 9 回	1 回	インク重ね塗りの回数を設定します。	
乾燥時間 (P.3-8)	スキャン	ホスト / 0.0 ~ 9.9 sec	0 sec	インクの乾燥時間を設定します。	
	プリントエンド	ホスト / 0 ~ 120 min	0 min		
マージン / 左 (P.3-8)		ホスト / -10 ~ 85mm	0 mm	左右のプリント余白を設定します。	
マージン / 右 (P.3-8)			0 mm		
吸着ファン (P.3-8) (Tx300P-1800 MkII のみ)		ホスト / 弱 / 標準 / 強	強	メディアの吸着する力を設定します。	
フィード速度 ^{*2} (P.3-9)		ホスト / 10 ~ 200%	100 %	プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。	
オート クリーニング (P.3-10)	デフォルト、ファイル、 距離、時間		_____	プリント前またはプリント中に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。	
	デフォルト		使用インク種 / 環境による		_____
	ファイル	間隔	1 ~ 1000		_____
		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード		_____
	距離	間隔	0.1 ~ 100.0m		_____
		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード		_____
	時間	間隔	10 ~ 480min	_____	
タイプ		ノーマル / ソフト / ハード	_____		
クリーニング後 チェック		ON / OFF	_____	オートクリーニング後にノズルチェックを実行する / しないを設定します。	
実行タイミング		ファイル間 / プリント中	_____	「距離」または「時間」を選択した場合の、クリーニング実行タイミングを設定します。	
定期ワイピング (P.3-11)		3 ~ 255 分, OFF	_____	プリント中に行う、ワイピング動作を設定します。	
外部ヒーター (P.3-12)		ON / OFF	_____	外部ヒーターのオン / オフを設定します。	
MAPS4 (P.3-9)	AUTO			バス間の縞を軽減します。	
	MANUAL	速度	50 ~ 100%		
		スムージング レベル	0 ~ 25 ~ 100%		
設定リセット (P.3-5)		設定 1 ~ 4 で設定した内容を、個別にリセットできます。			

*1. 本機で“ホスト”を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト) 側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プリント時に使用される設定値です。

*2. 100% 以上に設定した場合、プリント完了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られずに画質に影響する場合があります。

使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する

本機では、あらかじめ、お使いになるメディアに合わせて個別にプリント条件 (設定 1 ~ 4) を登録しておくことができます。

例えば、違う種類のメディアにプリントをした後に、いつも使っているメディアに戻した場合など、登録済みの設定 (1 ~ 4) を選ぶだけで最適な作図条件を設定できます。



- 本機であらかじめ登録できるプリント条件は、“設定 1” ~ “設定 4” の 4 種類です。
- 頻繁に使うことのないプリント条件でプリントする場合、“Temporary” を選んでプリント条件を設定することができます。
Temporary で設定した内容は電源を再投入すると、初期値 (お買い上げ時の状態) に戻ります。また、“Temporary” が選ばれた状態で電源を再投入すると、“設定 1” が選ばれた状態になります。

設定 (1 ~ 4) にプリント条件を登録する

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す

2 **▲▼** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**ENTER** キーを押す

- 選択している項目には●、それ以外には○が表示されます。
- 設定メニューが表示されます。

3 **▲▼** を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

Temporary の使い方

Temporary は 1 度だけ使うプリント条件を設定するだけでなく、登録済みの設定「1 ~ 4」を一部だけ変えて使いたい場合や、Temporary で設定したプリント条件を、設定 1 ~ 4 に反映させることもできます。

● Temporary にプリント条件を登録する

Temporary へのプリント条件の登録は、設定 1 ~ 4 への登録と同様の方法で登録できます。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す

2 **▲▼** を押して“Temporary”を選び、**ENTER** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 **▲▼** を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

- 設定 1 ~ 4 の内容を Temporary にコピーする
設定 1 ~ 4 の登録内容の一部を変更してお使いになることができます。
Temporary の登録画面から、“コピー”を選び、コピー元 (設定 1 ~ 4) を指定します。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す

2 **▲▼** を押して“Temporary”を選び、**ENTER** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 **FUNC1 (<<)** を押す

4 **▲▼** を押して“コピー”を選び、**ENTER** キーを押す

- コピー元選択画面が表示されます。

5 **▲▼** を押してコピー元 (設定 1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す

- ディスプレイにコピーの確認画面が表示されます。

6 **ENTER** キーを押す

- 手順 5 で選んだ設定内容が、Temporary にコピーされます。

7 **▲▼** を押して変更する設定項目を選び、**ENTER** キーを押す

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

● Temporary で設定した内容を設定 1 ~ 4 へ反映させる

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す

2 **▲▼** を押して“Temporary”を選び、**ENTER** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 **▲▼** を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

4 Temporary の最終ページを表示させて“設定保存”を選び、**ENTER** キーを押す

- 保存先選択画面が表示されます。

5 **▲▼** を押して保存先 (設定 1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す

- ディスプレイに保存確認画面が表示されます。

6 **ENTER** キーを押す

- 手順 5 で選んだ保存先に、Temporary の設定内容が保存されます。

7 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

登録した内容をリセットする

設定 1～4 に登録した内容をリセットします。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(ENTER)** キーを押す
- 2 **(▲) (▼)** を押してリセットする設定 (1～4) を選び、**(ENTER)** キーを押す
 - 設定メニューが表示されます。
- 3 **(FUNC1) (<<)** を押す
- 4 **(▲) (▼)** を押して“設定リセット”を選び、**(ENTER)** キーを押す
 - 設定リセットの確認画面が表示されます。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

フィード補正の設定

お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

- 重要!**
- ロールメディアをご使用の場合、フィード補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻り、本機背面のロールメディアにたるみが生じます。プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
 - 巻取装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でフィード補正を行ってください。

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。



- 補正パターンでは 2 本の帯をプリントします。
- 2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



- 1 メディアをセットする (☞ P.2-16)
- 2 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(ENTER)** キーを押す
- 3 **(▲) (▼)** を押して設定 1～4 を選び、**(ENTER)** キーを押す
 - 設定メニューが表示されます。
- 4 **(▲) (▼)** を押して“フィード補正”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 5 **(ENTER)** キーを 2 回押して、補正パターンをプリントする
- 6 補正パターンを確認し、補正値を入力する
 - 補正値の入力画面が表示されます。
 - “+”に入力すると：
 - 2 本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
 - “-”に入力すると：
 - 2 本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
 - 補正値を “30” 変更することにより、約 0.1mm 帯が移動します。

7

ENTER キーを押す

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順7の操作をして補正してください。

8

終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

プリント中にメディア送りを補正したいとき

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア送り量の補正ができます。

1

リモートで、**FUNC1** (ADJUST) → **ENTER** キーを押す

2

▲ **▼** を押して、補正量を入力する

- 補正值：-9999 ~ 9999
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されません。

3

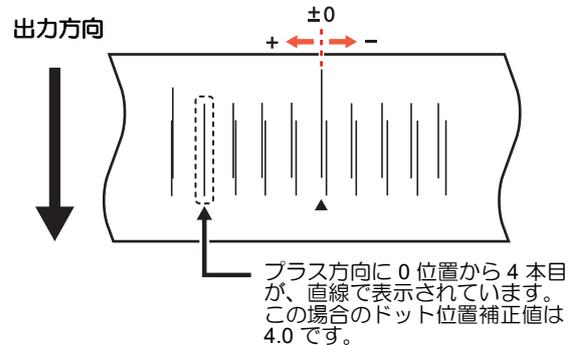
ENTER キーを2回押す

- 変更した値が登録されます。
- [ENTER] キーの代わりに [END] キーを押すと、ここで補正した内容は一時、有効となります。(再度メディア検出を行うか電源をOFFすると、補正值はクリアされます)

ドットの位置がずれたら

プリント時の条件 (メディアの厚み/インクの種類など) が変わったときは、次の操作をして双方向 (Bi) プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

パターンプリント例



1

メディアをセットする (参照P.2-16)

- パターンプリントをするには、幅 500mm 以上の大きさのメディアが必要です。

2

ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す

3

▲ **▼** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**ENTER** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

4

▲ **▼** を押して“ドット位置補正”を選び、**ENTER** キーを押す

5

ENTER キーを押す

- ドット位置補正のパターンプリントを開始します。
- 複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)

6

▲ **▼** を押してパターン1の補正值を入力し、**ENTER** キーを押す

- 補正值：-40 ~ 40
- テストパターンを確認し、往路と復路が1本の直線になっている位置が補正值となります。
- 補正值が -40 ~ 40 の間にない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順2から操作をし直してください。

7

手順4と同様にして、パターン2~のドット位置を補正し、**ENTER** キーを押す

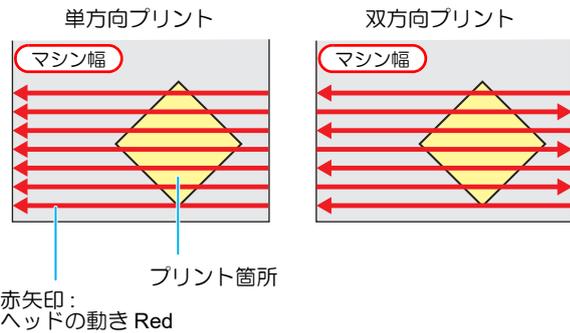
8

終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

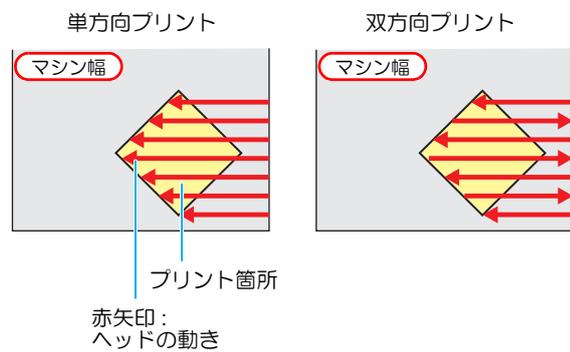
ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、下図のようにヘッドの動作が変わります。

ロジカルシーク OFF 時のヘッドの動き



ロジカルシーク ON 時のヘッドの動き



1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (ENTER)** キーを押す

2 **(▲) (▼)** を押して設定 1～4 を選び、**(ENTER)** キーを押す
・設定メニューが表示されます。

3 **(▲) (▼)** を押して“ロジカルシーク”を選び、**(ENTER)** キーを押す

4 **(▲) (▼)** を押して設定値を選び、**(ENTER)** キーを押す
・設定値：ホスト /ON/OFF

5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

重ね塗りの設定

重ね塗りをするときの、回数を設定します。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (ENTER)** キーを押す

2 **(▲) (▼)** を押して設定 1～4 を選び、**(ENTER)** キーを押す
・設定メニューが表示されます。

3 **(▲) (▼)** を押して“重ね塗り”を選び、**(ENTER)** キーを押す

4 **(▲) (▼)** を押して重ね塗り回数を設定し、**(ENTER)** キーを押す
・設定値：ホスト /1～9回

5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

乾燥時間の設定

乾燥時間の設定では、インクの乾燥時間に関する次の各項目の設定をします。

- スキャン : スキャン毎のインク乾燥時間を設定 (双方向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する)
- プリントエンド : プリント終了後のインク乾燥時間を設定

- 重要!**
- RasterLink 側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
 - RasterLink では、本機で設定する“スキャン”は“スキャン毎の乾燥時間”と表示しています。
 - プリントエンドの設定については、RasterLink 側での指定ができません。本機の設定で“ホスト”に設定した場合は、プリント時“プリントエンド = 0 分”の状態ですべてプリントされます。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(ENTER)** キーを押す

2 **(▲▼)** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**(ENTER)** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 **(▲▼)** を押して“乾燥時間”を選び、**(ENTER)** キーを押す

4 **(ENTER)** キーを押す

5 **(▲▼◀▶)** を押して乾燥時間を設定し、**(ENTER)** キーを押す

- スキャン時とプリント終了後の乾燥時間を設定します。お使いの RIP で指定している乾燥時間を有効にする場合は“ホスト”を選択してください。
- スキャンの設定値 : ホストまたは 0.0 ~ 9.9 秒
- プリントエンドの設定値 : ホストまたは 0 ~ 120 分
- 項目の選択 : **[▲][▼]** で選ぶ
- 時間の設定 : **[◀][▶]** で設定

6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

マージン (左 / 右) の設定

メディアの左右のマージン (余白) を設定します。ここでは、標準マージン 20mm に対するオフセット値を設定します。

- 重要!**
- RIP ソフトウェア側の設定を優先させたいときは、設定値を“ホスト”にしてください。
 - 付属の RIP ソフトウェア (RasterLink) では、マージンの指定ができません。RasterLink をお使いの場合に本機の設定で“ホスト”にすると、プリント時には左右のマージンのオフセット値 = “0mm”の状態ですべてプリントされます。
 - マージンの設定は、メディア幅の検出時に反映されます。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(ENTER)** キーを押す

2 **(▲▼)** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**(ENTER)** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 **(FUNC3) (>>)** を押す

4 **(▲▼)** を押して“マージン / 左”または“マージン / 右”を選び、**(ENTER)** キーを押す

5 **(▲▼)** を押して設定値を選び、**(ENTER)** キーを押す

- 設定値 : ホスト / -10 ~ 85mm

6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す



- メディア押さえを使ってプリントする場合、左右のマージンを -5mm 以下に設定すると、メディア押さえの上からプリントを開始することがあるのでお気をつけください。

吸着ファンの設定

メディアを吸着する強さを設定します。メディアに合わせた吸着力を設定することにより、メディアの浮きによるプリントミスを防止できます。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(ENTER)** キーを押す

2 **(▲▼)** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**(ENTER)** キーを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 **(FUNC3) (>>)** を押す

4 **(▲▼)** を押して“吸着ファン”を選び、**(ENTER)** キーを押す

5 **(▲▼)** を押して設定値を選び、**(ENTER)** キーを押す

- 設定値 : ホスト / 弱 / 標準 / 強

6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

フィード速度の設定

プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。

1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す

2 **▲** **▼** を押して設定 1～4 を選び、**ENTER** キーを押す

・設定メニューが表示されます。

3 **FUNC3** (>>) を押す

4 **▲** **▼** を押して“フィード速度”を選び、**ENTER** キーを押す

5 **ENTER** キーを押す

6 **▲** **▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す

・設定値：ホスト / 10～200%

7 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

重要! ・プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。

MAPS4 の設定

MAPS(Mimaki Advanced PassSystem) 機能とは、パスの境界を分散させることにより、パス間の送り縞が目立ちにくくさせる機能です。

重要! ・MAPS4 の設定には“AUTO”と“MANUAL”があります。使い方に合わせて“AUTO”または“MANUAL”の設定を選んでください。



・MAPS4 の設定を変更すると、色味の変化がみられる場合があります。あらかじめ認を行った上で使用してください。
・プリントする画像によっては MAPS 機能の効果が得られない場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。

● MAPS 機能が無効になる条件

以下の条件では、MAPS 機能が無効になることがあります。また、プリントする画像によっては MAPS の効果が得られない場合があります。

Sb420 インク 4 色インクセット時 / Sb421 インク 4 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
540 x 360	2 pass	高速
720 x 720	4 pass	
720 x 1080	6 pass	
720 x 1440	8 pass	

Rc400 インク 8 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
720 x 1080	12 pass	高速
720 x 1440	16 pass	

Ac400 インク 8 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
720 x 1440	16 pass	高速

Sb420 インク 6 色インクセット時 / Sb421 インク 6 色インクセット時 / Dd400 インク 8 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
540 x 360	4 pass	高速
720 x 720	8 pass	
720 x 1080	12 pass	
720 x 1440	16 pass	

Rc500 インク 8 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
720 x 1080	12 pass	高速

Sb420+TP400 インク 4+4 色インクセット時の Sb420 / Sb421+TP400 インク 4+4 色インクセット時の Sb421 / Sb411+TP400 インク 4+4 色インクセット時の Sb411 / Sb411+Sb420 インク 4+4 色インクセット時の Sb420 と Sb411

解像度	パス	スキャン速度
540 x 360	4 pass	高速
720 x 720	8 pass	
720 x 1080	12 pass	
720 x 1440	16 pass	

MAPS4 機能 (AUTO) を設定する

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (ENTER)** キーを押す
- 2 **(▲) (▼)** を押して設定 1～4 を選び、**(ENTER)** キーを押す
 ・設定メニューが表示されます。
- 3 **(FUNC1) (<<)** を押す
- 4 **(▲) (▼)** を押して“MAPS4”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 5 **(▲) (▼)** を押して“**AUTO**”を選び、**(ENTER)** キーを押す
 ・設定値を“MANUAL”にする場合はP.3-10「MAPS4 機能 (MANUAL) を設定する」を参照してください。
- 6 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

MAPS4 機能 (MANUAL) を設定する

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (ENTER)** キーを押す
- 2 **(▲) (▼)** を押して設定 1～4 を選び、**(ENTER)** キーを押す
 ・設定メニューが表示されます。
- 3 **(FUNC1) (<<)** を押す
- 4 **(▲) (▼)** を押して“MAPS4”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 5 **(▲) (▼)** を押して“**MANUAL**”を選び、**(ENTER)** キーを押す
 ・設定値を“MANUAL”にする場合はP.3-10「MAPS4 機能 (AUTO) を設定する」を参照してください。
- 6 **(▲) (▼)** を押して“**速度**(50～100%)”を選び、**(ENTER)** キーを押す
 ・プリントするときの速度を選びます。標準画質のプリントを基準として、プリント速度を遅くしたいときは－(マイナス)に、速くしたいときは＋(プラス)に設定してください。
重要! ・速度を変更した場合、ノズルリカバリ (P.3-27) の効果が出ないことがあります。あらかじめ確認をしてから、使用してください。
- 7 **(▲) (▼)** を押して“**スムージングレベル**”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 8 **(▲) (▼)** を押してスムージングレベルを変更し、**(ENTER)** キーを押す
 ・設定値: 0～100% (5%単位で設定)
 ・設定値を上げると、MAPS4 の効果が強くなり、設定値を下げると MAPS4 の効果が弱くなります。

9 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

オートクリーニングの設定

プリント終了後に今までプリントしたファイル数または長さまたは時間をカウントし、クリーニングが必要な場合は自動的にクリーニングを行うよう設定できます。オートクリーニングの設定は、次の 4 種類から選択できます。

- ・**デフォルト** : 使用するインク種や環境によって、クリーニングを実施する単位や間隔が変わります。
詳しくは、下表を参考してください。
- ・**ファイル** : プリントファイル数でクリーニング間隔を設定する
- ・**距離** : プリントした長さでクリーニング間隔を設定する
- ・**時間** : プリントした時間でクリーニング間隔を設定する

● “デフォルト”のときのクリーニング条件

お使いのインク種や使用環境によって、クリーニング条件が以下の様になります。

インク	実行単位	使用環境			実行タイミング	クリーニングタイプ
		～30℃	30～35℃	35℃～		
Sb420	距離	—	30m	10m	プリント中	ノーマル
Sb421	距離	—	30m	10m	プリント中	ノーマル
Dd400	距離	—	—	30m	プリント中	ノーマル
TP400	時間	480分	120分	60分	ファイル間	ノーマル
Rc400	距離	—	50m	30m	プリント中	ソフト
Ac400	距離	—	50m	30m	プリント中	ノーマル
Rc500	距離	—	50m	30m	プリント中	ソフト
Sb420+TP400	時間	480分	120分	60分	ファイル間	ノーマル
Sb421+TP400	時間	480分	120分	60分	ファイル間	ノーマル
Sb411+TP400	時間	480分	120分	60分	ファイル間	ノーマル
Sb411+Sb420	距離	—	30m	10m	プリント中	ノーマル

- 重要!**
- ・表中の「—」はオートクリーニングを実施しないことを表します。
 - ・“デフォルト”以外の設定にしている場合でも、上記の表で設定されている条件下で設定間隔を超えたら、自動的にクリーニングを実施します。
 - ・ハイブリッドの場合、使用していないヘッドも定期的にクリーニングされるためインクを消費いたします。

その他にも、次のような機能があります。

- ・**クリーニング後チェック機能**
オートクリーニング後に自動的にノズルチェックを実施するように設定できます。
 - ・**クリーニング実行タイミング選択機能**
クリーニングする単位を「距離」または「時間」にした場合、クリーニングの実行タイミングを設定できます。
- ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果を持続することができます。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (ENTER)** キーを押す

- 2 ▲▼ を押し設定 1～4 を選び、
ENTER キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 FUNC1 (<<) を押す
- 4 ▲▼ を押し“オートクリーニング”を選び、ENTER キーを押す
- 5 ENTER キーを押し、▲▼ でオートクリーニングの種類を選ぶ
 - ・オートクリーニングの種類には“デフォルト”、“ファイル”、“距離”と“時間”があります。
 - デフォルト：あらかじめ決められているクリーニングタイミングが来ると、自動的にヘッドクリーニングを行う
 - ファイル：設定した回数のプリントが終了したら、自動的にヘッドクリーニングを行う
 - 距離：設定した長さを経過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
 - 時間：設定した時間を通過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
 - ・“デフォルト”を選択した場合は、手順 8 へ進んでください。
- 6 ENTER キーを押し、▲▼ でクリーニング間隔を設定する
 - ・手順 5 で選択したオートクリーニングの種類によって、設定値は異なります。
 - ファイルの場合：1～1000 ファイル
 - 距離の場合：0.1～100.0m (0.1m 単位で設定)
 - 時間の場合：10～480min (10min 単位で設定)
- 7 ENTER キーを押し、▲▼ でクリーニングタイプを設定する
 - ・設定値：ノーマル/ソフト/ハード
- 8 ENTER キーを押し、▲▼ で“クリーニング後チェック”を選ぶ
- 9 ENTER キーを押し、▲▼ で設定値を選ぶ
 - ・設定値：ON/ OFF
 - ・手順 5 で“ファイル”を選択した場合は、手順 12 へ進んでください。
- 10 ENTER キーを押し、▲▼ で“実行タイミング”を選ぶ
- 11 ENTER キーを押し、▲▼ で設定値を選ぶ
 - ・設定値には“ファイル間”と“プリント中”があります。
 - ファイル間：手順 6 の“距離”または“時間”で設定したクリーニング間隔が経過した後のファイルとファイルの間でクリーニングを行う
 - プリント中：手順 6 の“距離”または“時間”で設定したクリーニング間隔が経過した後すぐにプリントを中断し、クリーニングを行う

- 12 ENTER キーを押す

- 13 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

重要! ・ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

定期ワイピングの設定

設定した時間が経過すると、自動的にヘッドのノズル面の清掃を行い、ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。飛行曲がりやノズル抜け、インク滴が落ちるなどの症状が出た場合、動作間隔を設定します。

- 1 ローカルで、FUNC1 (MENU) → ENTER キーを押す
- 2 ▲▼ を押し設定 1～4 を選び、
ENTER キーを押す
 - ・設定メニューが表示されます。
- 3 FUNC1 (<<) を押す
- 4 ▲▼ を押し“定期ワイピング”を選び、
ENTER キーを押す
- 5 ▲▼ を押し、動作間隔を設定する
 - ・設定値：3～255 分、OFF
 - ・[OFF] にすると、定期ワイピングを行いません。
- 6 ENTER キーを押す
- 7 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

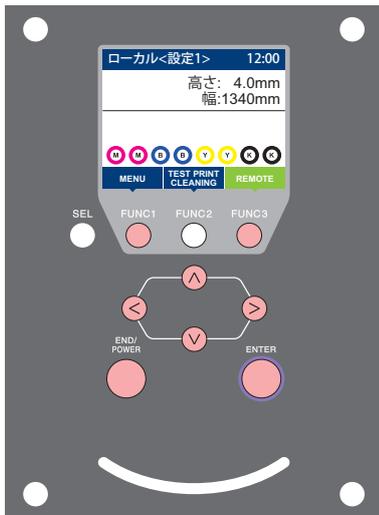
外部ヒーターの設定

外部ヒーターのオン/オフを設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す
- 2 **▲** **▼** を押して設定 1 ~ 4 を選び、**ENTER** キーを押す
・設定メニューが表示されます。
- 3 **FUNC1 (<<)** を押す
- 4 **▲** **▼** を押して“外部ヒーター”を選び、**ENTER** キーを押す
- 5 **▲** **▼** を押して、設定値を選択する
・設定値：ON, OFF
- 6 **ENTER** キーを押す
- 7 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

マシン設定メニューについて

本機を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。



- (FUNC1)** : マシン設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- (FUNC3)** : 次の画面に切り替えるときに押す
- (▲▼)** : 設定項目を選択するときに押す
- (ENTER)** : 設定を確定するときなどに押す

◆ マシン設定メニュー一覧

	(FUNC1) + ▼ 2回		(ENTER)		(▼)
	(▲)		(▲)		(▲)
(FUNC1)					(FUNC3)
	(▲)		(▲)		(▲)
(FUNC1)					(FUNC3)
	(▲)		(▲)		(▲)
(FUNC1)					(FUNC3)
	(▲)		(▲)		(▲)
(FUNC1)					(FUNC3)

マシン設定メニュー一覧表

機能名称	設定値	初期値	内 容	
オートパワーオフ (P.3-15)	しない / 10 ~ 600min	30min	設定した時間操作がない場合、自動で電源を“OFF”にします。	
繰出 / 巻取ユニット (P.3-15)	繰出ユニット	ON / OFF	ON	繰出ユニットを使用する / しないを設定します。
	繰出テンションバー	ON / OFF	OFF	繰出テンションバーを使用する / しないを設定します。
	巻取ユニット	ON / OFF	ON	巻取ユニットを使用する / しないを設定します。
	巻取テンションバー	ON / OFF	OFF	巻取テンションバーを使用する / しないを設定します。
	繰出 / 巻取スイッチ	継続 / 一時	継続	繰出 / 巻取装置のオン / オフボタンを押したときの動作方法を設定します。
トップブロー (P.3-16)	ON	AUTO / 強 / 弱	AUTO	プリント中のトップブローの動作を設定します。
	OFF			
メディア残量 (P.3-16)	ON / OFF		OFF	メディアの残量を管理することができます。
ヘッド高さ (P.2-8)	2.0 ~ 7.0 mm			ヘッド高さの設定をします。
PG 着弾調整 (P.3-17)				双方向プリント時、往路と復路のインク落下点の位置を調整します。
メディア検出 (P.3-17)	検出方法	AUTO/MANUAL	AUTO	メディア検出方法を設定します。
	厚さ入力	ON / OFF	ON	メディア検出時に、使用するメディアの厚みを入力するかを設定します。
	巻径検出	AUTO/MANUAL	AUTO	巻取ユニットと繰出ユニットのメディア外径の検出方法を設定します。
乾燥フィード (P.3-18)	乾燥フィード	OFF / 100 ~ 1000mm	OFF	プリント完了後にメディアをフィードさせる長さを設定します。
LANGUAGE (P.3-18)			English	表示言語を変更します。
時刻設定 (P.3-18)	+4h ~ -20h		日本時間	現在の日付と時刻を設定します。
単位 / 温度 (P.3-18)	°C (摂氏) / °F (華氏)		°C	温度の表示単位を設定します。
単位 / 長さ (P.3-18)	mm / inch		mm	長さ、面積の表示単位を設定します。
キーブザー (P.3-18)	ON / OFF		ON	キーを押したときのブザー音を設定します。
確認フィード (P.3-19)	ON / OFF		ON	テストプリントなどのプリント結果を確認するためにメディアのフィードを行うかを設定します。
ページ間余白 (P.3-19)	無し / 10 ~ 500 mm		無し	プリント間の余白量を設定します。
余白フィード方式 (P.3-19)	間欠 / 連続		間欠	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。
ネットワーク (P.3-19)	ネットワークの設定をします。			
	IP アドレス確認	現在、本機が使用中の IP アドレスが表示されます。		
	MAC アドレス確認	現在、本機が使用中の MAC アドレスが表示されます。		
	DHCP	ON / OFF		ON の場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。
	AutoIP	ON / OFF		ON の場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。
	IP アドレス *1	本機が使用する IP アドレスを設定します。		
	デフォルトゲートウェイ *1	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。		
	DNS アドレス *1	本機が使用する DNS サーバーのアドレスを設定します。		
サブネットマスク *1	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。			

機能名称	設定値		初期値	内 容		
イベントメール	メール送信 (P.3-20)	ON / OFF		OFF	設定したイベントが起こった際に、メールを送信する機能を設定します。	
	送信イベント 選択 (P.3-20)	プリント スタート	ON / OFF	OFF	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定 します。	
		プリントエン ド	ON / OFF	OFF	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定 します。	
		エラー	ON / OFF	OFF	エラー発生時にメールを送信する / しないを設定し ます。	
		ワーニング	ON / OFF	OFF	ワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定 します。	
		その他	ON / OFF	OFF	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / し ないを設定します。	
	メールアドレス (P.3-21)	イベントメールを送信する メールアドレスを設定しま す。		英数字、記号 (96 文字)		
	件名 (P.3-21)	イベントメールの件名に記載 する文字を設定します。		英数字、記号 (8 文字)		
	サーバー設定 (P.3-21)	SMTP アドレス		SMTP サーバーを設定します。		
		SMTP ポート No.		SMTP のポート番号を設定します。		
		送信元メールアドレス		メールの送信元として使用するメールアドレスを設定します。		
		認証方式	OFF		SMTP サーバーの認証方式を設定します。	
			POP before SMTP			
			SMTP 認証			
		ユーザー名 *2		認証に使用するユーザー名を設定します。		
パスワード *2		認証に使用するパスワードを設定します。				
POP3 アドレス *3		POP サーバーを設定します。				
APOP *3		APOP のオン / オフを設定します。				
テストメール 送信 (P.3-23)	テストメールの送信を実行します。					
リセット (P.3-24)				すべての設定項目を初期値に戻します。		

*1. [DHCP]、[AutoIP] が両方オフの場合のみ設定可能

*2. [ニンショウホウシキ] がオフでない場合のみ設定可能

*3. [ニンショウホウシキ] が POP before SMTP の場合のみ設定可能

オートパワーオフの設定

設定した時間操作がない場合、自動で電源を“OFF”に
します。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** (2回) →
(ENTER) キーを押す

・マシン設定メニューが表示されます。

2 **(▲)** **(▼)** を押して“オートパワーオフ”を選
び、**(ENTER)** キーを押す

3 **(▲)** **(▼)** を押して設定値を選び、
(ENTER) キーを押す

・設定値：しない、10～600 min

4 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

繰出 / 巻取ユニットの設定

繰出 / 巻取ユニットの設定では、次の項目を設定します。

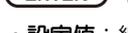
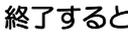
- ・繰出装置巻取装置を使用する / しない
- ・テンションバーを使用する / しない
- ・繰出 / 巻取装置のオン / オフボタンを押したときの動作

本機では、繰出 / 巻取ユニットの設定でテンションバーの
使用方法を選択することによって、次の 4 種類の方法で
プリントできます。

テンションバー	メディアのセット方法
繰出 & 巻取を使用	P.2-16 を参照してセットする
繰出側のみ使用	P.2-16 「テンションバーを使用する」 から、使用しない側のテンションバー についての操作を全て除いてセットし てください。
巻取側のみ使用	
テンションバーを 使用しない	P.2-21 を参照してセットする

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** (2回) →
(ENTER) キーを押す

・マシン設定メニューが表示されます。

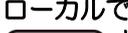
- 2   を押し、“繰出/巻取ユニット”を選び、 キーを押す
 - 3  キーを押す
・“繰出ユニット”が選択されます。
 - 4   を押し設定値を選び、 キーを押す
・設定値：ON/ OFF
 - 5  を押し、 キーを押す
・“繰出テンションバー”が選択されます。
 - 6   を押し設定値を選び、 キーを押す
・設定値：ON/ OFF
 - 7  を押し、 キーを押す
・“巻取ユニット”が選択されます。
 - 8   を押し設定値を選び、 キーを押す
・設定値：ON/ OFF
 - 9  を押し、 キーを押す
・“巻取テンションバー”が選択されます。
 - 10   を押し設定値を選び、 キーを押す
・設定値：ON/ OFF
 - 11  を押し、 キーを押す
・“繰出/巻取スイッチ”が選択されます。
 - 12   を押し設定値を選び、 キーを押す
・設定値：継続/一時
継続：スイッチを押すごとに、巻取動作のオン / オフを切り替えます。(動作中の巻取装置は、再度オン / オフスイッチを押すまで止まりません。)
一時：スイッチを押している間だけ、巻取動作を行います。(スイッチを放すと、巻取動作は止まります。)
- 重要!** ・モーター直結ユニットをお使いの場合、“継続”に設定しても、自動的に“一時”で設定した動作になります。
- 13 終了するとき、 キーを数回押す

重要!

- ・繰出 / 巻取ユニットの繰出 / 巻取テンションバーの設定は、メディアをセットする前に行ってください。メディア幅を検出した後 (P.2-27) に設定を行っても、繰出 / 巻取テンションバーの設定はできません。
- ・メディア幅を検出した後でも、繰出 / 巻取ユニットのオン / オフを変更することはできません。
ON から OFF にした場合：
繰出 / 巻取ユニットは動作しない
OFF から ON にした場合：
トルクリミッター取付時は、テンションバーを使わない巻取動作のみ行う
モーター直結ユニット取付時は、巻取動作を行わない
- ・メディアセットの途中で繰出 / 巻取方法を変更したいときは、セットしたメディアを元に戻し、手順 1 から操作し直してください。

トップブロウの設定

プリント中のトップブロウの動作を設定します。トップブロウの設定を“ON”にすると、ブロウの強さを設定できます。

- 1 ローカルで、 (MENU) →  (2回) →  キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。
- 2   を押し“トップブロウ”を選び、 キーを押す
- 3   を押し“ON”を選び、 キーを押す
ON : ブロウの強さを選べるようになります。
OFF : プリント中にトップブロウは動作しません。
手順 6へ進んでください。
- 4   を押し“強さ”を選び、 キーを押す
- 5   を押し設定値(AUTO/強い/弱い)を選び、 キーを押す
・設定値：ON/ OFF
- 6 終了するとき、 キーを数回押す

メディア残量表示の設定

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示を ON にすると	リモートでメディア残量が表示されます。 (ただし、リーフメディアを使用した場合は、プリント長が表示されます。)
メディア残量表示を OFF にすると	リモートでメディア残量は表示されません。



- ・プリント、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- ・メディア長 (残量初期値) はローカルメディア検出時に入力します。(P.2-28)
- ・ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
 ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **▲▼** を押して “メディア残量” を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲▼** を押して、ON/OFF を選ぶ
- 4 **ENTER** キーを押す
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す



・メディア残量表示の設定を“ON”にすると、現在のメディア残量と日付をリストにしてプリントできます。(P.2-28)

PG 着弾調整の設定

双方向プリント時、往路と復路のインク落下点の位置を調整します。

PG 着弾調整では、ヘッド高さの異なる2点での着弾位置調整をすることにより、ヘッド高さが変わった場合でも自動的にインクの着弾位置を調整して、品質の高いプリントをすることができます。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
 ・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC3** (>>) を押す
- 3 **▲▼** を押して “PG 着弾調整” を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 キャリッジの高さ調整ネジを緩め、**ENTER** キーを押す
 ・P.2-8「ヘッドの高さ調整」を参照してネジを緩めてください。
- 5 ヘッド高さを3mmにて、高さ調整ネジを締める
- 6 **ENTER** キーを2回押す
 ・着弾位置調整用のパターンが1～5までプリントされます。
- 7 P.3-6「ドットの位置がずれたら」を参照して、パターン1～5のドットの位置を補正する
- 8 手順4～7を参照し、ヘッド高さを4mm変更してからパターン1～5のドット位置を補正する
- 9 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

メディア検出の設定

メディア検出の設定では、以下の項目の設定をします。

メディア検出	メディアをセットしたとき、メディアの幅を自動的に検出する(AUTO)または手でプリント範囲を設定する(MANUAL)を選択します。
厚さ入力	メディア検出時にメディアの厚みを入力するか設定します。
巻径検出	巻取ユニットと繰出ユニットのメディア外径を自動的に検出する(AUTO)または手でメディア外径を設定する(MANUAL)を選択します。



・オーバープリントを行う場合、メディア検出の設定を“MANUAL”にしてください。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
 ・マシン設定メニューが表示されます。
 - 2 **FUNC3** (>>) を押す
 - 3 **▲▼** を押して “メディア検出” を選び、**ENTER** キーを押す
 - 4 **ENTER** キーを押す
 ・“検出方法”が選択されます。
 - 5 **▲▼** を押して、“AUTO/MANUAL”を選び、**ENTER** キーを押す
 - 6 **▲▼** を押して “厚さ入力” を選び、**ENTER** キーを押す
 - 7 **▲▼** を押して、ON/OFF を選び、**ENTER** キーを押す
 - 8 **▲▼** を押して “巻径検出” を選び、**ENTER** キーを押す
 - 9 **▲▼** を押して、AUTO/MANUAL を選び、**ENTER** キーを押す
 - 10 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す
- 重要!** ・プリント時の画質向上のため、手順7では“ON”に設定することをお勧めします。

乾燥フィードの設定

プリント終了後、メディア後端まで均一に乾燥させるためのメディアフィード長さを設定します。



• お使いの外部ヒーターの位置に合わせ、プリント部の後端がヒーターを通過する位置までフィードするように設定してください。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す

• マシン設定メニューが表示されます。

2 **FUNC3 (>>)** を押す

3 **▲ ▼** を押して “乾燥フィード” を選び、**ENTER** キーを押す

4 **ENTER** キーを押す

• “乾燥フィード” が選択されます。

5 **▲ ▼** を押してメディアのフィード長を入力し、**ENTER** キーを押す

6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

言語の設定

表示言語を変更します。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す

• マシン設定メニューが表示されます。

2 **FUNC3 (>>)** を押す

3 **▲ ▼** を押して “LANGUAGE” を選び、**ENTER** キーを押す

4 **▲ ▼** を押して言語を選び、**ENTER** キーを押す

5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

時刻の設定

お使いの国に合わせた時刻(時差)に設定することができます。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す

• マシン設定メニューが表示されます。

2 **FUNC3 (>>)** を押す

3 **▲ ▼** を押して “時刻” を選び、**ENTER** キーを押す

4 **▲ ▼ ▲ ▼** を押して時刻を入力し、**ENTER** キーを押す

• 時分の選択 : **◀▶** で選ぶ
• 時分の入力 : **▲▼** で入力

5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す



• -20 ~ +4 時間の間で、設定できます。

単位 (温度 / 長さ) の設定

本機で使用する単位を設定します。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す

• マシン設定メニューが表示されます。

2 **FUNC3 (>>)** を 2 回押す

3 **▲ ▼** を押して “単位 / 温度” または “単位 / 長さ” を選び、**ENTER** キーを押す

4 **▲ ▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す

• 温度の設定値 : °C/°F
• 長さの設定値 : mm/inch

5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

キーブザーの設定

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す

• マシン設定メニューが表示されます。

2 **FUNC3 (>>)** を 2 回押す

3 **▲ ▼** を押して “キーブザー” を選び、**ENTER** キーを押す

4 **▲ ▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す

• 設定値 : ON/ OFF

5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す



• 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

確認フィードの設定

テストプリントなどのプリント結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC3** (>>) を 2 回押す
- 3 **▲▼** を押して “確認フィード” を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す
・設定値：ON/ OFF
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

プリント間の余白の設定

プリント間の余白量を設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) を押す
 - 2 **▲▼** を押して “マシン設定” を選び、**ENTER** キーを押す
 - 3 **FUNC3** (>>) を 2 回押す
 - 4 **▲▼** を押して “ページ間余白” を選び、**ENTER** キーを押す
 - 5 **▲▼** を押して余白量を設定し、**ENTER** キーを押す
・設定値：無し / 10 ~ 500mm
 - 6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す
- 重要!** ・プリントするデータに既に余白がついている場合、本機能を使うと、「データについている余白 + 本機で設定した余白量」が余白として出力されます。

余白フィード方式の設定

画像データに含まれる余白部分(プリントするデータの無い部分)のフィード方式を変更します。余白部分の多いデータをプリントする場合、“連続” に設定することで、プリント時間を短縮することができます。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。

- 2 **FUNC1** (>>) を押す

- 3 **▲▼** を押して “余白フィード方式” を選び、**ENTER** キーを押す

- 4 **▲▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す

間欠：パス分割単位での間欠フィード動作を行う
連続：データがない部分を一度にフィードする

- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

ネットワークの設定

ネットワークの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングダウンロードページ (<https://japan.mimaki.com/download>) より “ドライバ/ユーティリティ” をチェックしてダウンロードしてください。

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。

- 2 **FUNC3** (>>) を 2 回押す

- 3 **▲▼** を押して “ネットワーク” を選び、**ENTER** キーを押す

- 4 **ENTER** キーを押す

- ・ “IP アドレス確認” が選択されます。
- ・ 現在、本機で使用中の IP アドレスが表示されます。
- ・ 確認が終わったら [ENTER] キーを押してください。



- ・ ネットワークに接続後、IP アドレスが確定するまで時間がかかります。IP アドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。

- 5 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す

- ・ “MAC アドレス確認” が選択されます。
- ・ 現在、本機で使用中の MAC アドレスが表示されます。
- ・ 確認が終わったら [ENTER] キーを押してください。

- 6 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す

- ・ “DHCP” が選択されます。

- 7 **▲▼** を押して設定値を選び、**ENTER** キーを押す

- ・ 設定値：ON/ OFF
- ・ ON の場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。

- 8 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す

- ・ “AutoIP” が選択されます。

9 を押して設定値を選び、
 キーを押す

- 設定値：ON/ OFF
- オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。

10 を押し、 キーを押す

- “IP アドレス” が選択されます。

11 を押して設定値を選び、
 キーを押す

- 設定値：ON/ OFF
- DHCP、AutoIP が両方オフの場合、IP アドレスの設定ができます。それ以外の場合、手順 14 へ進みます。

12 キーを押す

- デフォルトゲートウェイ/DNS アドレス/サブネットマスクの設定項目が表示されます。
- DHCP、AutoIP が両方オフの場合、デフォルトゲートウェイ /DNS アドレス / サブネットマスクの設定ができます。それ以外の場合、手順 14 へ進みます。

13 を数回押して設定項目を選択し、
 キーを押す

14 を押して設定値を選び、
 キーを押す

15 終了するとき、 キーを数回押す



ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

イベントメール機能の設定

プリントの開始 / 終了や、エラーによる中断などのイベントが発生した際に、設定したメールアドレスにメールを送信する機能を設定します。

イベントメールの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングダウンロードページ (<https://japan.mimaki.com/download>) より “ドライバ/ユーティリティ” をチェックしてダウンロードしてください。

免責事項

- メール通知その他、インターネットの通信が発生した場合の通信費用は、お客様負担となります。
- イベントメール機能による通知は、インターネット環境や機器の故障、電源の故障などの要因により、不達となることがあります。不達や遅延があった場合などにおいて発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。

重要!

- イベントメール機能は本機を LAN 接続することによって使用できます。あらかじめ LAN ケーブルの接続をしておいてください。
- SSL 通信には対応していません。

イベントメール機能を有効にする

1 ローカルで、 (MENU) (2回) キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

2 (<<) を押す

3 を押して “イベントメール” を選び、 キーを押す

4 キーを押す

- “メール送信” が選択されます。

5 を押して “ON” を選び、
 キーを押す

6 終了するとき、 キーを数回押す

イベントメールを送るイベントを設定する

1 ローカルで、 (MENU) (2回) キーを押す

- マシン設定メニューが表示されます。

2 (<<) を押す

3 を押して “イベントメール” を選び、 キーを押す

4 を押し、 キーを押す

- “送信イベント選択” が選択されます。

5 を押してイベントの “ON” または “OFF” を選択し、 キーを押す

- 下表の順にイベントの ON/OFF を選択します。ON/OFF 設定後、[ENTER] キーを押して次のイベント設定に進んでください。
- 直前の設定に戻るときは [END/POWER] キーを押してください

イベント名	概要
プリントスタート	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。
プリントエンド	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
エラー	エラー発生によるプリント中断時にメールを送信する / しないを設定します。
ワーニング	プリント中のワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
その他	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。

6 終了するとき、 キーを数回押す

メールアドレスを設定する

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC1** (<<) を押す
- 3 **▲** **▼** を押して“イベントメール”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▼** を2回押し、**ENTER** キーを押す
・“メールアドレス”が選択されます。
- 5 **▲** **▼** **◀** **▶** を押してアドレスを設定し、**ENTER** キーを押す
・イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。
・英数字、記号、96文字以内で設定します。
- 6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

件名を設定する

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC1** (<<) を押す
- 3 **▲** **▼** を押して“イベントメール”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▼** を3回押し、**ENTER** キーを押す
・“件名”が選択されます。
- 5 **▲** **▼** **◀** **▶** を押して件名を設定し、**ENTER** キーを押す
・イベントメールの件名に記載する文字を設定します。
・英数字、記号、8文字以内で設定します。
- 6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

サーバーを設定する

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。
- 2 **FUNC1** (<<) を押す
- 3 **▲** **▼** を押して“イベントメール”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▼** を4回押し、**ENTER** キーを押す
・“サーバー設定”が選択されます。
- 5 **ENTER** キーを押す
・“SMTPアドレス”が選択されます。
- 6 **▲** **▼** **◀** **▶** を押してSMTPアドレスを設定し、**ENTER** キーを押す
・**▲** **▼** **◀** **▶** を押して、SMTPアドレスを設定します。
・SMTPアドレス名を入力してください。
- 7 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す
・“SMTPポートNo.”が選択されます。
- 8 **▲** **▼** を押してSMTPポートNo.を設定し、**ENTER** キーを押す
・SMTPのポート番号を設定します。
- 9 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す
・“送信元メールアドレス”が選択されます。
- 10 **▲** **▼** **◀** **▶** を押して送信元メールアドレスを設定し、**ENTER** キーを押す
・**▲** **▼** **◀** **▶** を押して、送信元メールアドレスとして使用するアドレスを設定します。
・英数字、記号、64文字以内で設定します。
 ・使用するサーバーによっては、アカウントに対応したメールアドレスを設定しないとメールを送信できない場合があります。
- 11 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す
・“認証方式”が選択されます。
- 12 **▲** **▼** を押して認証方式を設定し、**ENTER** キーを押す
・SMTPサーバーの認証方式を設定します。
・[オフ]を選択した場合、手順20に進みます。
- 13 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す
・“ユーザー名”が選択されます。
- 14 **▲** **▼** **◀** **▶** を押してユーザー名を設定し、**ENTER** キーを押す
・**▲** **▼** **◀** **▶** を押して、認証に使用するユーザー名を設定します。
・英数字、記号、30文字以内で設定します。

15  を押し、 キーを押す

- “パスワード” が選択されます。

16     を押しパスワードを設定し、 キーを押す

-     を押し、認証に使用するパスワードを設定します。
- 英数字、記号、15文字以内で設定します。



- パスワードの設定画面では、現在入力中の値のみ確認が可能です。

- 手順 11 で [POP before SMTP] を選択した場合、手順 16 ~ 19 を設定します。

17  を押し、 キーを押す

- “POP3 アドレス” が選択されます。

18     を押しPOP3 アドレスを設定し、 キーを押す

-     を押し、POP サーバーを設定します。
- POP サーバー名を入力してください。

19  を押し、 キーを押す

- “APOP” が選択されます。

20   を押し ON/OFF を設定し、 キーを押す

21 終了するとき、 キーを数回押す

テストメールを送信する

1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す

- ・マシン設定メニューが表示されます。

2 **FUNC1** (<<) を押す

3 **▲** **▼** を押して“イベントメール”を選び、**ENTER** キーを押す

4 **FUNC3** (>>) → **ENTER** キーを押す

- ・“テストメール送信”が選択されます。

5 **ENTER** キーを押す

- ・送信結果が表示されます。
- ・テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードが表示されます。
次ページを参照し、対処してください。

```

テストメール ソウシン
シッパイ : 12345 :ent
  
```

エラーコード

6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

重要!

- ・テストメールの送信結果は、本機がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。メールが宛先に届いたことを示すものではありません。
- ・メールを受信する端末側で迷惑メールフィルタなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届かない場合があります。
- ・テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードが表示されます。
- ・エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
- ・サーバーの設定等については、ネットワーク管理者またはプロバイダにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 ・装置のIPアドレスが正しいことを確認してください。 ・装置がDNSを利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません	<ul style="list-style-type: none"> ・POP サーバーのアドレスを確認してください。 ・装置がDNSを利用することのできる環境であることを確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	<ul style="list-style-type: none"> ・POP サーバー設定を確認してください。 ・ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されました	<ul style="list-style-type: none"> ・POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー名とパスワードを確認してください。 ・APOP の設定を確認してください。 ・認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません。	<ul style="list-style-type: none"> ・SMTP サーバーのアドレスを確認してください。 ・装置がDNSを利用することのできる環境であることを確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	<ul style="list-style-type: none"> ・SMTP サーバー設定を確認してください。 ・SMTP ポート番号を確認してください。 ・ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTP サーバーからエラーが返答されました または応答がありません	<ul style="list-style-type: none"> ・SMTP サーバーの設定を確認してください。 ・SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 ・プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません または、無効なメールアドレスです	<ul style="list-style-type: none"> ・メールアドレスを確認してください。 ・メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 ・ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
22000 22008	SMTP 認証エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP 認証に失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー名とパスワードを確認してください。

“***” はメールサーバーから返答されたエラーコード

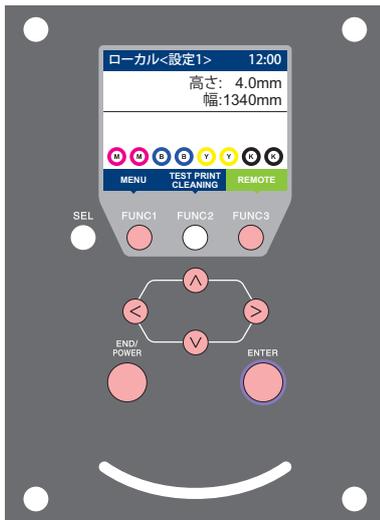
設定した内容を初期状態に戻す

「設定」「メンテナンス」「マシン設定」で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

- 1** ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (2回) → **ENTER** キーを押す
・マシン設定メニューが表示されます。
- 2** **FUNC1 (<<)** を押す
- 3** **▲ ▼** を押して“リセット”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4** **ENTER** キーを押す
・設定を初期化します。
- 5** 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

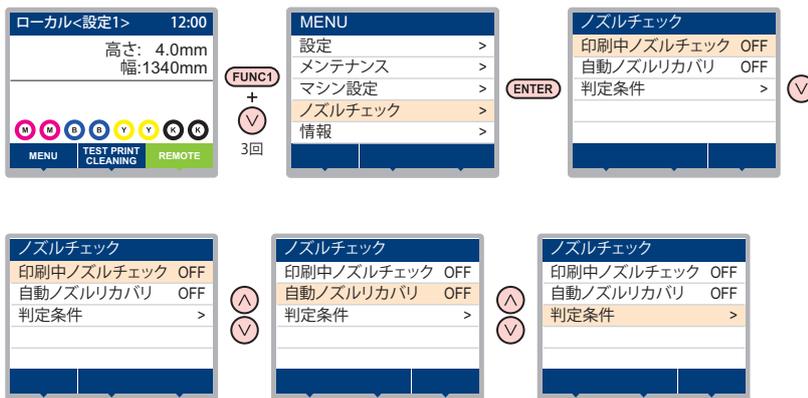
ノズルチェックメニューについて

ノズル抜け検出機能に関するオペレーションを設定します。



- FUNC1** : 情報メニューを選ぶときに押す
- FUNC3** : 次の画面に切り替えるときに押す
- ▲** **▼** : 設定項目を選択するときに押す
- ENTER** : 設定を確定するときなどに押す

◆ ノズルチェックメニュー一覧



ノズルチェックメニュー一覧表

機能名称	設定値	初期値	概要
印刷中ノズルチェック (☞ P.3-27)	ON/OFF	OFF	オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、設定します。
(ON)	チェック 間隔	距離 0.1 ~ 50.0m ファイル 1 ~ 100 ファイル	30.0m 30 ファイル 設定した距離毎にノズルチェックを行います。 設定したファイル数毎にノズルチェックを行います。 ^{*1}
	復旧動作	クリーニング ソフト/ノーマル /ハード リトライ回数 0 ~ 3 回	ソフト 0 回 復旧動作時に行うクリーニングの種類を設定します。 設定回数分、リトライ動作を繰り返します。
自動ノズルリカバリ (☞ P.3-27)	ON/OFF	OFF	自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。
判定条件 (☞ P.3-27)	1 ~ 200 ノズル	1 ノズル	色ごとに何本のノズル抜けを検出したら「ノズル抜け」と判定するか設定します。(1 ノズル列最大 16 本) ^{*2}

*1. プリントの途中で設定した距離に達した場合は、次のプリント開始時にノズルチェックを行います。

*2. プリント条件により、ノズルリカバリが適用されない場合があります。

印刷中ノズルチェックの流れ

プリント開始時に以下の流れでノズルチェックを行います。

重要!

- ・「印刷中ノズルチェック」の設定を "ON" にすると、有効になります。
- ・リトライ、自動ノズルリカバリの設定は、設定が有効な場合のみ行います。

1 ノズルチェック → 判定

ノズル抜けを検出します。

2 復旧動作 → ノズルチェック → 判定

ノズルチェック後「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合、クリーニングを行ってから再度ノズルチェックを行います。

3 リトライ → 判定

復旧動作後「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合、再度復旧動作を行います。

- ・「リトライ回数」の設定を1回以上にすると、有効になります。

4 自動ノズルリカバリ → 判定

ノズルチェックならびに復旧動作後、自動でノズルリカバリを行います。

- ・「自動ノズルリカバリ」の設定を "ON" にすると、有効になります。

5 ノズル抜け判定

最終的に「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合は、プリント継続不可能と判定して、プリントを停止します。

「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作

- 「ノズル抜け」と判定された場合 → プリントを停止します。
- ノズルチェック実施中にエラーが発生した場合 → 印刷を停止し、自動的に「印刷中ノズルチェック」を "OFF" に設定します。エラーから復旧後は、再度「印刷中ノズルチェック」の設定を行ってください。

印刷中ノズルチェックの設定

オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、ON に設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (3回) → **ENTER** キーを押す
 - ・ノズルチェックメニューが表示されます。
- 2 **ENTER** キーを押す
 - ・“印刷中ノズルチェック”が選択されます。
- 3 **▲** **▼** を押し、**ON** を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・“チェック間隔”の設定画面が表示されます。
 - ・“OFF”を選ぶと、ノズルチェックは設定されません。手順 11 へ進んでください。
- 4 **ENTER** キーを押す
- 5 **▲** **▼** を押し、設定項目を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・ノズルチェックの間隔を“距離”または“ファイル”から選びます。
 - 距離 : プリントした距離が設定した長さに達すると、ノズルチェックを行う
 - ファイル : プリントしたファイル数が設定した数に達すると、ノズルチェックを行う
- 6 **▲** **▼** を押し、設定値を選び、**ENTER** キーを押す
 - ・手順 5 で選んだ設定項目により、設定値は異なります。
 - 距離 : 0.1 ~ 50.0m
 - ファイル : 1 ~ 100 ファイル
- 7 **ENTER** キーを 2 回押す
 - ・“復旧動作”の設定画面が表示されます。
- 8 **ENTER** キーを押す
 - ・“クリーニング種別”が選択されます。
- 9 **▲** **▼** を押し、クリーニングタイプを選び、**ENTER** キーを押す
 - 設定値 : OFF / ソフト / ノーマル / ハード
- 10 **▲** **▼** を押し、リトライ回数を選び、**ENTER** キーを押す
 - 設定値 : 0 ~ 3 回
- 11 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

自動ノズルリカバリの設定

ノズル抜け判定された場合に自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (3回) → **ENTER** キーを押す
 - ・ノズルチェックメニューが表示されます。
- 2 **▼** を押し、**ENTER** キーを押す
 - ・“自動ノズルリカバリ”が選択されます。
- 3 **▲** **▼** を押し、**ON/OFF** を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

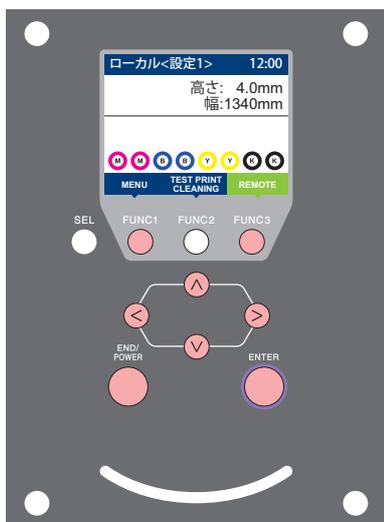
判定条件の設定

ノズル抜けの判定条件を設定します。

- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** (3回) → **ENTER** キーを押す
 - ・ノズルチェックメニューが表示されます。
- 2 **▼** を 2 回押し、**ENTER** キーを押す
 - ・“判定条件”が選択されます。
- 3 **▲** **▼** を押し、色を選び、**ENTER** キーを押す
 - 
 - ・インクセットにより、色の種類は変わります。
- 4 **▲** **▼** を押し、判定ノズル数を設定し、**ENTER** キーを押す
- 5 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

情報メニューについて

本機の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。



- FUNC1** : 情報メニューを選ぶときに押す
- FUNC3** : 次の画面に切り替えるときに押す
- ▲▼** : 設定項目を選択するときに押す
- ENTER** : 設定を確定するときなどに押す

◆ 情報メニュー一覧



情報メニュー一覧表

項目		内容
使用状況	ワイピング情報	ワイピングした回数が表示されます。
	廃インクタンク情報	廃インクタンクに溜まっている廃インクが何%になっているか、目安が表示されます。
	プリント長情報	今までプリントした長さが表示されます。
	プリント面積情報	今までプリントした面積が表示されます。
	使用時間	今までの使用時間が表示されます。
	スパウトゴム	スパウトゴムの使用時間が表示されます。
バージョン		装置のバージョン情報が表示されます。
インク交換レポート		装置で使用したインクの履歴をプリントします。
エラー履歴		現在までに発生したエラー、ワーニング履歴が表示されます。 [▲][▼]を押して、発生順に発生日時(年月日時分)とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。
リスト		装置の設定内容をプリントします。

情報を表示させる

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU)** → **[▼]** (4回) → **[ENTER]** キーを押す

- ・情報メニューが表示されます。

2 **[▲]** **[▼]** を押して情報を選ぶ

- ・「情報メニュー一覧表」を参照して、表示する情報を選びます。

3 **[ENTER]** キーを押す

- ・手順2で[リスト]を選んだ場合、装置の設定内容がプリントされます。

4 終了するとき、**[END/POWER]** キーを数回押す



- ・ワイパーの使用カウントをリセットしたい場合、ディスプレイに“クリアしますか?”を表示中に**[FUNC2]** キーを押します。**[ENTER]** キーを押すと、ワイピング回数をリセットします。
 - ・使用状況の“ワイピング情報”、“廃インクタンク情報”、“スパウトゴム”を表示中にファンクションキーを押すと、使用カウントをリセットすることができます。
- | | |
|--------------------|----------------------|
| ワイピング情報をリセットする場合 | : [FUNC2] を押す |
| 廃インクタンク情報をリセットする場合 | : [FUNC1] を押す |
| スパウトゴムをリセットする場合 | : [FUNC3] を押す |

第4章 お手入れ



この章では ...

日常行っていたくお手入れ方法やインクカートリッジのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ.....	4-2	ヘッドノズル面の縁を清掃する	4-17
お手入れを行うタイミング	4-2	ノズルリカバリ機能.....	4-19
お手入れ上のご注意.....	4-3	設定値をリセットする.....	4-20
メンテナンス液について.....	4-3	リカバリできない条件を確認する.....	4-20
外装のお手入れ.....	4-3	テストプリント時にノズルリカバリを有効にするか設定する	4-21
メディアセンサーの清掃.....	4-3	オートメンテナンス機能.....	4-21
折り返しバー（巻取側）の清掃	4-4	リフレッシュ間隔を設定する	4-21
引っ張りローラーの清掃.....	4-4	チューブ洗浄間隔を設定する	4-22
インク受けスパーサの清掃	4-4	クリーニング間隔とタイプを設定する.....	4-22
プラテンの清掃	4-4	ノズル洗浄を中断する.....	4-22
布押さえ・メディア押さえの清掃	4-6	インク充填	4-22
グリットローラーのお手入れ	4-6	消耗品の交換.....	4-23
メンテナンスニューについて	4-8	ワイパーを交換する	4-23
メンテナンスメニュー一覧表	4-9	廃インクタンク確認メッセージが表示されたら	4-24
キャッピングステーションのメンテナンス.....	4-10	廃インクタンクを交換する.....	4-24
ワイパーとキャップの清掃	4-10	キャップ吸収材を交換する.....	4-25
キャップ吸収材の清掃	4-12	ファンフィルターを交換する	4-26
ヘッドノズルの洗浄	4-12	ピンチローラーを交換する.....	4-27
インク排出路の洗浄	4-14	スパウトゴムを交換する	4-28
長期間使用しない場合	4-15	MBIS オスコネクタ吸収材を交換する.....	4-29
ヘッド周辺のメンテナンス.....	4-17		
ヘッド周辺を清掃する	4-17		

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れを行うタイミング

本機は非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特にインクを吐出するヘッドのノズル面は、わずかなホコリや紙粉の付着でも影響を及ぼし、正常なプリント結果を得られなくなる可能性があります。

より良い状態でご使用いただくために、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

下記のリストを参考にお手入れをしてください。

お手入れを行うタイミング	お手入れ項目	取扱説明書 参照ページ
メディア交換時	インク受けスパーサの清掃	P.4-4「インク受けスパーサの清掃」
毎日 (1日の作業終了後)	ヘッド周辺のメンテナンス	P.4-17「ヘッド周辺のメンテナンス」
	キャッピングステーションの清掃	P.4-10「ワイパーとキャップの清掃」 P.4-12「キャップ吸収材の清掃」
	ワイパーの清掃	P.4-10「ワイパーとキャップの清掃」
	布押さえ・メディア押さえの清掃	P.4-6「布押さえ・メディア押さえの清掃」
	メディアセンサーの清掃	P.4-3「メディアセンサーの清掃」
1週間に1回 (週末の作業終了後)	プラテンの清掃	P.4-4「プラテンの清掃」
	折り返しバー(巻取側)の清掃	P.4-4「折り返しバー(巻取側)の清掃」
	引っ張りローラーの清掃	P.4-4「引っ張りローラーの清掃」
	外装のお手入れ	P.4-3「外装のお手入れ」
	廃インクタンクのメンテナンス	P.4-24「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」
	インク排出路の洗浄	P.4-14「インク排出路の洗浄」
	ヘッドノズル面の縁の清掃	P.4-17「ヘッドノズル面の縁を清掃する」
1ヶ月に1回	インク充填 (Sb411+TP400 インクセットの場合のみ)	P.4-22「インク充填」
プラテン切り替え時 (Tx300P-1800 MkII のみ)	プラテンの清掃	P.4-4「プラテンの清掃」
	インク受けスパーサの清掃	P.4-4「インク受けスパーサの清掃」
	布押さえ・メディア押さえの清掃	P.4-6「布押さえ・メディア押さえの清掃」
破損・変形、汚れがひどい場合 / 定期的に交換が必要なもの	消耗品の交換 ファンフィルター / ワイパー / キャップ吸着材 / ピンチローラー / 2L インクケーススパウトゴム / MBIS オスコネクタ吸収材	P.4-23「消耗品の交換」
長期間使用しない場合	「保管洗浄」の実行	P.4-15「長期間使用しない場合」



お手入れに必要な道具

- ・クリーンスティック (品番: SPC-0527)
- ・メンテナンス液
- ・綿棒
- ・保護メガネ
- ・手袋
- ・柔らかい布



インク種により使用するメンテナンス液は異なります。メンテナンス液はお使いになるインクに対応したものをお使いください。(P.4-3)

お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。 インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機を、絶対に分解しないでください。感電破損の原因になります。 また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電破損の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用（出力）されないときには、定期的に微量のインクを吐出（フラッシング）させる必要があります。 長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみをOFFとし、右側面の主電源スイッチはON(の状態) コンセントは挿入した状態にしておいてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。 ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。 メンテナンス液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

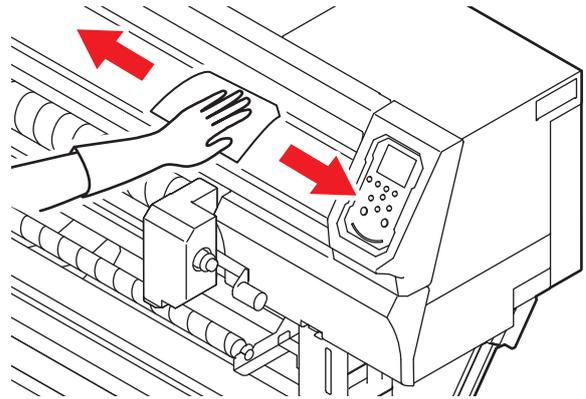
メンテナンス液について

メンテナンス液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス液
昇華染料インク :Sb420 昇華染料インク :Sb421 分散染料インク :Dd400 酸性染料インク :Ac400 反応染料インク :Rc400 反応染料インク :Rc500	03 メンテナンス液キット (ML003-2-K1)[別売]
ハイブリッド : Sb411+Sb420	
捺染顔料インク :TP400	
ハイブリッド : Sb420+TP400 Sb421+TP400 Sb411+TP400	12 メンテナンス液キット (C-ML012-Z-K1-1-KW)[別売]

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



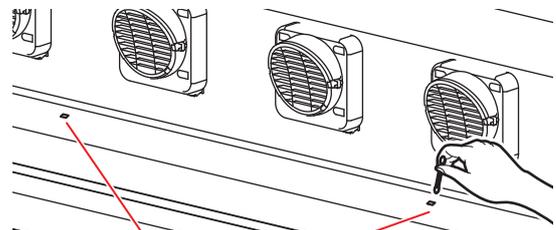
メディアセンサーの清掃

メディアセンサーは、背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

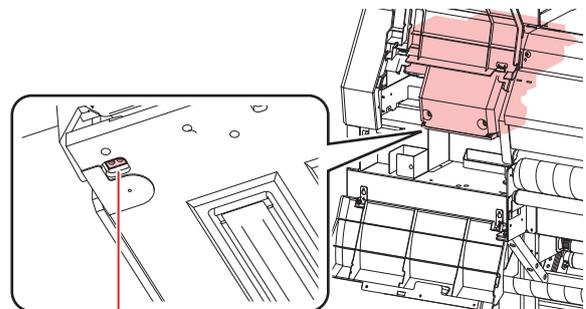
ヘッド下面のセンサーを清掃するときは、P.4-17「ヘッド周辺のメンテナンス」手順 1 の操作をして、キャリッジを左端に移動させてから清掃してください。

装置背面



メディアセンサー

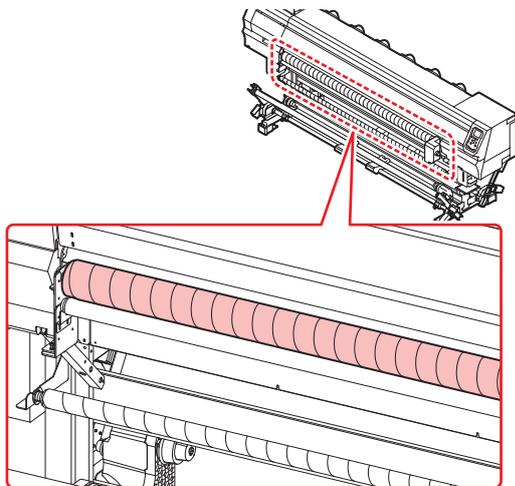
ヘッド下面



メディアセンサー

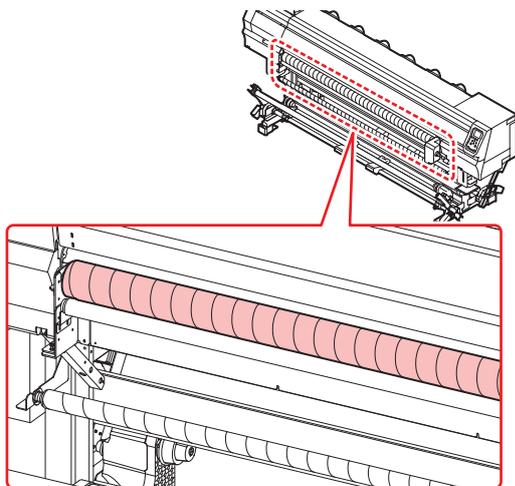
折り返しバー (巻取側) の清掃

装置前面にある、メディア巻取時に使用する折り返しバーに付着したインクなどの汚れを取り除きます。柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



引っ張りローラーの清掃

装置前面にある引っ張りローラーに付着したインクなどの汚れを取り除きます。柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



インク受けスパーサの清掃

メディア交換時などインク受けスパーサに付着したインクなどの汚れを洗浄したいとき、取り外して洗浄します。

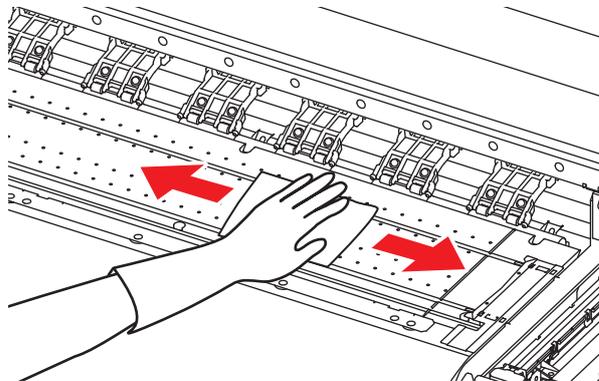


プラテンの清掃



- 主電源を切り、電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。

汚れたまま使用を続けると、メディアが正しくフィードできなくなったり、ヘッドノズル面にゴミや固まったインクをこすり付けて、吐出不良(ノズル詰まり、飛行曲がりなど)の原因となります。



- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障や感電、火災の恐れがあります。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。
- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。



- メディア押さえをスライドする溝やメディアカットする溝は、特にゴミがたまりやすい場所です。丁寧にゴミを取り除いてください。

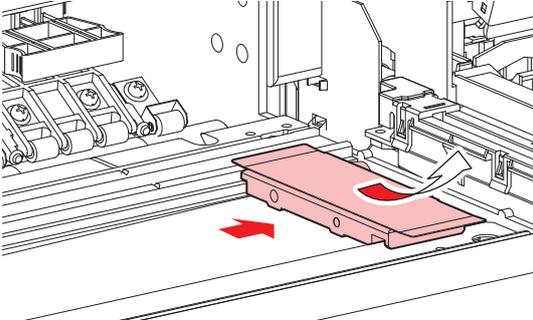
Tx300P-1800 の場合

目の粗い布にプリントすると、インクの一部が布を通過しプラテンに付着します。

インク汚れが気になるときは、次のようにして付着したインクを水洗いしてください。(1週間に1回程度)

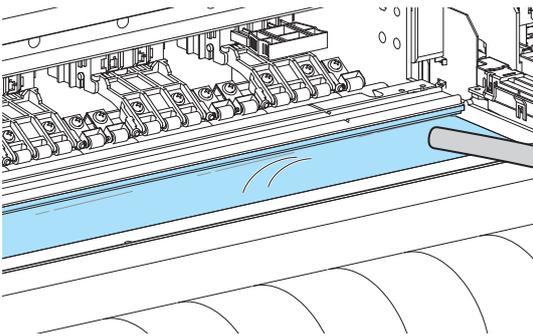
1 布押さえを外す

- 布押さえをプラテンの端までスライドさせ、取り外します。

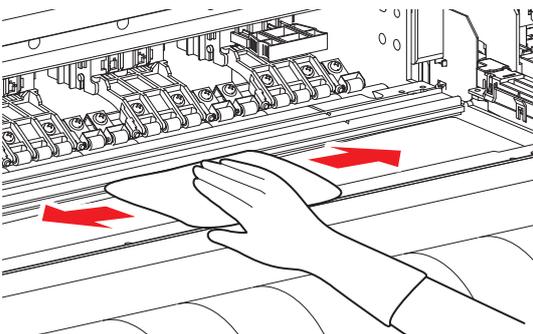


2 プラテンを水洗いする

- 重要!**
- プラテン上の水は、左側の廃インクタンクに流れます。廃インクタンクから汚水があふれないようお気を付けてください。
 - 一度に大量の水を流すと、プラテンから水があふれる恐れがあるので、ご注意ください。



3 プラテン上に残った汚水を、ウェスなどで拭き取る



4 廃インクタンクを取り外す

- 💡**
- 廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

5 布押さえを取り付ける

Tx300P-1800 MkII の場合

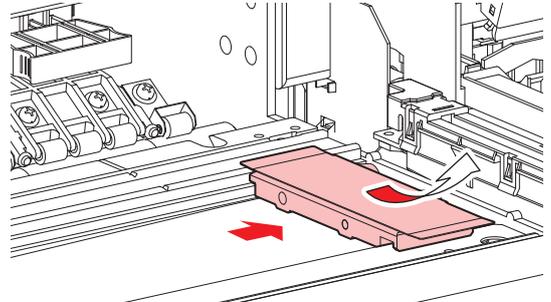
● 布メディア用

目の粗い布にプリントすると、インクの一部が布を通過しプラテンに付着します。

インク汚れが気になるときは、次のようにして付着したインクを水洗いしてください。(1週間に1回程度)

1 布押さえを外す

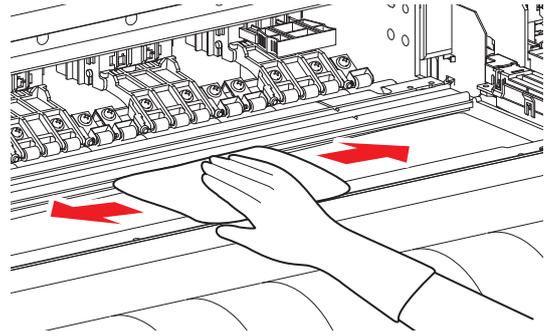
- 布押さえをプラテンの端までスライドさせ、取り外します。



2 プラテンを、水を含ませ強く絞ったタオルなどで拭き取る



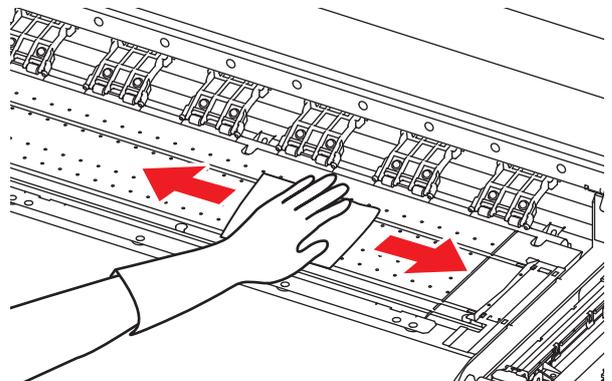
- 大量の水を直接プラテンに流さないでください。プラテンの外に大量の水があふれると、プリンタの故障の原因となります。



3 布押さえを取り付ける

● 紙メディア用

汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。



- インクが付着している場合は、メンテナンス液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。



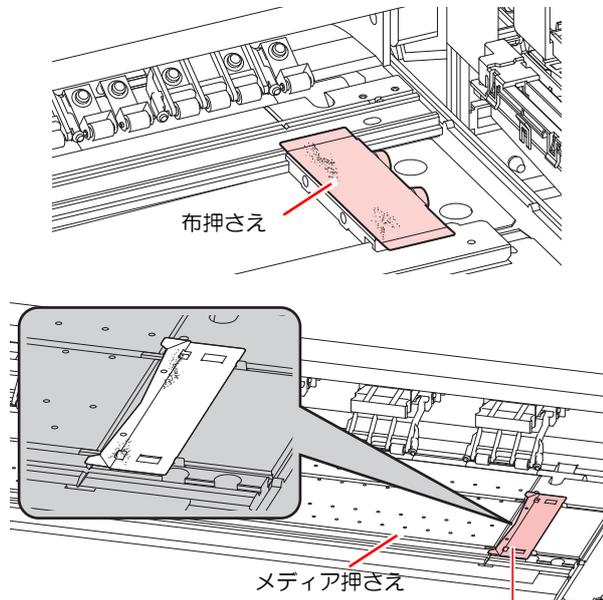
- メディア押さえ用の溝は特に汚れがたまりやすい場所です。入念な清掃をお願いします。

布押さえ・メディア押さえの清掃

布押さえ・メディア押さえに付着したインクなどの汚れを洗淨したいとき、取り外して洗淨できます。

布押さえ・メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、プリント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなることがあります。

布押さえ・メディア押さえは、定期的に清掃してください。



- 布押さえ、メディア押さえが変形、破損した場合は、新しいものに交換してください

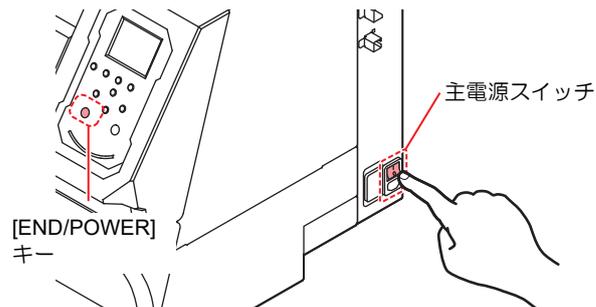
グリットローラーのお手入れ

グリットローラーに付着した前処理剤や繊維クズを樹脂ブラシで定期的に取り除いてください。

- 重要!**
- グリットローラーは定期的にお手入れを行ってください。
 - ご使用のメディア前処理剤によっては、グリットローラーに付着したまま放置しておくと、サビの原因となる場合があります。
 - グリットローラーにサビが発生すると、メディアを正常にフィードさせることができなくなる恐れがあります。

1 本機の電源を切る

- 電源スイッチを「O」側に倒します。



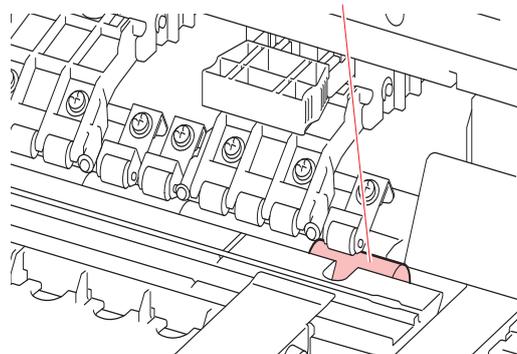
2 フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる

3 ブラシを使ってグリットローラーの表面をこすり、汚れを除去する

- 軽く数回グリットローラーの表面をこすってください。
- 指でグリットローラーの右側を回しながら全周をブラッシングしてください。
- 汚れたブラシ先端は、乾いた布で拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくい場合はブラシに水をつけてください。

- 重要!**
- グリットローラーのお手入れは、必ず樹脂ブラシで行ってください。布や紙などで拭くと凹凸部に繊維クズが付着してしまいます。また、硬い金属ブラシ等を使用すると、グリットローラーに傷を付けてしまいます。
 - 水を使ってブラッシングした後は、不要なメディアをフィードさせて水気を取ってください。

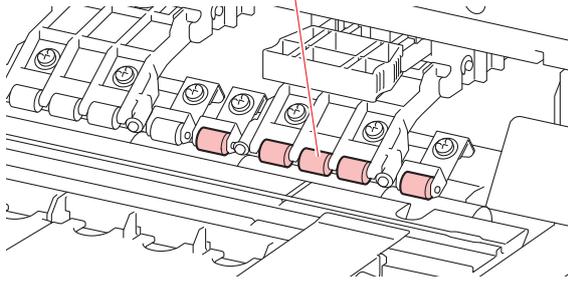
グリットローラー右側



4 ピンチローラ表面の汚れを除去する

- ピンチローラの表面を布等で拭いて、インク汚れを除去してください。

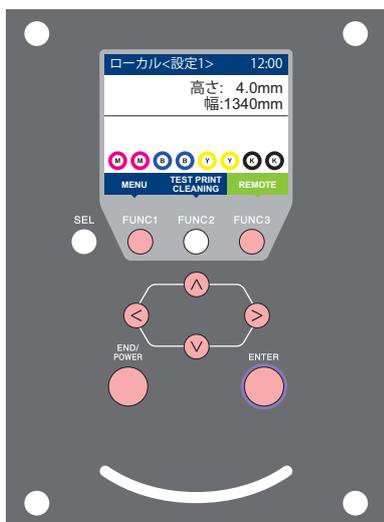
インク汚れを除去する



- ピンチローラは消耗品です。汚れがひどい場合、破損した場合は交換してください。(P.4-27)

メンテナンスメニューについて

本機のメンテナンスをするための各種設定です。
メンテナンス設定で設定できる内容は、次の項目です。



- FUNC1** : マシン設定メニューを選ぶとき、または、1つ前の画面に切り替えるときに押す
- FUNC2** : メンテナンス機能を使用するときを押す
- FUNC3** : 次の画面に切り替えるときに押す
- ↑** **↓** : 設定項目を選択するときを押す
- ENTER** : 設定を確定するときなどに押す

◆ メンテナンスメニュー一覧



◆ FUNC2キーを押したときの画面遷移



メンテナンスメニュー一覧表

項目	設定値	内容	
ステーションメンテ	キャリッジやステーション周辺のメンテナンスを行います。		
	キャリッジアウト (☞ P.4-10)	キャリッジを移動し、キャップ周辺やヘッド、ワイパー等の清掃を行います。	
	ノズル洗浄 (☞ P.4-12)	1～99min ノズル面をメンテナンス液で浸し、ノズル抜けや曲がり等の復旧を行います。	
	ポンプチューブ洗浄 (☞ P.4-14)	吸引ポンプチューブの洗浄を行います。	
	保管洗浄 (☞ P.4-15)	1～99min 本機を長期間使わないときに行います。あらかじめノズル洗浄と排路洗浄を行い、本機を快適な状態に保ちます。	
	ワイパー交換 (☞ P.4-23)	ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー交換を行うと、本機で管理されていたワイパー使用回数がリセットされます。	
ノズルリカバリ (☞ P.4-19)	ノズル洗浄等をしていてもノズル抜け等が復旧しない場合、他のノズルを使用してプリントします。		
	プリント	パターンをプリントし、ノズル詰まりを起こしているノズルを確認します。	
	登録	“プリント”で確認した不良ノズルを登録します。	
	リセット	登録した不良ノズルをリセットします。	
	チェック	登録された不良ノズルがリカバリ可能かチェックします。	
	テストプリント	ON/OFF テストプリント時にノズルリカバリ機能の設定を行うか選びます。	
オートメンテナンス (☞ P.4-21)	各種メンテナンス機能を自動的に実行します。各々のメンテナンス実行間隔を設定してください。		
	リフレッシュ	お使いのインク種によって、設定値が異なります。	リフレッシュ動作の間隔を設定します。
	ポンプチューブ洗浄		排路洗浄の動作間隔を設定します。
	クリーニング	間隔	ヘッドクリーニングの動作間隔を設定します。
タイプ		ノーマル/ハード*1 ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。	
インク充填 (☞ P.4-22)	インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。		
廃インクタンク交換 (☞ P.4-24)	廃インクタンクの使用カウントをリセットまたは補正します。		

*1. 反応染料インク Rc400、Rc500 をお使いの場合は、“ソフト”も設定可能です。

キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。(ステーションメンテナンス)

重要! ・ノズル状態を正常に保つため、ワイパーの清掃はこまめに実施してください。

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。

- ・ワイパー : ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- ・インクキャップ : ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。

ヘッドクリーニングを実行(☞ P.2-30)しても、ノズル抜けが解消されない場合は、メンテナンス液とクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	
<ul style="list-style-type: none"> ・03 メンテナンス液キット (品番:ML003-Z-K1) ・12 メンテナンス液キット (品番:C-ML012-Z-K1-1-KW : 捺染顔料インク "TP400" を含むハイブリッド用) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンスティック (品番:SPC-0527) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・手袋 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護メガネ



- ・キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、[FUNC1]キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-10 手順 1~2)

ワイパーとキャップの清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

W ワイパーを清掃する場合も、下記の手順のとおりに行ってください。

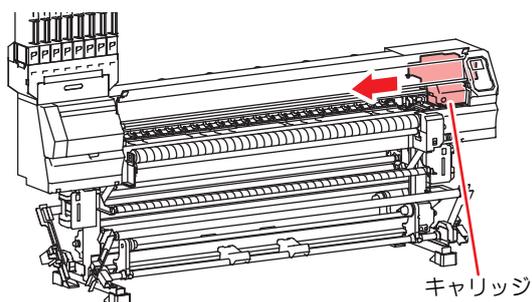
- 重要!**
- ・ワイパーの汚れ、曲がりなどがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。(☞ P.4-23)
 - ・清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

1 ローカルで、**[FUNC1] (MENU) → [ENTER]** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ENTER]** キーを2回押す

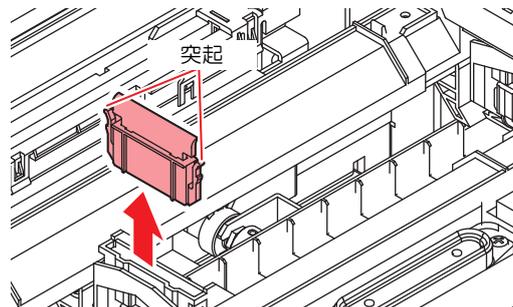
- ・キャリッジがプラテン上に移動します。



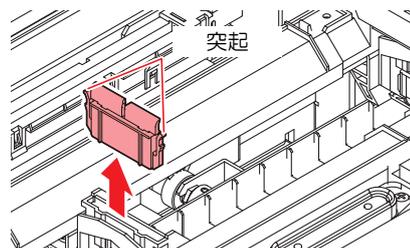
3 フロントカバーを開ける

4 ワイパーを取り出す

- ・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

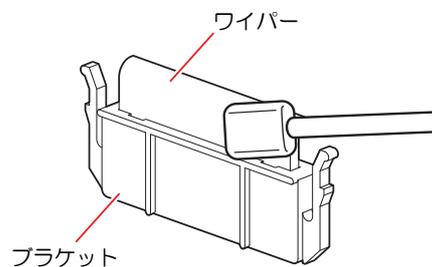


- ・W ワイパーの場合

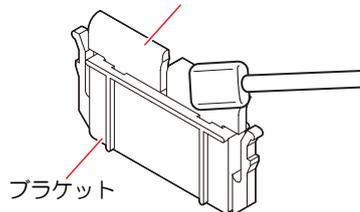


5 ワイパーとブラケットを清掃する

- ・ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。

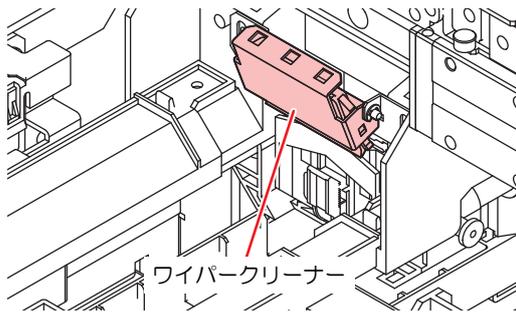


- ・W ワイパーの場合
ワイパー



6 ワイパークリーナーを清掃する

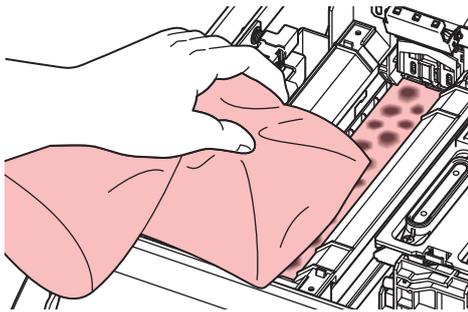
- ワイパークリーナーに付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



ワイパークリーナー

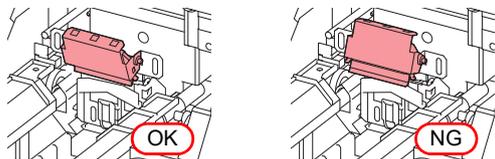


- 吸収材ケースの中に、大量のインクが入っている場合、吸水ペーパー等で吸い取ってください。



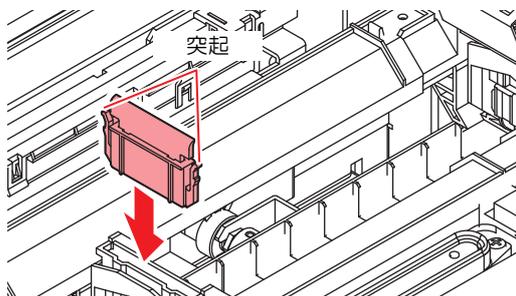
注意

- ワイパークリーナーはブラケットから取り外さないでください。
- ワイパークリーナーのワイパーは、表面のみ清掃します。(裏面は清掃の必要はありません)
- 吸収材ケースの中の吸収材は、取り外さないでください。
- ワイパークリーナー清掃後は、クリーナーが上を向いていないことを確認してください。



7 ワイパーを元の位置に戻す

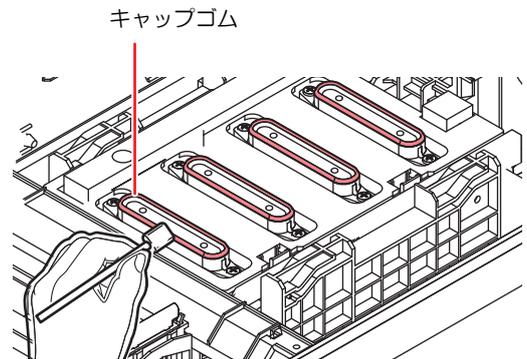
- ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



突起

8 キャップゴムを清掃する

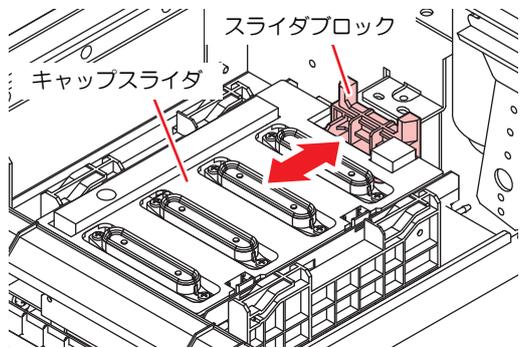
- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。



キャップゴム

重要!

- キャップゴム清掃後、キャップスライダが傾いていないか確認します。傾いている場合、スライダブロックを左右へ動かして、傾きを直します。



スライダブロック

キャップスライダ

9 清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

10 フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

- 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

キャップ吸収材の清掃

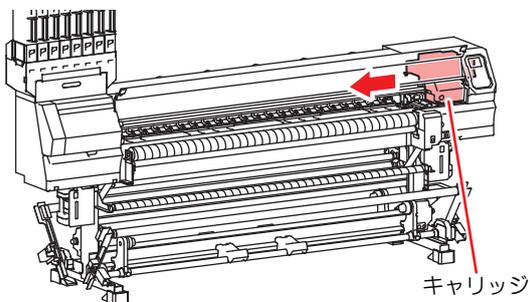
画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す

・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **ENTER** キーを2回押す

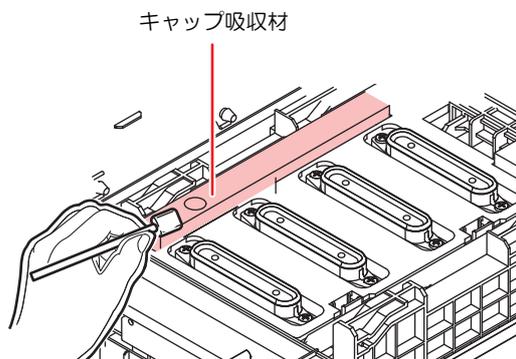
・キャリッジがプラテン上に移動します。



3 フロントカバーを開ける

4 キャップ吸収材を清掃する。

・キャップ吸収材に付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティック、または不織布タオルで拭き取ります。
 ・メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。



5 清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

6 フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す
 ・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

ヘッドノズルの洗浄

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す

・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **ENTER** キーを回押す

・“ステーションメンテ”が選択されます。

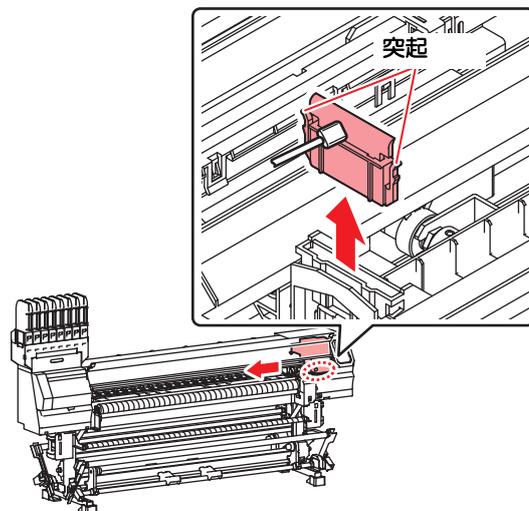
3 **ENTER** キーを押す

4 **ENTER** キーを押す

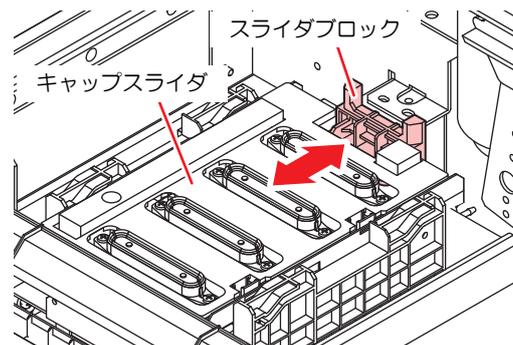
5 ディスプレイに“ワイパークリーニング”の表示が出たら、フロントカバーを開ける

6 ワイパーとブラケットを清掃し、**ENTER** キーを押す

- (1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス液を含ませて清掃する
 ・メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



重要! ・ワイパー清掃後、キャップスライダが傾いていないか確認します。
 傾いている場合、スライダブロックを左右へ動かし、傾きを直します。



7 キャップゴムの清掃が完了したら、フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排路が洗浄されます。

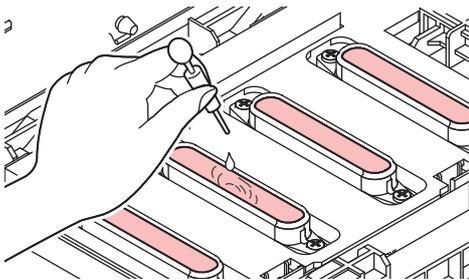
8 メンテナンス液が、キャップ一杯に満たされる

- 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的にメンテナンス液をキャップに満たします。
- メンテナンス液がキャップいっぱいになると、ディスプレイにメンテナンス液確認の指示が表示されます。

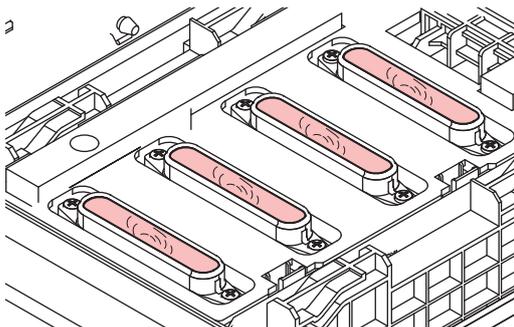
- 重要!** フロントカバーが閉まっていないと、自動的にメンテナンス液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。



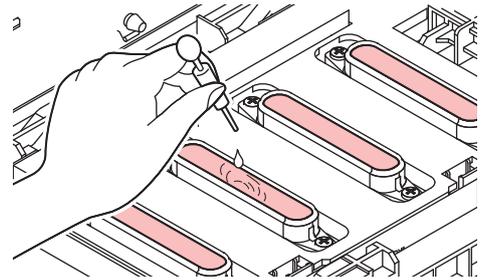
- 洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的にメンテナンス液がキャップに満たされません。フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。メンテナンス液を満たしたら、手順9からの操作をしてください。



9 メッセージが表示されたら、フロントカバーを開け、キャップに満たされているメンテナンス液の量を確認する



- 重要!** メンテナンス液がキャップいっぱいになっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。



10 フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

11 **▲▼** を押してメンテナンス液の放置時間を設定し、**ENTER** キーを押す

- 設定値 : 1 ~ 99 分 (1 分単位)
- キャップに満たしたメンテナンス液を吸引します。
- 設定した時間が経過するまで、ディスプレイには“しばらくお待ちください”が表示されます。

- 重要!** ノズルリカバリ (P.4-19) やこの洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。

インク排出路の洗浄

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的に(1週間に1回程度)インク排出路の洗浄をしてください。

- 重要!** ・インク排出路の洗浄を行う前に、必ずメンテナンス液がセットされていることを確認してください。メンテナンス液がセットされていないと、洗浄動作をせず、経路が詰まる恐れがあります。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) → (▼) → (ENTER)** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **(ENTER)** キーを押す

- ・“ステーションメンテ”が選択されます。

3 **(▲) (▼)** を押して“ポンプチューブ洗浄”を選び、**(ENTER)** キーを押す

4 **(▲) (▼)** を押して洗浄するヘッドを選び、**(ENTER)** キーを押す

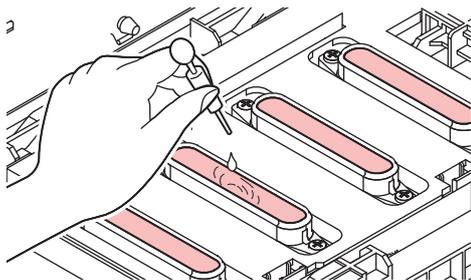
5 メンテナンス液が、キャップ一杯に満たされる

- ・洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的にメンテナンス液をキャップに満たします。

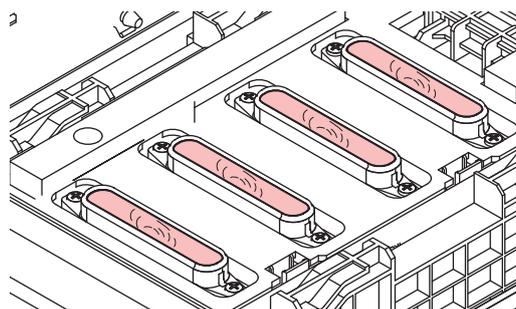
- 重要!** ・フロントカバーが閉まっていないと、自動的にメンテナンス液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。



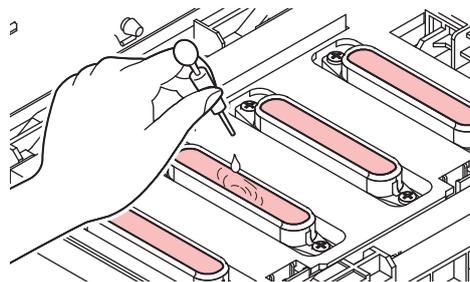
- ・洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的にメンテナンス液がキャップに満たされません。フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。メンテナンス液を満たしたら、手順7からの操作をしてください。



6 終了メッセージが表示されたら、フロントカバーを開け、キャップに満たされているメンテナンス液の量を確認する



- 重要!** ・メンテナンス液がキャップいっぱいになっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。



7 フロントカバーを閉め、**(ENTER)** キーを押す

長期間使用しない場合

1週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。

- 重要!**
- ・主電源は、常時「オン」でお使い下さい。ヘッドのノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が自動的に働きます。
 - ・主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

事前に確認してください

[ニアエンド],[インクエンド]は表示していませんか？

- ・洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。
- ・インクエンド等、未検出のインク IC チップに交換してください。



- ・ワーニングメッセージ「廃インクタンク確認」が表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-24 「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU) →** **ENTER** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **ENTER** キーを押す

- ・“ステーションメンテ”が選択されます。

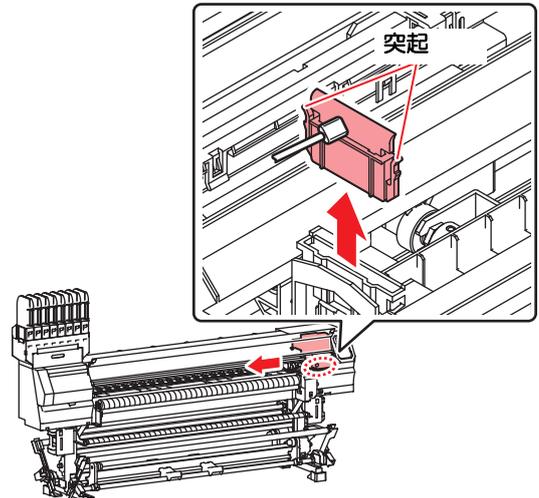
3 **▲ ▼** を押して“保管洗浄”を選び、**ENTER** キーを押す

- ・キャリッジがプラテン上に移動します。

4 ディスプレイに“ワイパークリーニング”の表示が出たら、フロントカバーを開ける

5 ワイパーとブラケットを清掃する

- (1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
- (2) クリーンスティックにメンテナンス液を含ませて清掃する
メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- (3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む

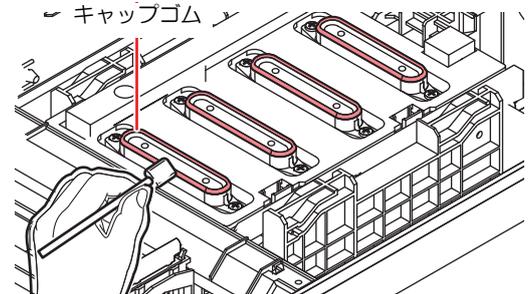


6 **ENTER** キーを押す

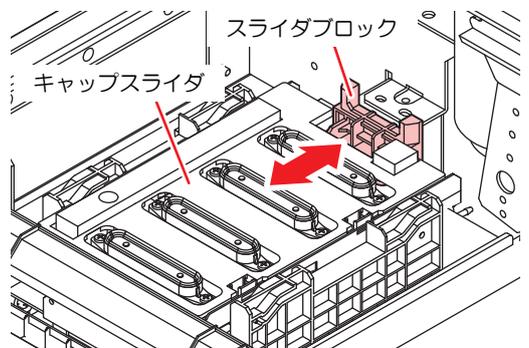
- 重要!**
- ・キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには“終了”が表示されます。手順5の作業が完了してから **[ENTER]** キーを押してください。クリーニングが終了する前に **[ENTER]** キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

7 キャップゴムを清掃する

- ・キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- ・メンテナンス液は、残らないように拭き取ってください。
- ・このとき、自動的に排路が洗浄されます。



- 重要!**
- ・キャップゴム清掃後、キャップスライダが傾いていないか確認します。傾いている場合、スライダブロックを左右へ動かし、傾きを直します。



8 フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

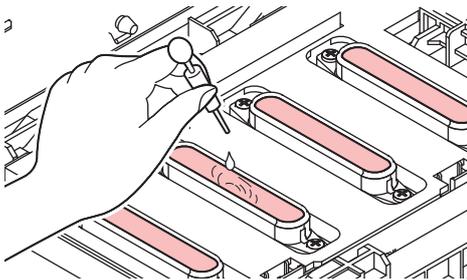
9 メンテナンス液が、キャップ一杯に満たされる

- 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的にメンテナンス液をキャップに満たします。
- メンテナンス液がキャップいっぱいになると、ディスプレイにメンテナンス液確認の指示が表示されます。

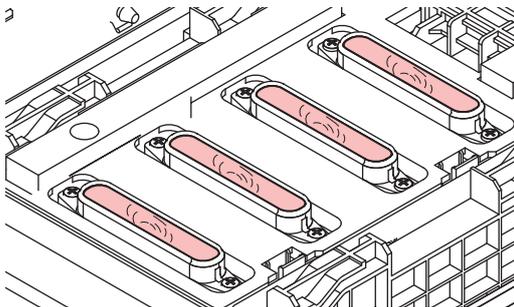
重要! フロントカバーが閉まっていないと、自動的にメンテナンス液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。



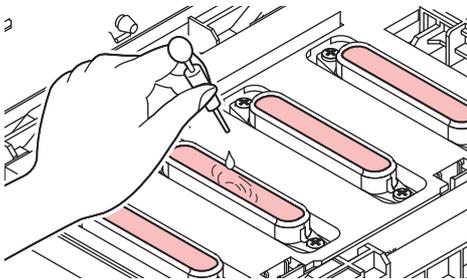
- 洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的にメンテナンス液がキャップに満たされません。フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。メンテナンス液を満たしたら、手順 11 からの操作をしてください。



10 メッセージが表示されたら、フロントカバーを開け、キャップに満たされているメンテナンス液の量を確認する



重要! メンテナンス液がキャップいっぱいになっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。



11 フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す

12 **▲** **▼** を押して、メンテナンス液の放置時間を

- 設定値 : 1 ~ 99 分 (1 分単位)

13 **ENTER** キーを押す

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがメンテナンス位置に移動します。

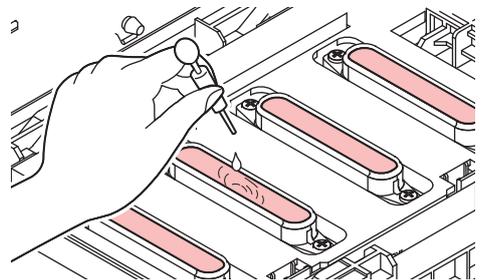
14 メンテナンス液が、キャップ一杯に満たされる

- 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動的にメンテナンス液をキャップに満たします。

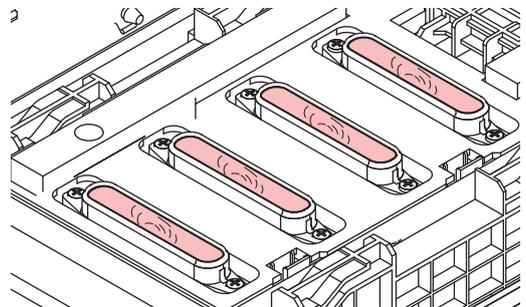
重要! フロントカバーが閉まっていないと、自動的にメンテナンス液が満たされません。フロントカバーが開いている場合は、必ず閉めてください。



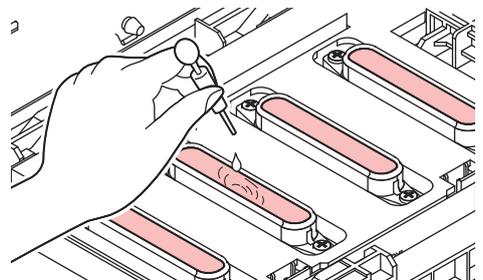
- 洗浄液カートリッジが有効でない場合は、自動的にメンテナンス液がキャップに満たされません。フロントカバーを開け、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。メンテナンス液を満たしたら、手順 16 からの操作をしてください。



15 終了メッセージが表示されたら、フロントカバーを開け、キャップに満たされているメンテナンス液の量を確認する



重要! メンテナンス液がキャップいっぱいになっていない場合は、スポイトを使ってメンテナンス液をキャップからあふれる寸前まで満たしてください。



16 フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

- 初期動作後、手順 2 の表示に戻ります。

ヘッド周辺のメンテナンス

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具

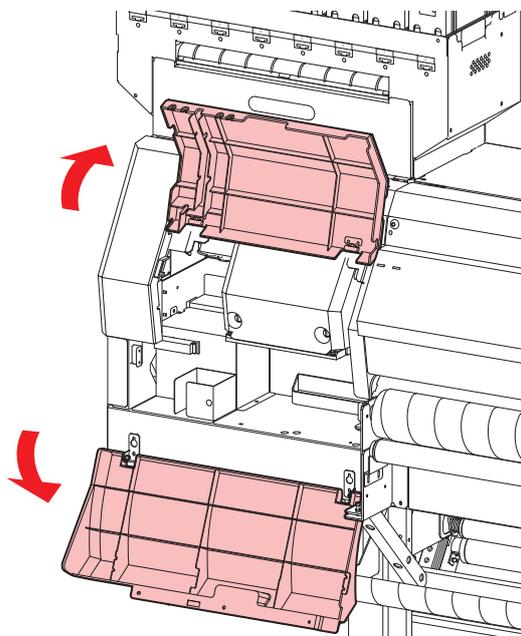
・クリーンスティック	・手袋
・保護メガネ	



- ・清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- ・インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

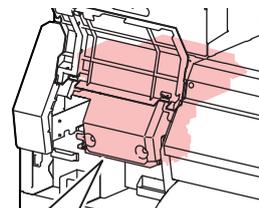
ヘッド周辺を清掃する

- ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- (ENTER)** キーを2回押す
・“キャリッジアウト”が選択されます。
- (▲)** **(▼)** を押して“ヘッドメンテ”を選び、**(ENTER)** キーを押す
・キャリッジが本機の左側に移動します。
- メンテナンスカバーを開く



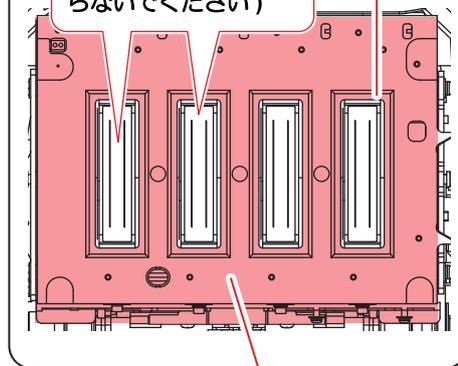
5 ヘッドの側面、スライダ底面、キャリッジ底面を清掃する

- ・ヘッドの側面、スライダ底面、キャリッジ底面に溜まったインクを、メンテナンス液を含ませたクリーンスティック、または不織布タオルで拭き取ります。
- ・ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



ヘッドの側面をクリーンスティックで清掃します。

ノズル部分 (絶対に触らないでください)



クリーンスティックまたは不織布タオルで清掃します。

- 清掃が終了したら、**(ENTER)** キーを押す
- メンテナンスカバーを閉じ、**(ENTER)** キーを押す
・初期動作後、ローカルに戻ります。

ヘッドノズル面の縁を清掃する

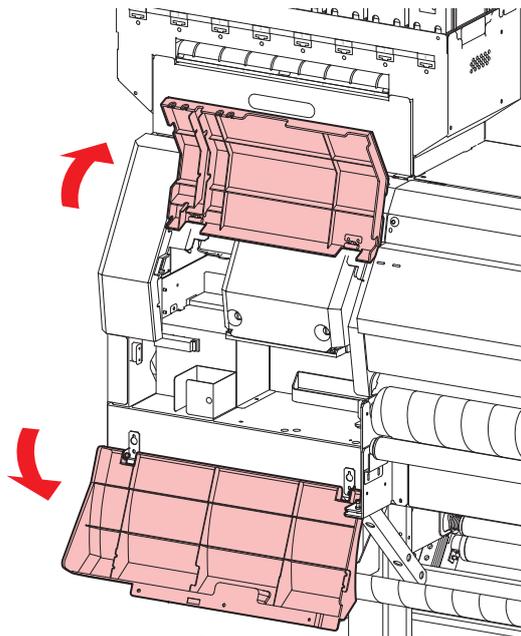
ハイブリッドインク (Sb411+Sb420, Sb411+TP400) をお使いの場合に清掃してください。ヘッドノズル面の縁はインクが付着・固着することがあり、印刷不良の原因になることがありますので、クリーンスティックで拭き取ってください。

- ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- (ENTER)** キーを2回押す
・“キャリッジアウト”が選択されます。

3 ▲▼ を押して“ヘッドメンテ”を選び、
ENTER キーを押す

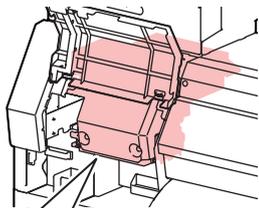
・キャリッジが本機の左側に移動します。

4 メンテナンスカバーを開く



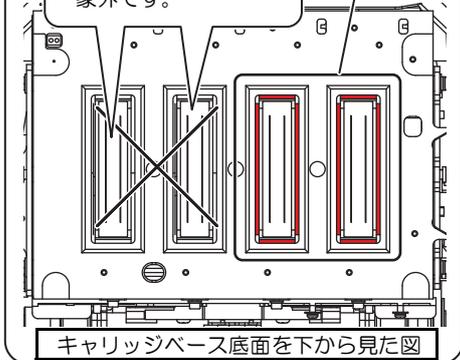
5 ヘッドノズル面の縁をクリーンスティックで清掃する

- ・ヘッド 3,4 のヘッドノズル面の縁 (下図の斜線部分) に溜まったインクをメンテナンス液を含ませたクリーンスティックで拭きとります。
- ・ヘッド 1,2 は清掃の対象外です。
- ・ノズル部分は、絶対に触れたりこすったりしないでください。



ヘッド 3,4 のヘッドノズル面の縁 (赤い部分) をクリーンスティックで清掃します。

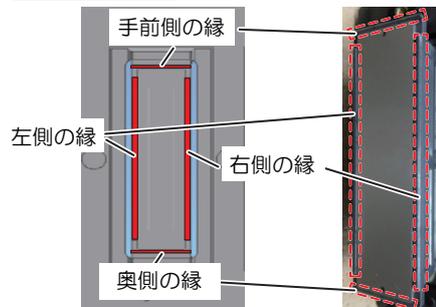
ヘッド 1,2 は清掃の対象外です。



重要!

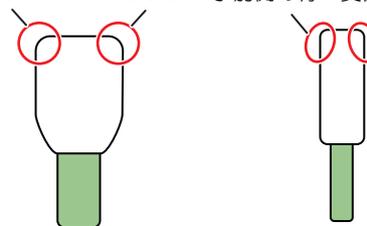
- ・メンテナンス液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。(P.4-3)
- ・クリーンスティックの汚れた部分を他の縁に使用しないでください。
- ・右側、左側、手前側、奥側の順にそれぞれクリーンスティックを2~3回往復させ、清掃します。
- ・クリーンスティックの各箇所を下図のように使用すると効果的です。

ヘッドノズル



クリーンスティックの使用箇所

右側の縁 左側の縁 手前側の縁 奥側の縁



6 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

7 メンテナンスカバーを閉じ、ENTER キーを押す

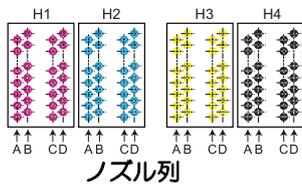
・初期動作後、ローカルに戻ります。

ノズルリカバリ機能

特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用(ノズルリカバリ)してプリントすることができます。

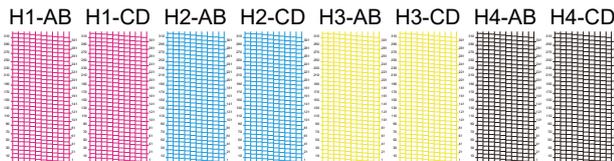
- 1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **▼** → **ENTER** キーを押す
 - ・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **▲▼** を押して“ノズルリカバリ”を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **ENTER** キーを2回押す
 - ・ノズルパターンのプリントを開始します。
 - ・“登録”を選択すると、プリントをしないで、ノズル列選択手順(手順4)に移ります。

ヘッドを上から見た図



ノズル列

ヘッド1のノズルパターン

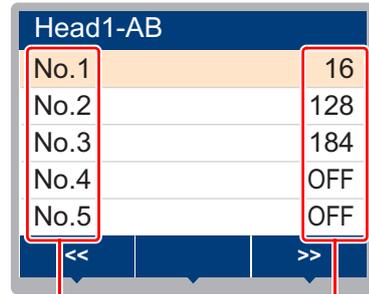


重要! ・リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上の幅のメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中までしかプリントされません。

- 4 **▲▼** を押してノズルリカバリをするノズル列を選び、**ENTER** キーを押す



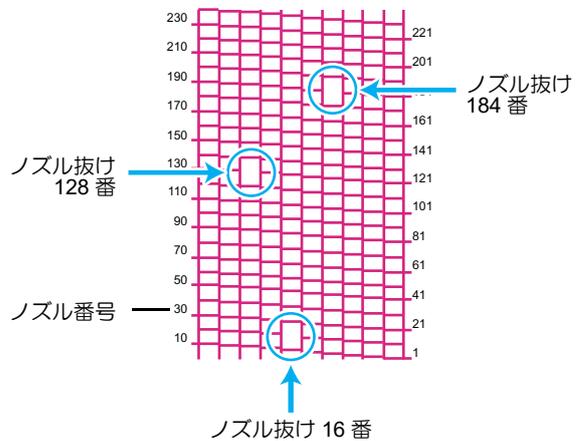
- 5 リカバリが必要なノズル番号を登録し、**ENTER** キーを押す
 - (1) **▲▼** を押して登録番号 (1~10) を選択し、**ENTER** キーを押します。
 - (2) **▲▼** を押してリカバリするノズル番号を登録し **ENTER** キーを押します。



リカバリノズル番号または OFF

登録番号：1~10

リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする
3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

- 6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

重要! ・1 ノズル列あたり 10 個までノズルを登録できます。
 ・本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
 ・最低パスでプリントをした場合は、ノズルリカバリが反映されません。

設定値をリセットする

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** → **ENTER** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **▲** **▼** を押して“ノズルリカバリ”を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲** **▼** を押して“リセット”を選び、**ENTER** キーを押す
- 4 **▲** **▼** と **FUNC1** (<<) **FUNC3** (>>) を押してリセットするノズル列を選び、**ENTER** キーを押す
・リセット確認のメッセージが表示されます。
- 5 **ENTER** キーを押す
- 6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

リカバリできない条件を確認する

- 1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **▼** → **ENTER** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **▲** **▼** を押して“ノズルリカバリ”を選び、**ENTER** キーを押す
- 3 **▲** **▼** を押して“チェック”を選び、**ENTER** キーを押す
・判定条件入力画面が表示されます。

判定条件	
解像度	720 x 720
パス	8
スキャン速度	標準
MAPS4	>
重ね塗り	1



・ハイブリッド機能により2種類のインクをご使用の場合には、チェックするインク種類を選択してください。

判定条件	
インク選択	
:Sb420	

4 判定条件の各項目を、現在お使いの状態に合わせる

- (1) **▲****▼** を押して変更する項目を選び、**ENTER** キーを押す
- (2) **▲****▼** を押して設定値を変更し、**ENTER** キーを押す
- (3) (1)(2) を繰り返し、全ての項目を設定する

5 **FUNC2** キーを押す

- ・設定したプリント条件でノズルリカバリできるか、チェックを始めます。
- ・チェックが終わると、画面に判定結果が表示されます。

ノズルリカバリ可能な場合

判定結果	
判定結果	OK

ノズルリカバリ不可能な場合

判定結果	
判定結果	NG
HEAD1-AB	1
HEAD1-CD	0
HEAD2-AB	0
HEAD2-CD	2
判定結果	
HEAD3-AB	1
HEAD3-CD	0
HEAD4-AB	0
HEAD4-CD	0

ヘッド番号とノズル列

リカバリできないノズル数

6 終了するとき、**END/POWER** キーを数回押す

テストプリント時にノズルリカバリを有効にするか設定する

以下の設定を“ON”にし、かつP.4-19「ノズルリカバリ機能」でリカバリするノズル番号を登録しておけば、テストプリントをする(☞P.2-29)ときにノズルリカバリ機能が有効になります。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **(▲)** **(▼)** を押して“ノズルリカバリ”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 3 **(▲)** **(▼)** を押して“テストプリント”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 4 **(▲)** **(▼)** を押して ON/OFF を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。

ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。

定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。

(オートメンテナンス機能)

オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

- 重要!**
- ・手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。
 - ・オートメンテナンス機能をお使いになるときは、必ずメンテ動作を定期的に行わず、経路が詰まる恐れがあります。

機能名	説明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
ポンプチューブ洗淨	排路洗淨の動作間隔を設定します。
クリーニング (間隔)	クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング (タイプ)	クリーニングタイプを設定します。
ノズル洗淨	動作の設定を変更することはできません。

- 重要!**
- ・ワーニングメッセージ“! 廃インクタンク”が表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じてP.4-24の操作をしてください。
 - ・装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。
 - ・ハイブリッドの場合、使用していないヘッドも定期的にクリーニングされるためインクを消費いたします。

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **(▲)** **(▼)** を押して“オートメンテナンス”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 3 **(ENTER)** キーを押す
・“リフレッシュ”が選択されます。
- 4 **(▲)** **(▼)** を押してリフレッシュ間隔を設定し、**(ENTER)** キーを押す
・設定値：お使いのインク種によって、設定値が異なります。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

チューブ洗浄間隔を設定する

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、インク排出路の洗浄を行う間隔を設定します。

- 重要!** オートメンテナンス機能のチューブ洗浄を行うには、必ずメンテナンス液がセットされている必要があります。メンテナンス液がセットされていないと、チューブ洗浄の動作を定期的に行わず、経路が詰まる恐れがあります。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **(▲)** **(▼)** を押して“オートメンテナンス”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 3 **(▼)** を押し、**(ENTER)** キーを押す
・“ポンプチューブ洗浄”が選択されます。
- 4 **(▲)** **(▼)** を押してチューブ洗浄をする間隔を設定し、**(ENTER)** キーを押す
・設定値：お使いのインク種によって、設定値が異なります。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

クリーニング間隔とタイプを設定する

クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **(▲)** **(▼)** を押して“オートメンテナンス”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 3 **(▼)** を数回押しして“間隔”または“タイプ”を選択し、**(ENTER)** キーを押す
- 4 **(▲)** **(▼)** を押して設定値を選び、**(ENTER)** キーを押す
・設定値：お使いのインク種によって、設定値が異なります。
・タイプの設定値：ノーマル/ハード
 ・反応染料インク Rc400、Rc500 をお使いの場合は、“ソフト”も設定可能です。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

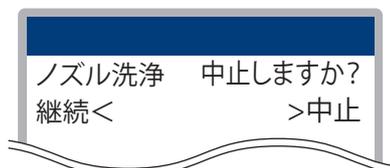
ノズル洗浄を中断する

ノズル洗浄中にプリントなどの作業をしたいときに、ノズル洗浄を中断することができます。

-  ・ノズル洗浄を中断した場合は、設定済みの洗浄時間を待たずにヘッドクリーニングを実行します。

- 1 ノズル洗浄実施中に、**(END/POWER)** キーを押す

- ・ノズル洗浄中止の選択画面が表示されます。



- 2 **(▶)** を押して“中止”を選ぶ

- ・ノズル洗浄を中止し、ヘッドクリーニング(ノーマル)を始めます。
・ヘッドクリーニングが終了しローカルに戻ったら、プリントなどの作業を行ってください。

-  ・そのままノズル洗浄を継続したい場合は、**(◀)**(継続)を選んでください。
・反応染料インク Rc400、Rc500 をお使いの場合は、ノズル洗浄中止後、ソフトクリーニングを始めます。

インク充填

インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。

- 1 ローカルで、**(FUNC1) (MENU)** → **(▼)** → **(ENTER)** キーを押す
・メンテナンスメニューが表示されます。
- 2 **(▲)** **(▼)** を押して“インク充填”を選び、**(ENTER)** キーを押す
- 3 **(▲)** **(▼)** を押して充填するヘッドを選び、**(ENTER)** キーを押す
- 4 **(ENTER)** キーを押す
・自動的にインク充填を開始します。
- 5 終了するとき、**(END/POWER)** キーを数回押す

消耗品の交換

部品の汚れがひどい場合や、破損、変形した場合は、サプライ品をご利用ください。

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。

消耗品は、弊社ウェブサイトにてご覧になれます。

<https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html>

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。ディスプレイにワーニングメッセージ“ワイパー交換”が表示されたら、速やかにワイパーを確認・交換してください。W ワイパーを交換する場合も、下記の手順のとおりに交換してください。

また、スライダ下面に付着したインクの清掃をしてください。

機種とインクセットの組み合わせによって使用するワイパーが異なります。下記の表に従ってワイパーを交換してください。

機種	インクセット	使用ワイパー	
		品番	品名
Tx300P-1800	---	SPA-0271	ワイパーキット 300TS
Tx300P-1800 MkII	下記以外	SPA-0271	ワイパーキット 300TS
	Sb411+TP400/ Sb411+Sb420	SPA-0313	ワイパーキット 300Tx-II



必ず使用条件に適合したワイパーをご使用ください。適合しないワイパーをご使用になられた場合、ノズル抜けが発生する可能性があります。

重要!

ワイパー交換のワーニングが表示された場合、ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ち等がないか確認してください。ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちがない場合は、そのままお使いになれます。

ワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** → **ENTER** キーを押す

・メンテナンスメニューが表示されます。

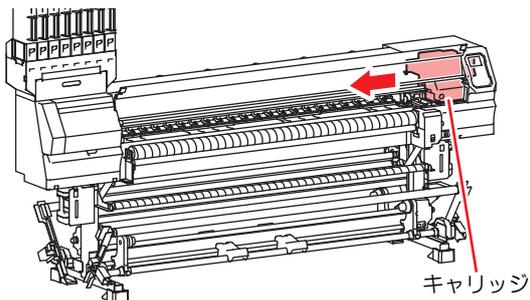
2 **ENTER** キーを押す

・“ステーションメンテ”が選択されます。

3 **▲ ▼** を押して“ワイパー交換”を選び、**ENTER** キーを押す

4 **ENTER** キーを押す

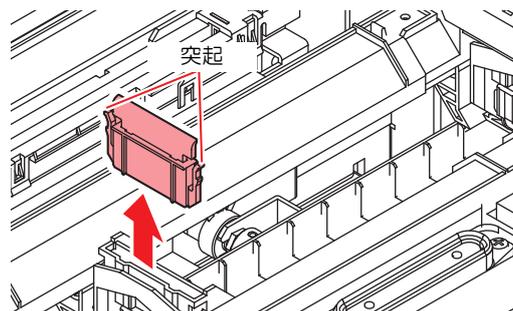
・キャリッジがプラテン上に移動します。



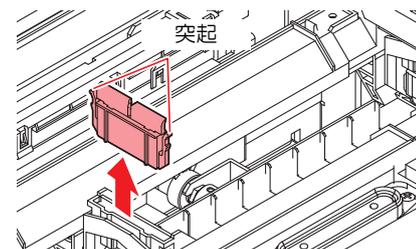
5 フロントカバーを開ける

6 ワイパーを取り出す

・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

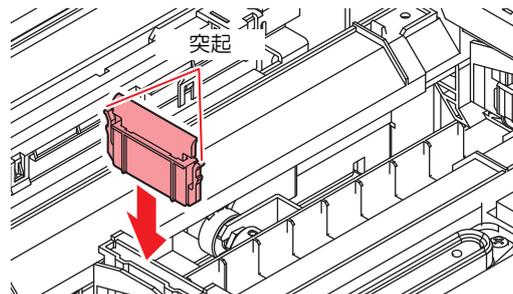


・W ワイパーの場合

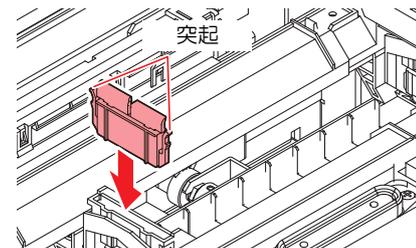


7 新しいワイパーを差し込む

・ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。



・W ワイパーの場合



8 フロントカバーを閉じ、**ENTER** キーを押す

・初期動作後、ローカルに戻ります。

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機の右下にある廃インクタンクにたまります。本機では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージが表示されます。(廃インクタンク交換の目安としてお使いください。)



• 本体右下の2L タンクの80%(1.6L)でメッセージが表示されます。

重要!

• 左側の廃インクタンクではインクなどの排出量を累積カウントしていません。タンクに汚水が80%以上溜まって、メッセージは表示されません。こまめに左側タンクの汚水量を確認し、汚水が溜まっていたら廃棄してください。

ローカルでの確認メッセージ

1 ディスプレイにワーニングメッセージ“廃インクタンク確認”が表示される

2 廃インクタンクを確認する

- 実際の量と誤差がある場合は、手順3以降の操作をしてください。
- 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換(廃棄処分)する場合は、「廃インクタンクを交換する」の手順を実行してください。(P.4-24)

3 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

4 **▲ ▼** を押して“廃インクタンク交換”を選び、**ENTER** キーを押す

5 廃インク量の調整が必要な場合、**ENTER** キーを押す

6 **▲ ▼** を押してレベルを調整し、**ENTER** キーを押す

7 **ENTER** キーを押す

廃インクタンクを交換する

廃インクタンクがいっぱいになった場合は、次の作業をして廃インクタンクを交換し、メンテナンスメニューで廃インク情報を0%に設定してください。

廃インクタンク確認メッセージが表示される前(2Lタンクの80%(1.6L)に達する前)に廃インクタンクを交換する場合も、同様の作業をして廃インクタンクを交換してください。

1 ローカルで、**FUNC1 (MENU)** キーを押す

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **▲ ▼** を押して“廃インクタンク交換”を選び、**ENTER** キーを押す

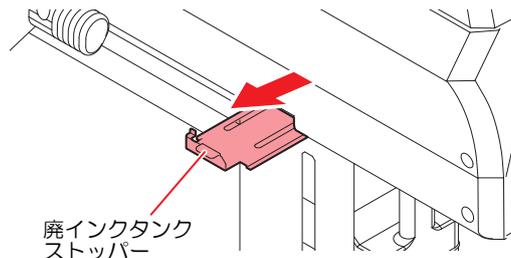
- 廃インクタンク情報を表示させる

3 **▲ ▼** を押してレベルを調整し、**ENTER** キーを押す

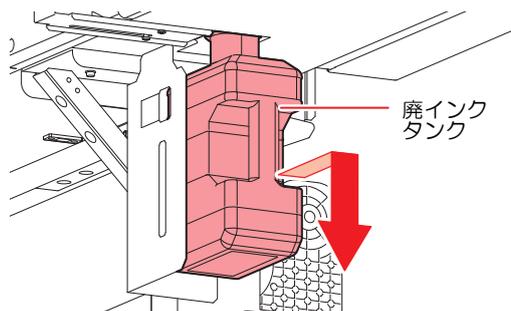
4 **ENTER** キーを押す

- 本機で管理している廃インクタンク量がリセットされます。

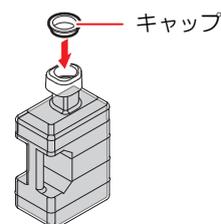
5 廃インクタンクストッパーを手前に引く



6 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引いて取り出す

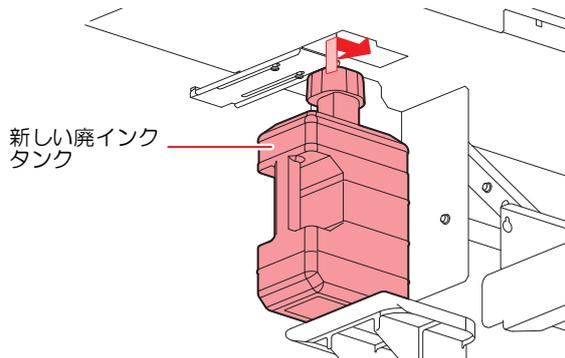


• 取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。



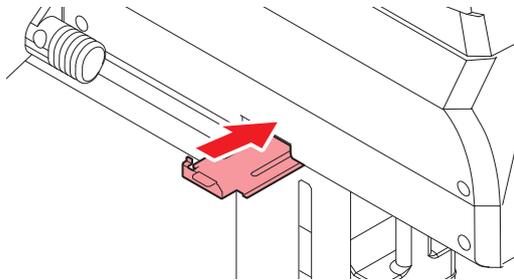
7 廃インクタンクを交換する

- (1) 新しい廃インクタンク (品番 : SPA-0246) を用意する
- (2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、差し込む



・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

8 廃インクタンクストッパーを閉じる



9 **ENTER** キーを押す

- ・本機で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

キャップ吸収材を交換する

CP 吸収材キット (品番 : SPA-0314) を交換する。

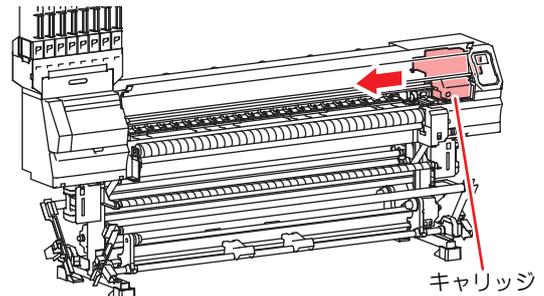
ローカルまたはガイダンスにワーニングメッセージ "キャップ吸収材 交換" が表示されたら、CP 吸収材キット (品番 : SPA-0314) を交換してください。

1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す

- ・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **ENTER** → **FUNC3** (>>) → **ENTER** キーを押す

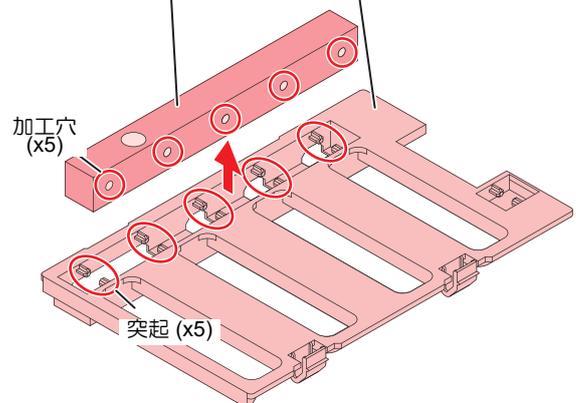
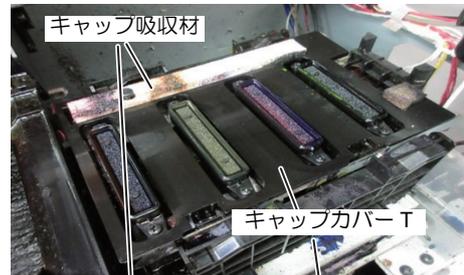
- ・"キャップ吸収材 交換" が選択されます。
- ・キャリッジがプラテン上に移動します。



3 フロントカバーを開ける。

4 CP 吸収材キットを外す。

- ・キャップカバーTの突起からキャップ吸収材の加工穴を外し、取り外します。



5 新しい CP 吸収材キットを取り付ける。

- ・キャップカバーTの突起にキャップ吸収材の加工穴を合わせ、取り付けます。
- ・キャップ吸収材が平らであることを確認します。
- ・キャップ吸収材を上引っ張り、浮き上がりや外れないことを確認します。

6 交換が終了したら、**ENTER** キーを押す。

7 フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す。
 ・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

CP パッドセット (品番: SPA-0269) を交換する。

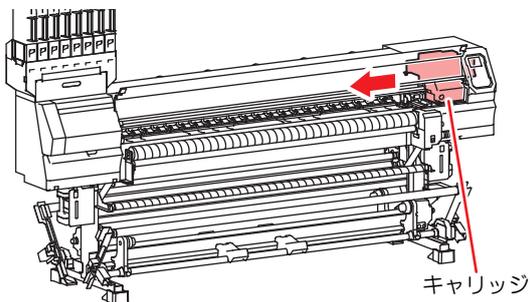
CP パッドセット (品番: SPA-0269) は消耗品です。汚れがひどい場合やキャリッジからインクがポタ落ちする場合は、交換してください。

1 ローカルで、**FUNC1** (MENU) → **ENTER** キーを押す

・メンテナンスメニューが表示されます。

2 **ENTER** キーを2回押す

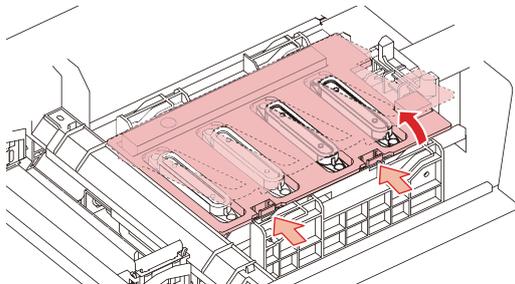
・キャリッジがプラテン上に移動します。



3 フロントカバーを開ける。

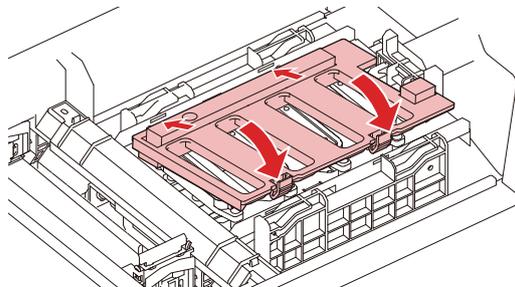
4 CP パッドセットを外す。

・手前にあるツメ (2箇所) を外し、引き抜きます。



5 新しいCP パッドセットを取り付ける。

・奥の突起に切り欠きを合わせ、取り付けます。



6 交換が終了したら、**ENTER** キーを押す。

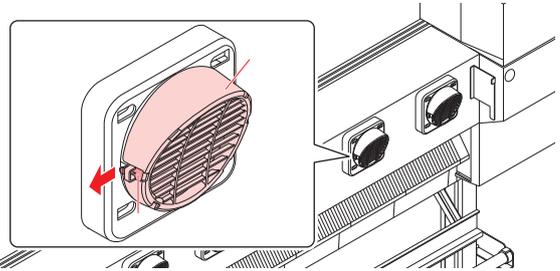
7 フロントカバーを閉め、**ENTER** キーを押す。
 ・初期動作後、手順1の表示に戻ります。

ファンフィルターを交換する

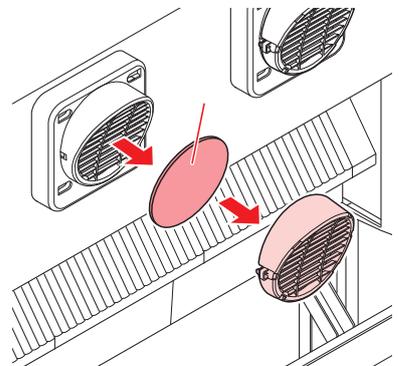
ファンフィルタ (品番: SPA-0774) が汚れた場合、交換してください。

1 トップフロアのファンフィルタカバーを外す。

・ファンフィルタカバーのツメを外側に押し広げ、カバーを手前に引っぱります。

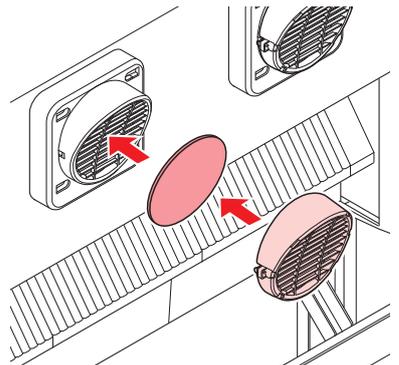


2 吹付ファンフィルタを取り外す。



3 新しい吹付ファンフィルタを取り付け、ファンフィルタカバーを元に戻す。

・ファンフィルタカバーは、カチッと音がするまで確実にはめ込みます。



ピンチローラーを交換する

ピンチローラー(品番:SPA-0275)の摩耗や汚れが気になるときに交換してください。



- ピンチローラーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
- それぞれの部品が小さいため、装置のすき間に落下させないよう、注意してください。



- 装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある[END/POWER]キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

1 [END/POWER]キーを長押ししてOFFにする

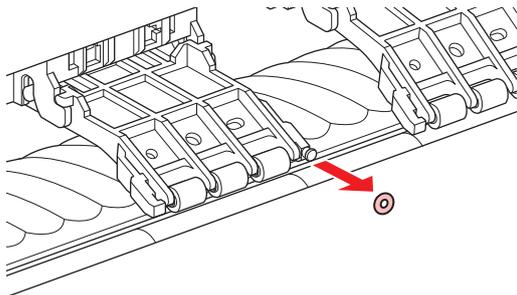
- PC など接続されている場合は一度接続を切ってください。

2 主電源スイッチを切る。

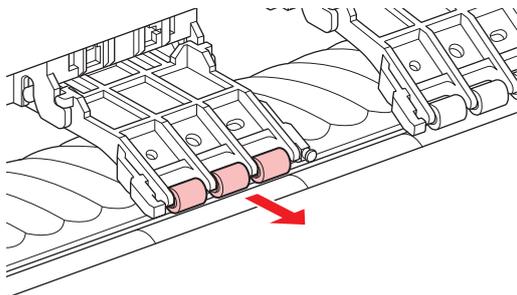
3 フロントカバーを開ける。

4 クランプレバーを上げ、ピンチローラーを上げた状態にする。

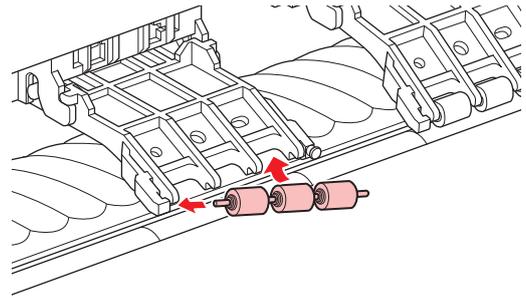
5 ピンチローラーを固定しているOリングを取り外す。



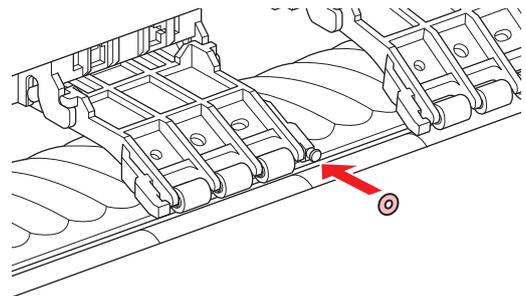
6 ピンチローラーを取り外す。



7 新しいピンチローラーを取り付ける。



8 新しいOリングを取り付ける。



9 フロントカバーを閉める。

10 電源スイッチを入れる。

- (1) 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒す。
 - 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示し、初期動作を実行します。
- (2) [END/POWER]キーを押して電源を入れる。

スパウトゴムを交換する

エコケースには、2L インクパックからのインク漏れ低減のために、スパウトゴムが実装されています。スパウトゴムはサプライ品です。(品番：SPA-0317) 交換時期(半年)をワーニングでお知らせします。ワーニングが表示されたら、スパウトゴムを交換してください。



• 2L インクパックを交換するときは、必ず付属の保護メガネを着用してください。誤って、インクが目に入る可能性があります。

重要!

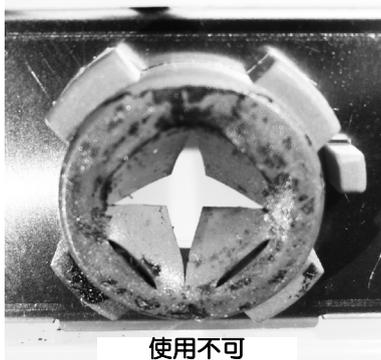
• スパウトゴムは、8セットすべて同時に交換してください。
 • 使用環境や使用条件により、スパウトゴムが半年以内に劣化する場合があります。写真のように中央のすき間が広がった場合、ワーニングメッセージにかかわらず交換してください。



初期



使用可能



使用不可



• ワーニング表示以外で交換する場合、下記の手順でカウンタをリセットしてください。

- (1) ローカルで、**[WARNING]** キーを押して「情報」を選び、**[ENTER]** キーを押す
- (2) 「使用状況」を選び、**[ENTER]** キーを押す
- (3) **[REINITIAL]** キーを押す
- (4) 下記が表示されたら、**[ENTER]** キーを押して、カウンタをリセットする

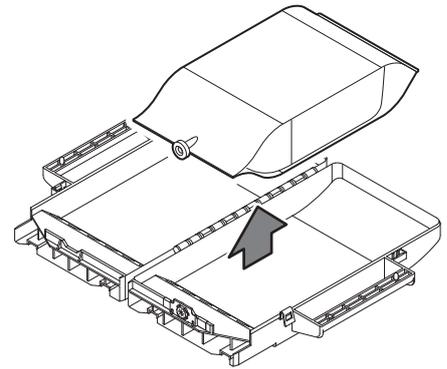
エコケース/スパウトゴム コウカン
 クリア シェア? [ENT]

1

2L エコケースを開ける。

2

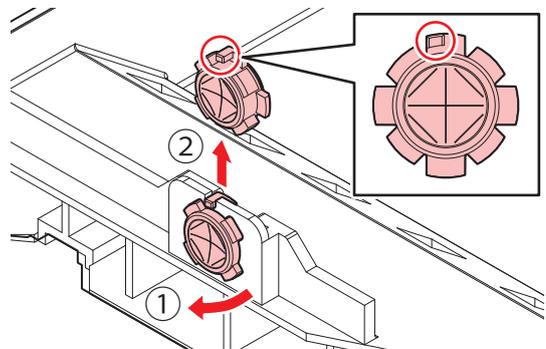
2L インクパックを取り出す。



3

スパウトゴムを取り外す。

• ペーパータオル等でおさえながら、2L エコケースのはめ込み穴からスパウトゴムを押し出します。

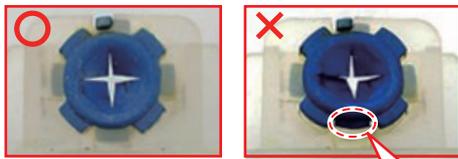
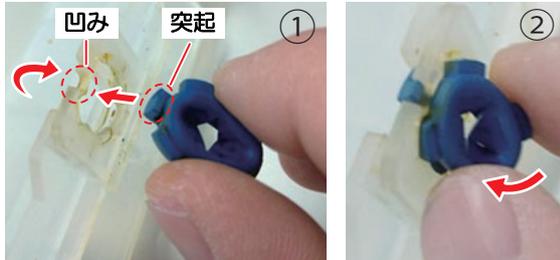


4 新品のスパウトゴムをエコケースの外側から取り付ける。

- スパウトゴムの位置決め突起をエコケースの凹み位置に合わせて挿し込んでください。
- 取り付けるとき、ゴムの向きに注意してください。
- スパウトゴムが均等に納まるまでゴム全体を溝に押し込んでください。



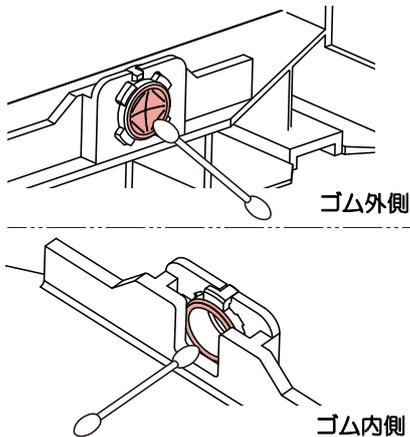
- スパウトゴム全体をたわませると、ケースの外側から押し込みやすくなります。



リブが納まっていない。リブが溝に正しくはままていないと、スパウトゴムの破損につながります。

5 スパウトゴム表面をメンテナンス液で十分に湿らせる。

- メンテナンス液はインク種にあったものを使用してください。
- スパウトゴムを湿らさずにインクパックと本機台座に差し込むと、ゴムが破損する恐れがあります。



MBIS オスネクタ吸収材を交換する

2L インクパック交換時、定期的 (5 ~ 10 回) にオスネクタ吸収材 (付属品) を交換することで、台座内の汚れを防止することができます。

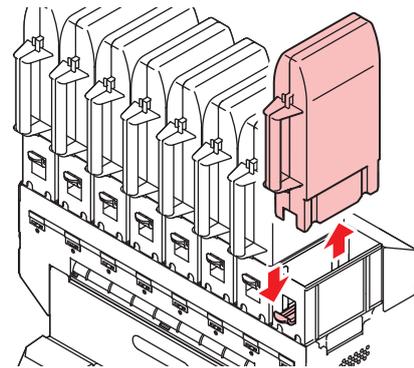


- オスネクタ吸収材交換時は、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。

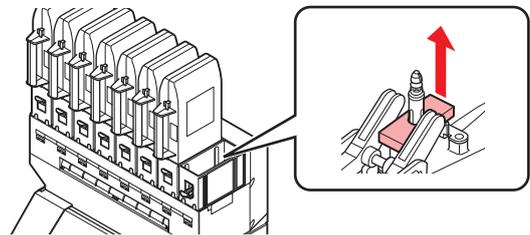


- 付属品が終了したら、お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。
品番：SPA-0625

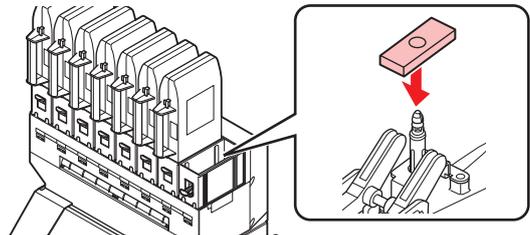
1 台座についているレバーを押し下げ、2L エコケースを取り外す。



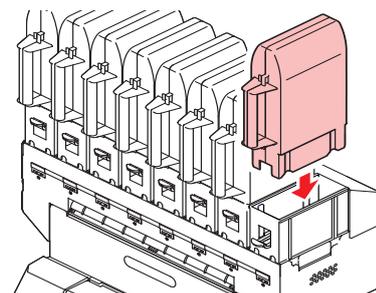
2 オスネクタ吸収材を取り外す。



3 新しいオスネクタ吸収材を取り付ける。



4 2L エコケースを取り付ける。



第5章 困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

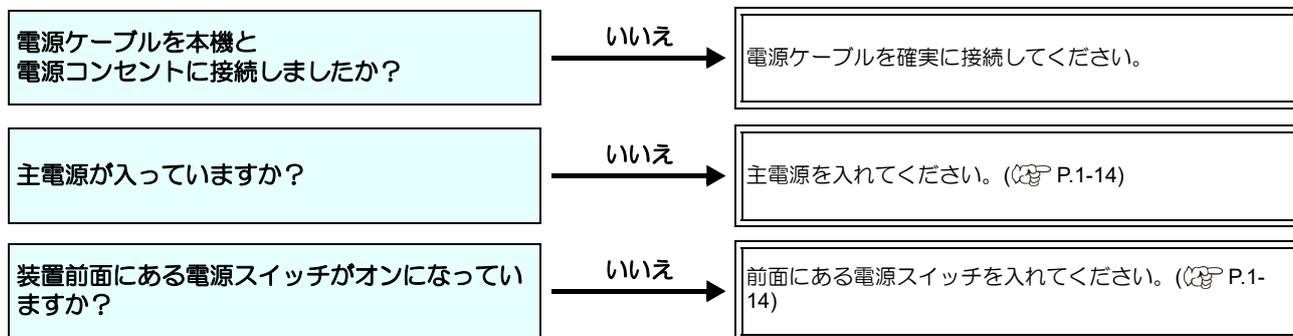
故障かなと思ったら	5-2
電源が入らない	5-2
プリントできない	5-2
メディア詰まり/メディアが汚れる	5-2
画質不良が発生したときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
インク IC 異常が発生したら	5-3
インク漏れが発生したら	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-4
ワーニングメッセージ	5-4
エラーメッセージ	5-7

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、以下を確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

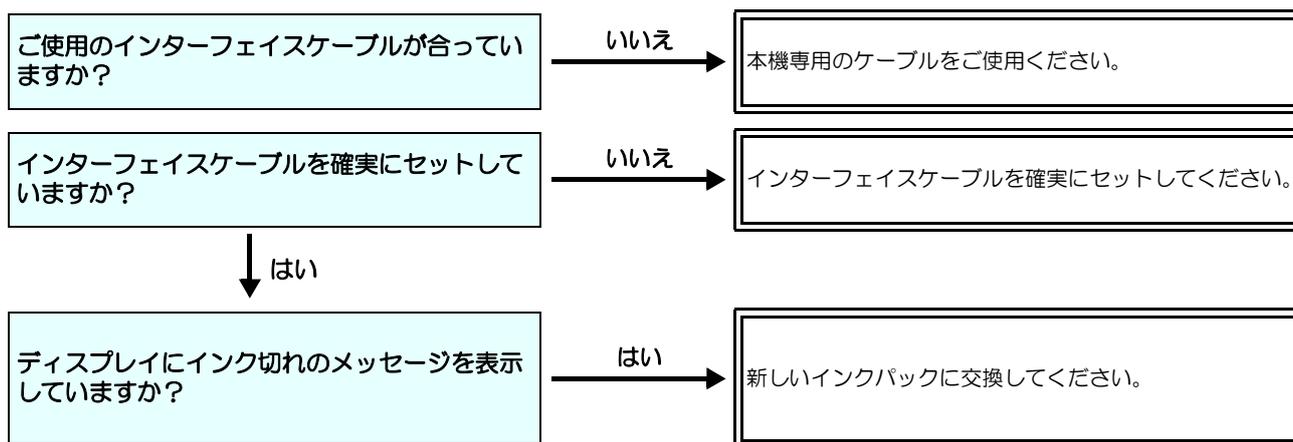
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピューターのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



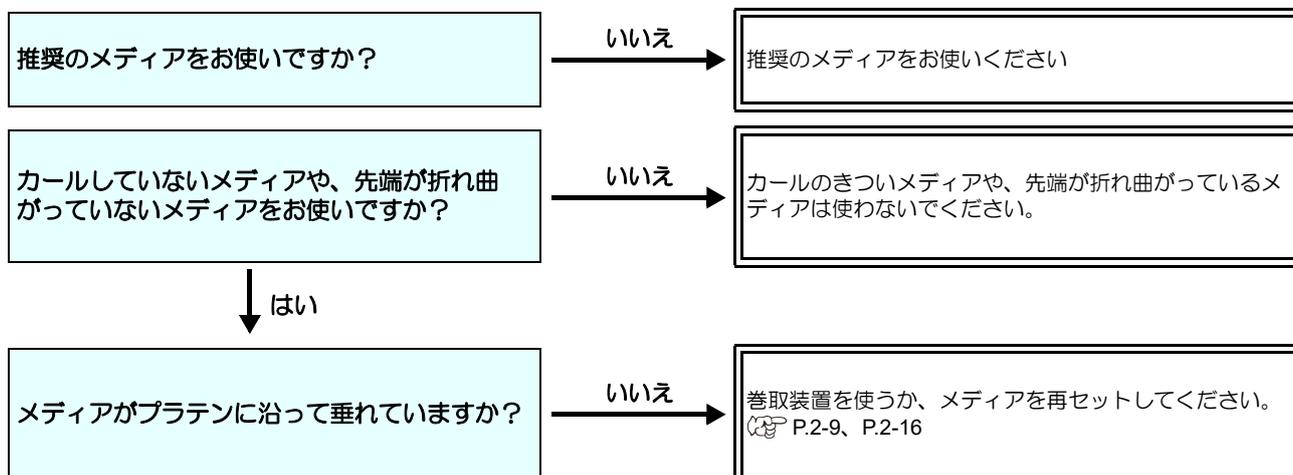
プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本機に送られていない場合があります。また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが発生する (ヘッド移動方向)	(1) ヘッドクリーニングを行ってください。(P.2-30) (2) ステーション内部のメンテナンスをしてください。(P.4-10) (3) 「フィード補正」機能を実行してください。(P.3-5) (4) メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に2重、3重にブレる	(1) 「フィード補正」機能を実行してください。(P.3-5)
往復印字でズレが発生する	(1) 「ドット位置補正」機能を実行してください。(P.3-6)
プリント中にインク滴が落ちる	(1) ワイパーを清掃してください。(P.4-10) (2) インクキャップのクリーニングをしてください。(P.4-10) (3) ヘッドの周辺を清掃してください。(P.4-17) (4) ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。(P.2-30) (5) 定期ワイピングを、設定してください。(P.3-11)

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-30 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の2つの項目を確認してください。

- P.4-12 の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。
- P.4-17 の操作をして、ヘッドノズル面の洗浄をしてください。
- P.4-19 の操作をして、ノズルリカバリをしてください。

インク IC 異常が発生したら

インク IC に異常が発生したら、カートリッジ LED「赤」が点灯し、ワーニングメッセージが表示されます。プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。速やかに新しいインクバックに交換してください。

- 重要!** ・カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

インク IC 異常の詳細を表示する

次の操作をして、IC 異常の内容を確認できます。

1 ローカルモードで、**ENTER** キーを押す

2 **ENTER** キーを押す

インク漏れが発生したら

インク漏れが発生した場合は、主電源スイッチをオフにして電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
実行できません :メディア未検出	メディア未検出のため、機能が実行できない。	• メディア検出後実行してください。
実行できません :MOTOR POWER OFF	カバーオープン後などモーターが OFF している。	• ローカルに戻り、初期化動作が完了してから機能を実行してください。
実行できません :インクエラーあり	インクエラーが発生している。	• 新しいインクパックに交換後、機能を実行してください。
実行できません カバーオープン	カバーが開いている。	• カバーを閉めてから、機能を実行してください。
実行できません プリントデータあり	データを受信している。	• データクリアを実行後、機能を実行してください。(P.2-34)
モーター直結ユニットを 確認してください	繰出/巻取テンションバーの設定と、モーター直結ユニット・トルクリミッターの取り付けが一致していない。	• テンションバーを使う場合はモーター直結ユニット、テンションバーを使わない場合はトルクリミッターを取り付けてください。(P.2-9)

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
プリント不可 / カートリッジ	複数のインクエラー (使用不可インク) が発生し、インクの供給 (プリントやクリーニングなど) が行えない。	• 新しいインクパックに交換してください。
廃インクタンク確認	廃インクタンクのカウントが規定量を超えた。	• 廃インクタンクの排液量を確認してください。 • メンテナンス・廃インクタンク交換を実行し、廃液量をリセットしてください。
ワイパー交換	ワイパー使用カウントが規定量を超えた。	• メンテナンス・ステーションメンテ・ワイパー交換を実行し、ワイパーを交換してください。
メディアがありません	メディアがセットされていない。もしくはセンサー故障。	• メディアをセットしてください。 セットしても表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
プリントデータあり	ローカルでプリントデータを受信した。	• リモートに移行し、プリントを実行します。またはデータクリアを実行し、印刷を中止します。
装置温度 / 高 ** °C	設置環境 (装置) の温度が高く、安定したプリントが行えない。	• 仕様 (20 °C ~ 35 °C) の範囲内に室温を調節してください。
装置温度 / 低 ** °C	設置環境 (装置) の温度が低く、安定したプリントが行えない。	

表示	原因	対処方法
洗浄カートリッジ無し	メンテナンス液カートリッジがセットされていない。 ワイパー洗浄やポンプチューブ洗浄が実行できない。(オートメンテナンス動作)	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンス液カートリッジをセットしてください。
洗浄液エンド	メンテナンス液の残量がない。 ワイパー洗浄やポンプチューブ洗浄が実行できない。(オートメンテナンス動作)	<ul style="list-style-type: none"> 新しいメンテナンス液カートリッジに交換してください。
NCU センサー感度低下	NCU のセンサー感度が低下してきている。	<ul style="list-style-type: none"> NCU の交換をお勧めします。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU カンドチョウセイエラー H	センサーの感度を調整できない。	
NCU カンドチョウセイエラー L		
ノズル抜け検出 印刷停止しました	ノズルチェックでノズル抜けと判定されたため、プリントを停止した。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドクリーニング(☞ P.2-30)ならびにノズル詰まりの対処(☞ P.5-3)を行ってください。
NCU トシュツイチケンシュツエラー ノズルチェック OFF	ノズルチェック実行中に NCU 関連のエラーが発生したため、印刷を停止してノズルチェック機能を OFF にした。	<ul style="list-style-type: none"> 「ERROR 655 / NCU トシュツイチケンシュツエラー」の説明に従って対処を行ってください。
NCU センターイチケンシュツエラー ノズルチェック OFF		<ul style="list-style-type: none"> 「ERROR 654 / NCU センターイチケンシュツエラー」の説明に従って対処を行ってください。
NCU SN チョウセイエラー ノズルチェック OFF		<ul style="list-style-type: none"> 「ERROR 656 / NCU SN チョウセイエラー」の説明に従って対処を行ってください。
NCU ケンシュツエラー (HW) ノズルチェック OFF		<ul style="list-style-type: none"> 「ERROR 652 / NCU ケンシュツエラー (HW)」の説明に従って対処を行ってください。
NCU ケンシュツエラー (マーク) ノズルチェック OFF		<ul style="list-style-type: none"> 「ERROR 653 / NCU ケンシュツエラー (マーク)」の説明に従って対処を行ってください。
NCU 接続異常	NCU のユニットが接続されていない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU 交換	NCU のセンサー感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> NCU の交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU インク吸収材交換	NCU のインク吸収材が満杯になった。	<ul style="list-style-type: none"> NCU のインク吸収材交換が必要です。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
NCU エラー ノズルチェック OFF	ノズルチェック実行中に NCU 関連のエラーが発生したため、プリントを停止してノズルチェック機能を OFF にした	<ul style="list-style-type: none"> 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ヘッド高さ 調整	マシンに保存されているヘッド高さ設定値と現在のヘッド高さの違いがある。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッド高さの設定を行ってください。(☞ P.2-8)
!インク再充填	(Sb411+TP400 インクセットのみ) TP400 側ヘッド (HEAD3, 4) のインク詰まり防止用のお手入れを行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> HEAD3, 4 のインク充填を行ってください。(☞ P.4-22)

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイドンスでも表示されます。(P.3-29)

表示	原因	対処方法
インク IC 異常	インクパックのICチップが正常に読み込めない。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているインク IC チップを再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
インク種類	インクパックのインク種類が充填してあるインクと異なる。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。
インク カラー	インクパックのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。
カートリッジ異常	インクパックの IC チップの情報に異常が生じた。 使用量が規定値を超えている。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 ノズルづまりがないことを確認してください。(特にホワイトインク)
カートリッジ無し	IC チップがスロットに挿入されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているスロットにインク IC チップを挿入してください。 インク IC チップが正しく挿入されているか確認してください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
インク エンド	インクパックのインクがなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> ワーニングが発生しているインクパックを交換してください。
インク ニアエンド	インクパックのインクが残りわずかなっている。	<ul style="list-style-type: none"> 間もなくインクがなくなります。ご注意ください。
インク 期限切れ	インクが期限切れになった。	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
期限切れ(1ヶ月)	インクが期限切れから1ヶ月経過した。	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
期限切れ(2ヶ月)	インクが期限切れから2ヶ月経過した。	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。プリントすることができません。
ERROR 63c インク ザンリョウ ゼロ	カートリッジ残量が0になった。(インクエンド/4色インクセット時のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。
吸着ファン異常	吸着ファンが回らない。 (Tx300P-1800 MkII のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
キャップ吸収材 交換	吸収材の使用量が規定量を超えた(1年相当の使用)。 (Tx300P-1800 MkII のみ)。	<ul style="list-style-type: none"> キャップ吸収材の交換を行ってください。 (CP 吸収材キット (品番: SPA-0314) を交換する。(P.4-25))

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

表示	原因	対処方法
ERROR 108 HD THERMIS[1234]	ヘッド温度制御に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 108 HD CONNECT[1234]	ヘッドの接続に異常が発生した。	
ERROR 122 CHECK:SDRAM	SDRAM に異常が発生した。	
ERROR 128 HDC FIFO OVER	ヘッド制御基板に異常が発生した。	
ERROR 128 HDC FIFO UNDER		
ERROR 129 バッテリー コウカン	内部時計の電池切れを検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 12a HDC SPEED	印字している波形の異常を検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 130 HD DATA SEQ		
ERROR 146 E-LOG SEQ	イベントログのシーケンシャルナンバー異常が発生した。	
ERROR 151 Main PCB V1R2	メイン基板の電源系統に異常が発生した。	
ERROR 152 Main PCB V2R5		
ERROR 153 Main PCB V3R3		
ERROR 154 Main PCB V05		
ERROR 157 Main PCB VTT		
ERROR 16e Main PCB V3R3B		
ERROR 15f HEAD DRIVE HOT		
ERROR 171 NEW HEAD CONNECT		
ERROR 18a Main PCB V_CORE		
ERROR 18c Main PCB V12	メイン基板の電源に異常が発生した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 18e FLS NOT COMP	印字している波形の異常を検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 18f OFFSET START		
ERROR 18f OFFSET END	印字している波形の異常を検出した。	
ERROR 1d9 Main PCB V48-1	メイン基板の電源に異常が発生した。	
ERROR 1ce SLIDER PCB V24	スライダ P 基板の電源に異常が発生した。	
ERROR 1cf SLIDER PCB V1R8		
ERROR 1de SLIDER PCB V1R2		
ERROR 1df SLIDER PCB V2R5		
ERROR 1e0 SLIDER PCB V3R3		
ERROR 1e1 SLIDER PCB V5		
ERROR 1e2 SLIDER PCB V48	ステーションIV基板の1枚目の電源に異常が発生した。	
ERROR 1db Station4 PCB V48		
ERROR 1dc Station4 PCB V24		
ERROR 1dd Station4 PCB V24-A	ステーションIV基板の2枚目の電源に異常が発生した。	
ERROR 1db Station4-2 PCB V48		
ERROR 1dc Station4-2 PCB V24		
ERROR 1dd Station4-2 PCB V24-A	メモリーサイズが不足している。	
ERROR 1e6 PRAM サイズフック		
ERROR 201 コマンド エラー	プリントデータ以外のデータを受信した。 または送信したプリントデータに異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブルを使用してください。
ERROR 202 パラメータ エラー	送信したプリントデータに異常が発生した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 206 プリントモードエラー	プリント不可能な条件のプリントデータを受信した。	<ul style="list-style-type: none"> • RIPソフトのプリントデータ出力条件を確認してください。 • プロファイルを確認してください。 • 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 304 USB INIT ERR	USBの通信に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> • 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 305 USB TIME OUT		
ERROR 307 MCFD ファイル I/F エラー	印刷条件データへのアクセス中に異常が発生した。	
ERROR 401 モーターアラーム X	Xモーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 402 モーターアラーム Y	Yモーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 403 X オーバーカレント	Xモーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 404 Y オーバーカレント	Yモーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 423 マキトリ テンションバー	巻取テンションバーのエラー。 <ul style="list-style-type: none"> • テンションバー原点が見つけれなかった。 • テンションバー角度変化が見られなかった。 	
ERROR 425 マキトリ イジヨウ	巻取テンションバーに異常が発生した。 <ul style="list-style-type: none"> • テンションバーが最下点制御位置を一定時間外れた 	
ERROR 429 マキトリ LIMIT ケンシュツ	巻取テンションバーのLIMIT位置を検出した。 <ul style="list-style-type: none"> • テンションバーが最上点制御位置を一定時間外れた。 	
ERROR 44f マキトリ ロール センサ イジヨウ	巻軸センサ異常 <ul style="list-style-type: none"> • 巻軸センサを正しく読めない 	<ul style="list-style-type: none"> • マシン設定の巻取ユニットと巻取テンションバーの設定が“ON”になっていることを確認してください。(P.3-15) • メディアのセット状態を確認してください。 • マニュアルSWで巻取装置が動作することを確認してください。
ERROR 424 クリダシ テンションバー	繰出テンションバーのエラー。 <ul style="list-style-type: none"> • テンションバー原点が見つけれなかった。 • テンションバー角度変化が見られなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> • メディアのセット状態を確認してください。 • マニュアルSWでメディアを巻取れることを確認してください。また、テンションバーが上がることを確認してください。上がらない場合は、カウンターウェイトを調整してください。
ERROR 426 クリダシ イジヨウ	繰出テンションバーに異常が発生した。 <ul style="list-style-type: none"> • テンションバーが最下点制御位置を一定時間外れた 	
ERROR 42a クリダシ LIMIT ケンシュツ	繰出テンションバーのLIMIT位置を検出した。 <ul style="list-style-type: none"> • テンションバーが最上点制御位置を一定時間外れた。 	

表示	原因	対処方法
ERROR 450 クリダシ ロール センサ イジヨウ	繰軸センサ異常 ・繰軸センサを正しく読めない	<ul style="list-style-type: none"> マシンの繰軸ユニットと繰軸テンションバーの設定が“ON”になっていることを確認してください。(☞ P.3-15) メディアのセット状態を確認してください。 マニュアルSWで繰軸装置が動作することを確認してください。
ERROR 505 メディア ジャム	メディア詰まりが発生した。	<ul style="list-style-type: none"> メディアを取り除き、再セットしてください。
ERROR 509 HDC POSCNT	位置制御に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 50a Y ゲンテン ケンシュツ	Y 原点検出ができなかった。	
ERROR 50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	
ERROR 50c メディアハバセンサー カクニン	メディア幅を正しく読むことができなかった。	<ul style="list-style-type: none"> メディアのセット位置を確認してください。(☞ P.2-27) メディアセンサーの清掃を行ってください。(☞ P.4-3) 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。
ERROR 516 メディアイチ ミギスギマス	メディアが範囲外にセットされている。	<ul style="list-style-type: none"> メディアのセット位置を確認してください。(☞ P.2-27)
ERROR 528 ポンプモーター センサ	ポンプセンサ検出エラー	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 52f キャリッジ 原点 未設定	キャリッジの制御原点位置設定が行われていない。	<ul style="list-style-type: none"> 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 530 ステーション 原点 未設定	ステーションの制御原点位置設定が行われていない。	
ERROR 536 ステーションロック	ステーションの動作異常を検出した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 537 洗浄液シャッター	メンテナンス液シャッターの動作異常を検出した。	
ERROR 54C 吸着ファン異常	吸着ファンが回らない。 (Tx300P-1800 MkII のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 550 プラテン確認	プラテンが正しくセットされていない。	<ul style="list-style-type: none"> 使用するメディアとプラテンの組み合わせを確認し、プラテンを正しくセットしてください。(☞ P.2-4) 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 602 カートリッジ エンド	インクエンド (使用不可、4 色セットでクリーニング時のみ使用可)	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。

表示	原因	対処方法
ERROR 608 インク IC イジヨウ	インクパックの IC チップが正常に読めない。	<ul style="list-style-type: none"> インク IC チップが正しく挿入されているか確認してください。 インク IC チップを挿入しなおしてください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 627 カートリッジ セット	一定時間以上インク IC チップが挿入されていないスロットがある。	<ul style="list-style-type: none"> インク IC チップをセットしてください。
ERROR 628 カートリッジ イジヨウ	インクパックの IC チップの情報に異常が生じた。 使用量が規定値を超えている。	<ul style="list-style-type: none"> ノズルづまりがないことを確認してください。
ERROR 63c インク ザンリョウ ゼロ	カートリッジ残量 0(インクエンド /4 色インクセット時のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 新しいインクに交換してください。
ERROR 64c NCU エラー	何らかの問題により、ノズルチェックが中断された。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 650 NCU セツゾク イジヨウ	NCU のユニットが接続されていない。	
ERROR 651 NCU コウカン	NCU のセンサー感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> NCU の交換が必要です。販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 652 NCU ケンシュツエラー (HW)	ノズル抜け、飛行曲りが多発していて、NCU がインクの吐出を正常に認識できない。 NCU への吐出位置の調整に失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
ERROR 653 NCU ケンシュツエラー (マーク)		
ERROR 654 NCU センターイチケンシュツエラー		
ERROR 655 NCU トシュツイチケンシュツエラー		
ERROR 656 NCU SN チョウセイエラー	センサーの感度調整に失敗した。	<ul style="list-style-type: none"> ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。 ノズル状態を回復しても、再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 657 NCU インクキュウシュウザイ コウカン	NCU のインク吸収剤が満杯になった。	<ul style="list-style-type: none"> 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 658 NCU センサー カンド テイカ	NCU のセンサー感度が低下してきている。	<ul style="list-style-type: none"> NCU の交換をお勧めします。 販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 65b NCU カンドチョウセイエラー H	センサーの感度を調整できない。	
ERROR 65c NCU カンドチョウセイエラー L		
ERROR 901 ジッコウ デキマセン	何らかのエラーにより、機能が実行できません。	<ul style="list-style-type: none"> ローカル画面に戻ってエラー状況を確認し、対処してください。
ERROR 902 ミサクズ データ アリ	プリントデータが残っている。	<ul style="list-style-type: none"> データクリアを実行してください。 (P.2-34)

表示	原因	対処方法
ERROR 90d ヘッド センタク ナシ	搭載ヘッドに異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR 90f プリント エリア フソク	プリントに必要なメディア幅またはメディア長さが足りません。	<ul style="list-style-type: none"> メディア幅の広い、またはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 原点移動によりメディア幅が狭くなっている場合、原点を右にずらして有効メディア幅を広げてください。
ERROR 91a ヘッド高さ 調整	マシンに保存されているヘッド高さ設定値と現在のヘッド高さに違いがある。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッド高さの設定を行ってください。(P.2-8)
ERROR 04 PARAM ROM	MAIN 基板 FROM に異常が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。
ERROR d01 HCB POWER [1234]	HCB 基板の電源に異常が発生した。	
ERROR d02 HCB COMMON [1234]	HCB 基板の異常を検出した。	
ERROR d03 HCB HARD [1234]		
ERROR d04 HCB CMD [1234]	HCB 基板の通信に異常が発生した。	
ERROR d05 HCB WFM [1234]	印字している波形の異常を検出した。	
ERROR d06 HCB VUP [1234]	HCB 基板のバージョンアップ失敗を検出した。	
ERROR d07 HCB FAN [1234]	HCB 基板のファンに異常が発生した。	
ERROR d08 HCB UKNWN [1234]	HCB 基板より未定義エラーを検出した。	
ERROR d09 HD MEMORY [1234]	ヘッド内蔵メモリーに異常を検出した。	
ERROR d0a HCB BUSY [1234]	HCB 基板 - スライダ-P 基板間の通信に異常が発生した。	

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*) 000 : メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は番号を確認のうえ、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。(“000”はエラー No.)
SYSTEM HALT (*) 406 : WIPER ORG	<ul style="list-style-type: none"> ワイパー周辺の清掃をしてください。 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 再度表示する場合は番号を確認のうえ、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

第6章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-4
インクカートリッジのセット順	6-5
お問い合わせシート	6-6

仕様

本体仕様

項目		Tx300P-1800/Tx300P-1800 MkII (布メディア)	Tx300P-1800 MkII (転写紙)	
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド		
	仕様	4ヘッドインライン		
プリントモード (スキャンxフィード)		540×360dpi/ 540×540dpi/ 540×720dpi/ 720×720dpi/ 720×1080dpi/ 720×1440dpi *1		
使用可能インク		昇華染料インク :Sb420、昇華染料インク :Sb421、捺染顔料インク :TP400、分散染料インク :Dd400、酸性染料インク :Ac400、反応染料インク :Rc400、Rc500、昇華転写インク :Sb411(Tx300P-1800 MkII のみ)		
インク供給		インクパックからのチューブ供給 インクパック交換方式：2パック/1色によるトグル切替供給 (4色時/6色時 :M, BI)		
インク容量	4色	Y, M, BI, K (Sb420) : 2L インクパック各色 2本		
		Y, M, BI, K (Sb421) : 2L インクパック各色 2本		
		Y, M, C, K (TP400) : 2L インクパック各色 2本		
	6色	Y, K, LBI, Lm : 2L インクパック各色 1本 M, BI : 2L インクパック各色 2本		
		M, R, BI, C, Y, Lk : 2L インクパック各色 1本 K : 2L インクパック 2本		
	8色	M, R, C, Gr, Y, K, V, P (Dd400) : 2L インクパック各色 1本		
		M, R, BI, C, Y, Or, K, Lk (Ac400) : 2L インクパック各色 1本		
		M, R, BI, C, Y, Or, K, Lk (Rc400) : 2L インクパック各色 1本		
		M, R, BI, C, Y, Or, K, Lk (Rc500) : 2L インクパック各色 1本		
	4+4色	Y, M, BI, K (Sb420) : 2L インクパック各色 1本 Y, M, C, K (TP400) : 2L インクパック各色 1本		
		Y, M, BI, K (Sb421) : 2L インクパック各色 1本 Y, M, C, K (TP400) : 2L インクパック各色 1本		
		Y, M, BI, K (Sb411) : 2L インクパック各色 1本 (Tx300P-1800 MkII のみ) Y, M, C, K (TP400) : 2L インクパック各色 1本		
Y, M, BI, K (Sb411) : 2L インクパック各色 1本 (Tx300P-1800 MkII のみ) Y, M, BI, K (Sb420) : 2L インクパック各色 1本				
使用可能メディア		綿、絹、前処理済ポリエステルなど (伸縮素材は除く)	転写紙	
最大プリント範囲		1920 mm	1940 mm	
ロールメディアサイズ	最大幅	1920 mm	1950 mm	
	最小幅	210 mm	210 mm	
	厚さ	1.0 mm 以下		
	プリント面	内巻き / 外巻き不問	ロール外側面	
	繰り出し	ロール外径	端面ガイド未使用時 : Φ250mm 以下 端面ガイド使用時 : Φ200mm 以下 *2	
		ロール重量	40 kg 以下	
		紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	巻き取り	ロール外径	端面ガイド未使用時 : Φ250mm 以下 端面ガイド使用時 : Φ200mm 以下 *2	
		ロール重量	40 kg 以下	
		紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
巻終わり処理		紙管にテープ止め、または弱粘着		
巻きズレ	~ Φ 120 : ± 1 mm ~ Φ 170 : ± 3 mm ~ Φ 200 : ± 5 mm (端面ガイド使用時 : Tx300P-1800 MkII のみ)			

項目		Tx300P-1800/Tx300P-1800 MkII (布メディア)	Tx300P-1800 MkII (転写紙)
リーフメディア サイズ	最大幅	1920mm	
	最小幅	210mm	
プリントマージ ン	リーフメディア	左右: 20.0 mm (デフォルト値)	前: 120 mm 後: 150 mm
	ロールメディア	左右: 20.0 mm (デフォルト値)	前: 120 mm 後: 150 mm
距離精度	絶対精度	± 0.3 mm または指定距離の ± 0.3 % の大きい方	
	再現性	± 0.2 mm または指定距離の ± 0.1 % の大きい方	
直角度		± 0.5 mm / 1,000 mm	
メディアスキュー		5 mm 以下 / 10 m	
ヘッド高さ調整		2 ~ 7 mm まで、手動無制限調整	
排紙		ロール巻取装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能)	
廃インクタンク		ボトル式 (2000 cc) x2	
インターフェイス	印刷データ 転送機能	USB 2.0、Ethernet 1000BASE-T	
	メール機能	Ethernet 10 BASE-T / 100 BASE-TX / 1000BASE-T	
コマンド		MRL- V	
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)	
	動作連続音	65 dB 以下	
	動作不連続音	70 dB 以下	
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, CE マーキング (EMC 指令、機械指令、RoHS 指令、低電圧指令), CB レポート, RoHS 対応	
電源仕様		AC100 ~ 120/ 200 ~ 240V 12A/8A 50/60Hz	
消費電力		1440W (AC100 - 120V), 1920W (AC 200 ~ 240V 時)	
設置環境	使用可能温度	20 °C ~ 30 °C	
	相対湿度	35 ~ 65% Rh (結露なきこと)	
	精度保証温度	20 °C ~ 25 °C	
	温度勾配	±10 °C / h 以下	
	粉塵	オフィス相当	
	最高動作高度	2000 m	
重量		255 kg (Tx300P-1800) 260 kg (Tx300P-1800 MkII)	
外形寸法	幅	3197 mm	
	奥行き	965 mm	
	高さ	1857 mm	

- *1. お使いになるインク種により、プリント可能なプリントモードは異なる。
 *2. φ200mm ~ 120mm 以下 (端面ガイドの取り付け位置によって変わります)

インク仕様

項目	昇華染料インク Sb420	昇華染料インク Sb421	昇華転写インク Sb411	捺染顔料インク TP400	分散染料インク Dd400	酸性染料インク Ac400	反応染料インク Rc400	反応染料インク Rc500
形態	2L インクパック							
色	ブラック (K) ブルー (Bl) マゼンタ (M) イエロー (Y) ライトブルー (LBl) ライトマゼンタ (Lm)		ブラック (K) ブルー (Bl) マゼンタ (M) イエロー (Y)	ブラック (K) シアン (C) マゼンタ (M) イエロー (Y) レッド (R) ブルー (Bl) ライトブ ラック (Lk)	ブラック (K) シアン (C) マゼンタ (M) イエロー (Y) レッド (R) グレー (Gr) バイオレ ット (V) ピンク (P)		ブラック (K) シアン (C) ブルー (Bl) マゼンタ (M) イエロー (Y) オレンジ (Or) レッド (R) ライトブラック (Lk)	
インク容量	2L							
有効期限	有効期限は、インクパックに記載されている通り。 ただし、開封後は有効期限内であっても3ヶ月以内。							
保存 温度	保存時	10～35℃(1日の平均気温) ・容器は密閉した状態で保管すること。 ・乾燥した換気の良い冷暗所に保管すること。						
	輸送時	0～40℃ ・0℃より低温になる場所、40℃より高温になる場所は避けること。						

重要!

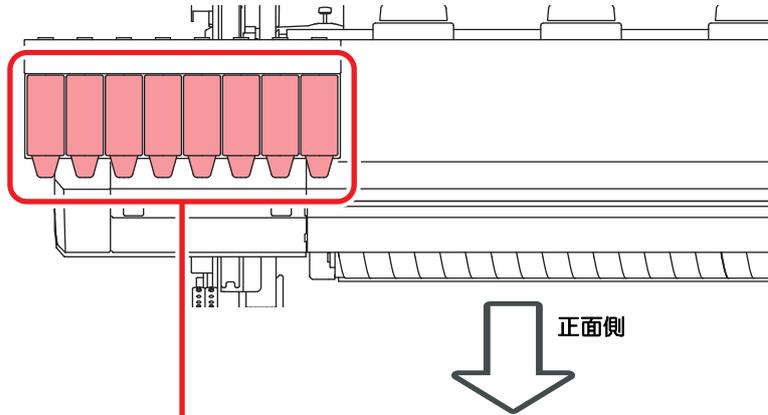
- ・インクパックや2Lエコケースを分解したり、インクを詰め替えないでください。
- ・インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
- ・水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管してください。

インクカートリッジのセット順

お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクカートリッジの順番が異なります。



- ・インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。



4色モデル	昇華染料インク :Sb420	M	M	Bl	Bl	Y	Y	K	K
	昇華染料インク :Sb421	M	M	Bl	Bl	Y	Y	K	K
	捺染顔料インク :TP400	M	M	C	C	Y	Y	K	K
6色モデル	昇華染料インク :Sb420	M	M	Bl	Bl	Y	K	LBl	Lm
	昇華染料インク :Sb421	M	M	Bl	Bl	Y	K	LBl	Lm
7色モデル	捺染顔料インク :TP400	M	R	Bl	C	Y	Lk	K	K
8色モデル	分散染料インク :Dd400	M	R	C	Gr	Y	K	V	P
	酸性染料インク :Ac400	M	R	Bl	C	Y	Or	K	Lk
	反応染料インク :Rc400	M	R	Bl	C	Y	Or	K	Lk
	反応染料インク :Rc500	M	R	Bl	C	Y	Or	K	Lk
4+4色モデル	昇華染料インク : Sb420 捺染顔料インク : TP400	Sb420				TP400			
		M	Bl	Y	K	M	C	Y	K
	昇華染料インク : Sb421 捺染顔料インク : TP400	Sb421				TP400			
		M	Bl	Y	K	M	C	Y	K
	昇華転写インク : Sb411 捺染顔料インク : TP400	Sb411				TP400			
		M	Bl	Y	K	M	C	Y	K
昇華転写インク : Sb411 昇華染料インク : Sb420	Sb411				Sb420				
	M	Bl	Y	K	M	Bl	Y	K	

- 重要!** ・お使いになるワイパー、洗浄液カートリッジは下記を参照してください。
- ・ P.4-3 「メンテナンス液について」
 - ・ P.4-23 「ワイパーを交換する」

お問い合わせシート

プリンターの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所までFAXでお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンター機種名	
お使いのOS	
マシン情報 ^{*1}	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 「第3章 便利な使い方」の、「情報を表示させる」をご覧ください。 (P.3-29)

索引

E

END/POWER キー 1-14

L

LAN ケーブル 1-9
LED ポインタ 2-29

M

MAPS4 の設定 3-9
MAPS4 機能
MAPS 機能が有効になる条件 3-9

P

PG 着弾調整の設定 3-17

T

Temporary の使い方 3-4

U

USB2.0 インターフェイスケーブル 1-9
USB 2.0 インターフェイスについての
注意事項 1-9

あ

安全インターロック ix
安全にお使いいただくために vi
ご注意とお願い viii
使用上の警告と注意 vi
使用上のご注意 vii
設置上のご注意 viii

い

イベントメール機能 3-20
イベントメール機能を有効にする 3-20
イベントを設定する 3-20
インク交換レポート 3-28
インク充填 4-22
インクバック取り扱い上のご注意 1-13

え

エラーメッセージ 5-7
エラー履歴 3-28

お

オートクリーニングの設定 3-10
オートパワーオフの設定 3-15
オートメンテナンス機能 4-21
クリーニング間隔とタイプ 4-22
チューブ洗浄間隔 4-22
リフレッシュ間隔 4-21
お手入れ上のご注意 4-3
お問い合わせシート 6-6
折り返しバー (巻取側) の清掃 4-4

か

外装のお手入れ 4-3
外部ヒーターの設定 3-12
確認フィードの設定 3-19
各部の名称とはたらきについて 1-3
キャッピングステーション 1-8
キャリッジ 1-8
操作パネル 1-6
装置前面 1-3
装置背面 / 側面 1-4
ピンチローラーとグリットローラー 1-8
メディアセンサー 1-8
重ね塗りの設定 3-7
紙プラテン 2-4, 2-5
乾燥時間の設定 3-8
乾燥フィードの設定 3-18

き

キーボードの設定 3-18
キャッピングステーションのメンテナンス 4-10
インク排出路の洗浄 4-14
長期間使用しない場合 4-15
ヘッドノズルの洗浄 4-12
ワイパーとキャップの清掃 4-10
キャップ吸収材を交換する 4-26
CP 吸収材キットを交換する 4-26
CP パッドセットを交換する 4-26
吸着ファンの設定 3-8

く

クリーニング実行タイミング 3-10
線出 / 巻取装置について 2-9
線出 / 巻取ユニットの設定 3-15

け

ケーブルを接続する 1-9
言語の設定 3-18
原点を変更する 2-29, 2-35
件名を設定する 3-21

こ

故障かな?と思う前に 5-2
インク IC 異常が発生したら 5-3

画質不良が発生したときは	5-3
電源が入らない	5-2
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
プリントできない	5-2
メディアが汚れる	5-2
メディア詰まり	5-2
ご注意	v

さ

サーバーを設定する	3-21
作業の流れ	2-2

し

時刻の設定	3-18
受信障害	v
主電源スイッチ	1-14
仕様	6-2
インク仕様	6-4
本体仕様	6-2
使用環境温度	1-2
使用状況	3-28
使用時間	3-28
スパウトゴム	3-28
廃インクタンク情報	3-28
プリント長情報	3-28
プリント面積情報	3-28
ワイピング情報	3-28
情報メニュー	3-28
情報メニュー一覧表	3-28
情報を表示させる	3-29
消耗品の交換	4-23
初期状態に戻す	3-24

す

ステンレス板	2-20
--------	------

せ

設置場所について	1-2
設定メニュー	3-2
設定メニュー一覧表	3-3

た

単位(温度/長さ)の設定	3-18
--------------	------

つ

使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する	3-4
------------------------	-----

て

データクリア	2-34
データをプリントする	2-34
定期ワイピングの設定	3-11

テストプリント	
テストプリントに関する注意事項	2-29
テストプリントの前に確認してください	2-29
ヘッドの配列とテストパターンの関係	2-29
テストメールを送信する	3-23
電源ケーブル	1-10
電源を切る	1-14
電源を切るときのご注意	1-14
テンションバーを使わずにロールメディアをセットする	2-21
電波障害自主規制	v

と

登録した内容をリセットする	3-5
ドットの位置がずれたら	3-6
トッププロワの設定	3-16
取扱説明書について	v
トルクリミッタ	2-14
トルクリミッター	2-9

に

日常のお手入れ	4-2
---------	-----

ぬ

布押さえの清掃	4-4, 4-6
布押さへの調節方法	2-20, 2-21
布巻きローラ	2-14

ね

ネットワーク経由で印刷を行う	1-9
ネットワークの設定	3-19

の

ノズル洗浄を中断する	4-22
ノズルチェック	
印刷中ノズルチェックの設定	3-27
印刷中ノズルチェックの流れ	3-26
自動ノズルリカバリの設定	3-27
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作	3-26
判定条件の設定	3-27
ノズルチェックメニュー	3-25
ノズルチェックメニュー一覧表	3-25
ノズルリカバリ機能	4-19
設定値をリセットする	4-20
テストプリント時にノズルリカバリを有効にするか設定する	4-21
リカバリできない条件を確認する	4-20

は

バージョン	3-28
廃インクタンク確認メッセージ	4-24
廃インクタンクを交換する	4-25

パターンプリント2-32, 3-6

ひ

引っ張りローラーの清掃 4-4
標準マージン 3-8

ふ

フィード速度の設定 3-9
フィード補正の設定2-31, 3-5
プラテン 1-3, 2-4
プラテンの清掃4-4, 4-6
プラテンホルダー 1-5, 2-4
プリント間の余白の設定 3-19
プリント完了後の動作 2-34
プリント結果 2-30
プリント条件を登録する 3-4
プリント中にメディア送りを補正したいとき 3-6
プリントを開始する 2-34
プリントを中止する 2-34

へ

ヘッドクリーニング 2-30
 テストプリントの結果に合わせてヘッド
 クリーニングを行う 2-30
 ヘッドクリーニングについて 2-30
ヘッド周辺の清掃 4-17
ヘッド高さを調整する 2-8
ヘッドノズル面の縁を清掃する 4-17

ほ

補正パターン 3-5
本機の移動 1-2

ま

マーク表示 vi
マージン(左/右)の設定 3-8
マシン設定メニュー 3-13
マシン設定メニュー一覧表 3-14

め

メールアドレスを設定する 3-21
メッセージを表示するトラブル 5-4
メディア厚さ入力 2-28
メディア検出の設定 3-17
メディア残量入力 2-12, 2-13
メディア残量表示の設定 3-16
メディア残量プリントについて 2-28
メディアセンサーの清掃 4-3
メディア選択 2-8
メディアについて 1-15
 使用可能メディアサイズ 1-15
 メディア取り扱い上の注意 1-15
メディアをセットする 2-16, 2-29, 2-34

メニューモードについて 1-17
 ノットレディモード 1-17
 メニューモード 1-17
 リモートモード 1-17
 ローカルモード 1-17
メンテナンス液 4-3
メンテナンスニュー 4-8
メンテナンスメニュー一覧表 4-9

よ

余白フィード方式の設定 3-19

り

リーフメディアをセットする 2-25, 2-26
リスト 3-28

ろ

ロール置き台 1-3
ロールメディアをセットする 2-16
ロジカルシークの設定 3-7

わ

ワーニングメッセージ 5-4
 インクエラー 5-6
 操作を実行したときに表示されるエラー 5-4
 ローカルで表示されるメッセージ 5-4
ワイパーを交換する 4-23

Tx300P-1800/Tx300P-1800 MkII 取扱説明書

2021年5月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

